

横須賀市統計データ集

1. 人口

(1)	人口の推移	1
(2)	将来人口の推移	2
(3)	将来推計人口 年齢 4 区分別構成比の推移	3
(4)	神奈川県内市町村別一人当たり所得額（2014 年）	4
(5)	老年人口割合（2014 年）	5
(6)	首都圏の人口	6

2. 産業

(1) 全体

①	横須賀市内の就業者数の推移（市民・市民以外別）	7
②	市内就業者数の推移	8
③	産業分類別の市民の就業者数の推移	9
④	事業所数の推移	10
⑤	従業者数の推移	11
⑥	産業 3 区分別市内従業者割合の推移 （参考）産業 3 区分別従業者（事業所単位）割合	12
⑦	男・女別、産業大分類別市内従業者数	14
⑧	産業大分類（主なもの）別、従業者の年齢別割合（男性）	15
⑨	産業大分類（主なもの）別、従業者の年齢別割合（女性）	16
⑩	産業大分類別従業者の特化係数（全国－横須賀市）	17
⑪	産業大分類別従業者の特化係数（神奈川県－横須賀市）	18
⑫	従業地と居住先の状況（従業地：横須賀市）	19
⑬	従業地と居住先の状況（従業地：県内市等）	20
⑭	常住者の従業先の状況（横須賀市）	21

⑮	常住従業者の自市内従業比率（県内市別・男女）	22
⑯	産業大分類別、市内従業者の常住地比率	23
（２）第１次産業（農業・漁業）		
①	神奈川県及び県内主要都市における農産物収穫量の推移	24
②	横須賀市における主要農産物の収穫量の推移	25
③	神奈川県及び県内上位３市における漁獲量の推移	26
④	横須賀市における主要魚種の収穫量の推移	27
（３）第２次産業（製造業等）		
①	県及び市内事業所数・従業者数・製造品出荷額等	28
②	製造品出荷額等の推移	28
③	製造業の事業所数の推移	29
④	製造業の従業者数の推移	30
（４）第３次産業（商業・サービス業等）		
①	横須賀市の卸売業・小売業の事業所数の推移	31
②	横須賀市の卸売業・小売業の従業者数の推移	32
③	横須賀市の卸売業・小売業の年間商品販売額の推移	33
④	横須賀市の大型店の店舗数の推移	34
⑤	横須賀市の大型店販売額の推移	35
⑥	横須賀市の商店街の空き店舗率の推移	36
３．観光		
（１）	横須賀市の市内入込観光客の推移	37
（２）	集客促進アクションプランに関連する目標の進捗	38
	①主要集客施設利用客数	
	②宿泊施設利用客数	
	③観光バス駐車台数	

(3)	横須賀市及び県内主要都市の入込観光客の推移	41
(4)	横須賀市の主要集客施設の来訪者数	42
	①来訪者数（合計）の推移	
	②主な施設ごとの来訪者内訳	
(5)	横須賀市の主要イベントの来訪者数	45
	①主要イベントの来訪者数（よこすか開国祭を除く）	
	②よこすか開国祭の来訪者数	
(6)	観光客数（日帰り客数と宿泊客数）の推移	47
(7)	観光客消費額の推移	48
(8)	平均消費額の推移	49
(参考)	観光立国と官公庁に関する特別世論調査（抜粋）	50
	①訪日外国人旅行者が増加することについて	
	②訪日外国人旅行者を増加させるために特に重要だと思う施策	
	③国内旅行に行きたいと思うようになるための条件	

4. 交通

(1)	横須賀市内の乗客数の推移	52
(2)	横須賀市内種類別自動車保有数	53
(3)	横浜横須賀道路の交通量の推移	54
(4)	本町山中有料道路の交通量の推移	55
(5)	三浦縦貫有料道路の交通量の推移	56
(6)	周辺図	57
(7)	羽田空港の国際化とアクセス状況	58
(8)	京浜急行 羽田空港駅（国内線・国際線合計）1日平均乗降客数と羽田空港年間旅客数（国内線・国際線合計）の推移	60
(9)	年別訪日外国人の推移	61
(10)	東京湾フェリーの状況	62
	①フェリー扱車両台数の推移	
	②乗降人員数の推移	
	③入港隻数の推移	

5. 成長分野、重点課題に関連する事業計画・概要

- (1) 新港埠頭交流拠点整備、よこすかポートマーケットの概要・・・・・・・・・・ 65
- (2) JA よこすか葉山農産物直売所「すかなごっそ」の概要・・・・・・・・・・ 66
- (3) 横須賀中央エリアの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
- (4) 大滝町2丁目地区第一種市街地再開発事業の概要・・・・・・・・・・ 68

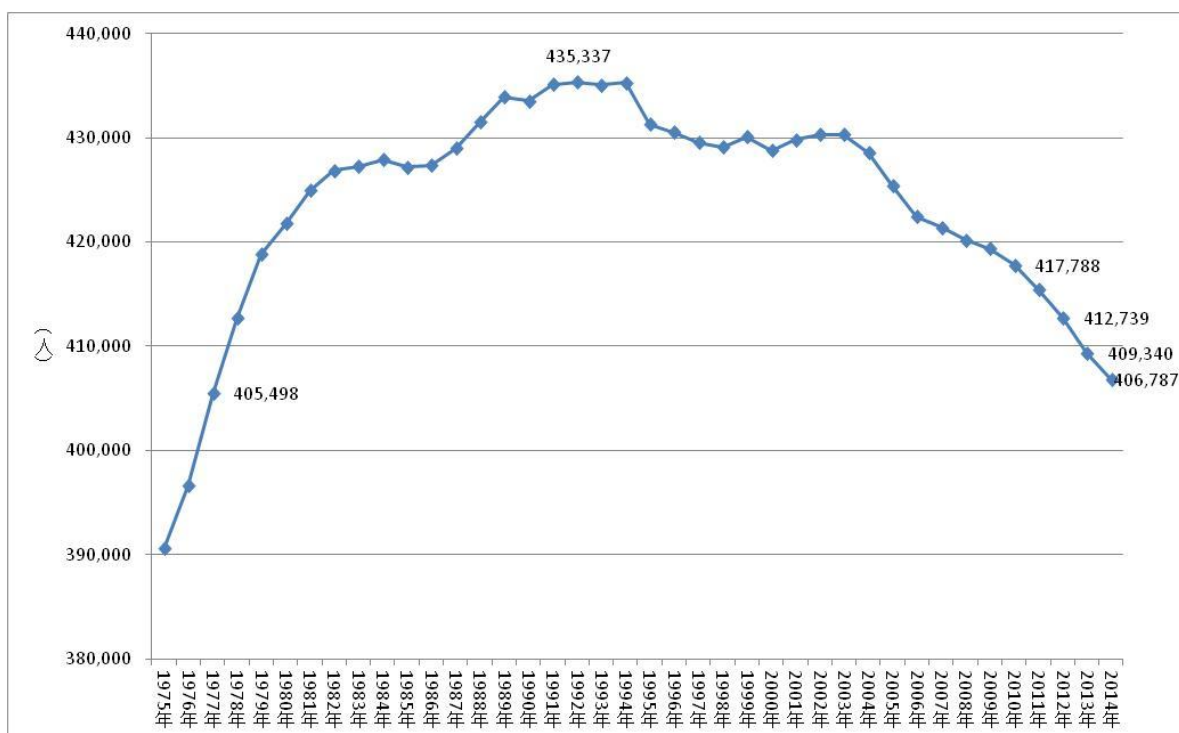
6. 財政状況

- (1) 一般会計予算規模の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
- (2) 歳入決算額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
- (3) 歳出決算額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

1 人口

(1) 人口の推移

○ 本市の人口は 1993 年（平成 4 年）をピークに減少傾向にある。



(千人)

年	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1989 (H1)	1993 (H5)	1998 (H10)	2003 (H15)	2005 (H17)	2006 (H18)
人口	391	422	427	434	435	429	430	425	422

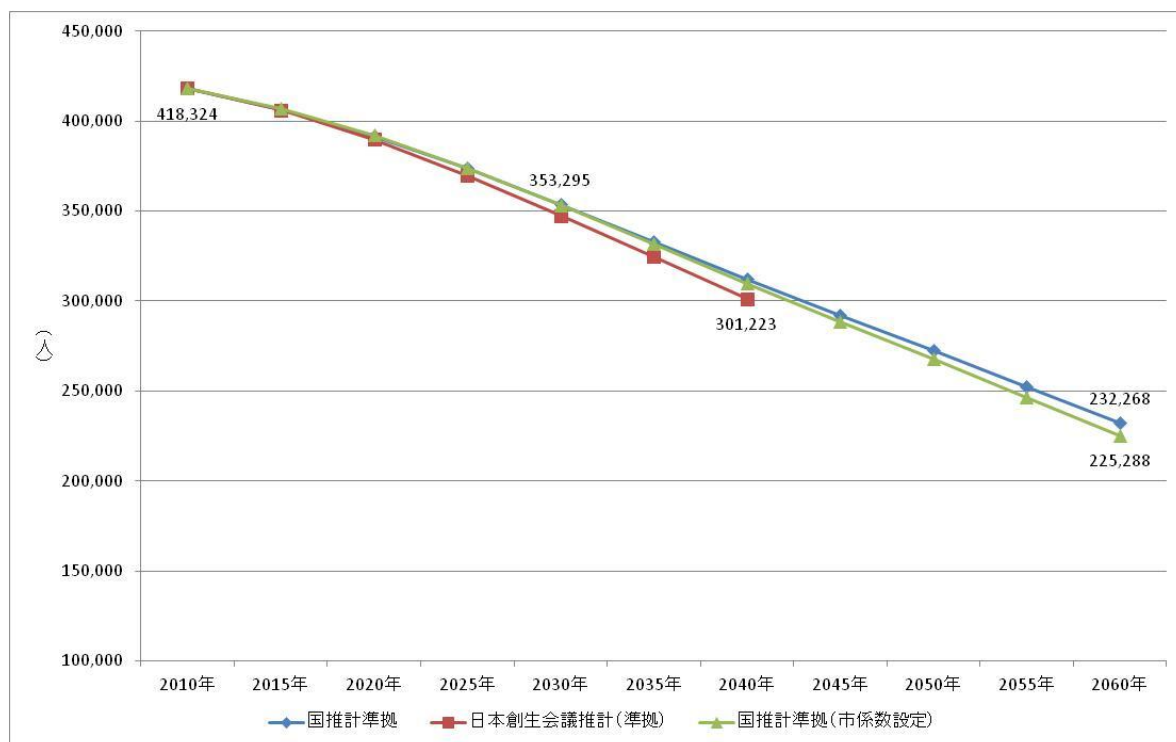
2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
421	420	419	418	415	413	409	407

※数値は各年 12 月 31 日現在の現住人口

出所) 横須賀市統計書

(2) 将来人口の推移

- 本市の人口は 2035 年には約 33 万人、2060 年には約 23 万人程度まで減少する推計である。



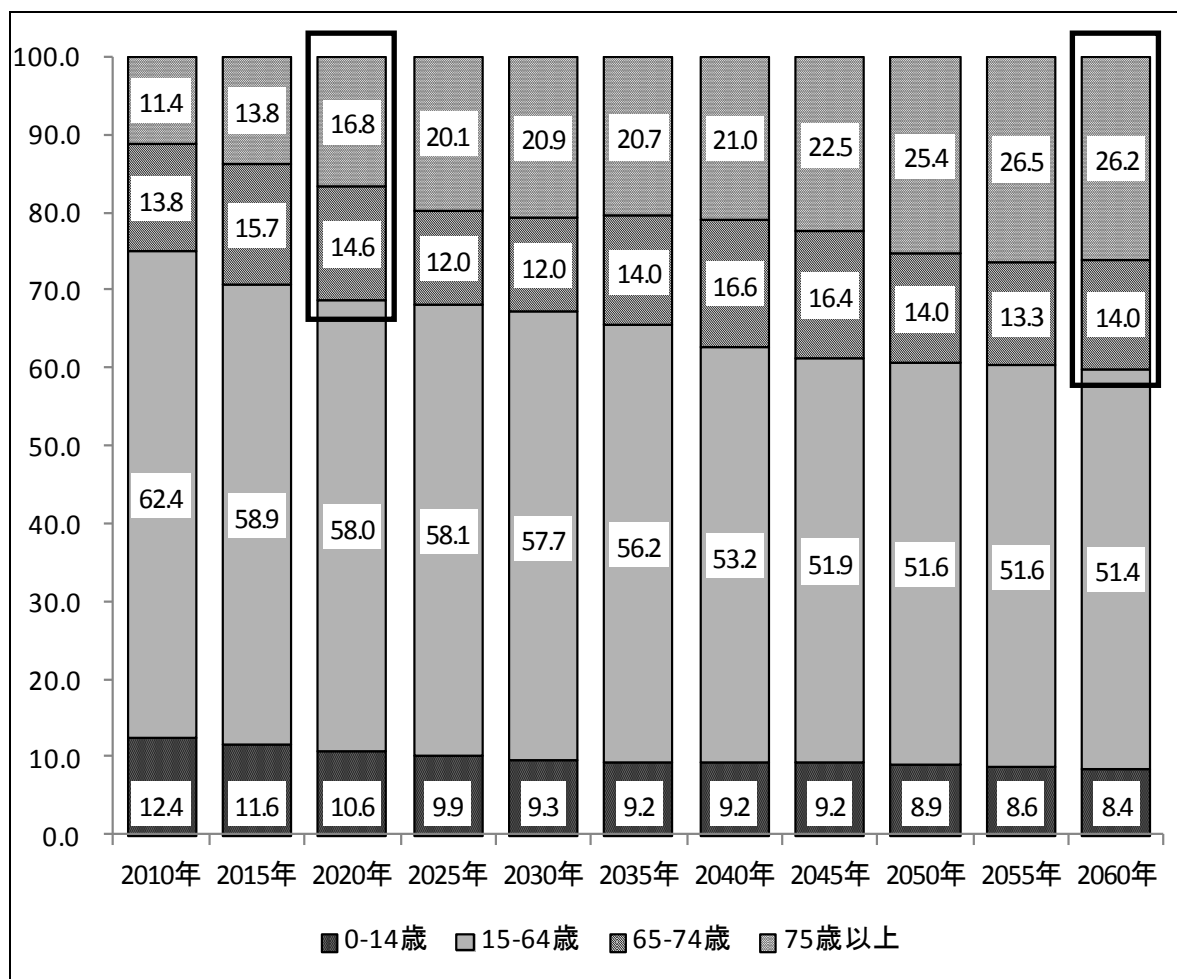
(人)

	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
国推計準拠	418,324	406,122	391,522	373,614	353,827	333,122	312,372	292,246	272,543	252,495	232,268
国推計準拠 (市係数設定)	418,324	407,089	392,093	373,703	353,295	331,697	309,728	288,389	267,586	246,511	225,288
日本創生会議推計 (準拠)	418,324	406,122	389,750	369,600	347,469	324,438	301,223				

出所) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供資料をもとに作成

(3) 将来推計人口 年齢4区分別構成比の推移

- 2020年には65歳以上の割合が30%を超える推計である。
- 2060年には40%を超える推計である。



出所) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供資料をもとに作成

(4) 神奈川県内市町村別一人当たり所得額 (2014 年)

- 県内一人当たり所得額は県内第 20 位である。
- 葉山町が第 1 位、鎌倉市、逗子市、横浜市と続き、藤沢市は第 6 位、三浦市は第 28 位である。

順位	市町村名	一人当たり 所得額 (千円)
1	葉山町	4,721
2	鎌倉市	4,676
3	逗子市	4,369
4	横浜市	3,968
5	川崎市	3,892
6	藤沢市	3,857
7	大磯町	3,816
8	茅ヶ崎市	3,729
9	海老名市	3,498
10	二宮町	3,477
11	大和市	3,416
12	伊勢原市	3,410
13	厚木市	3,399
14	開成町	3,378
15	相模原市	3,319
16	平塚市	3,303
17	小田原市	3,267
18	秦野市	3,215
19	座間市	3,203
20	横須賀市	3,156
21	南足柄市	3,144
22	寒川町	3,123
23	綾瀬市	3,115
24	大井町	3,110
25	松田町	3,054
26	清川村	2,968
27	中井町	2,959
28	三浦市	2,914
29	山北町	2,892
30	湯河原町	2,860
31	真鶴町	2,806
32	愛川町	2,792
33	箱根町	2,709

出所) 総務省 平成 26 年度 市町村税課税状況等の調

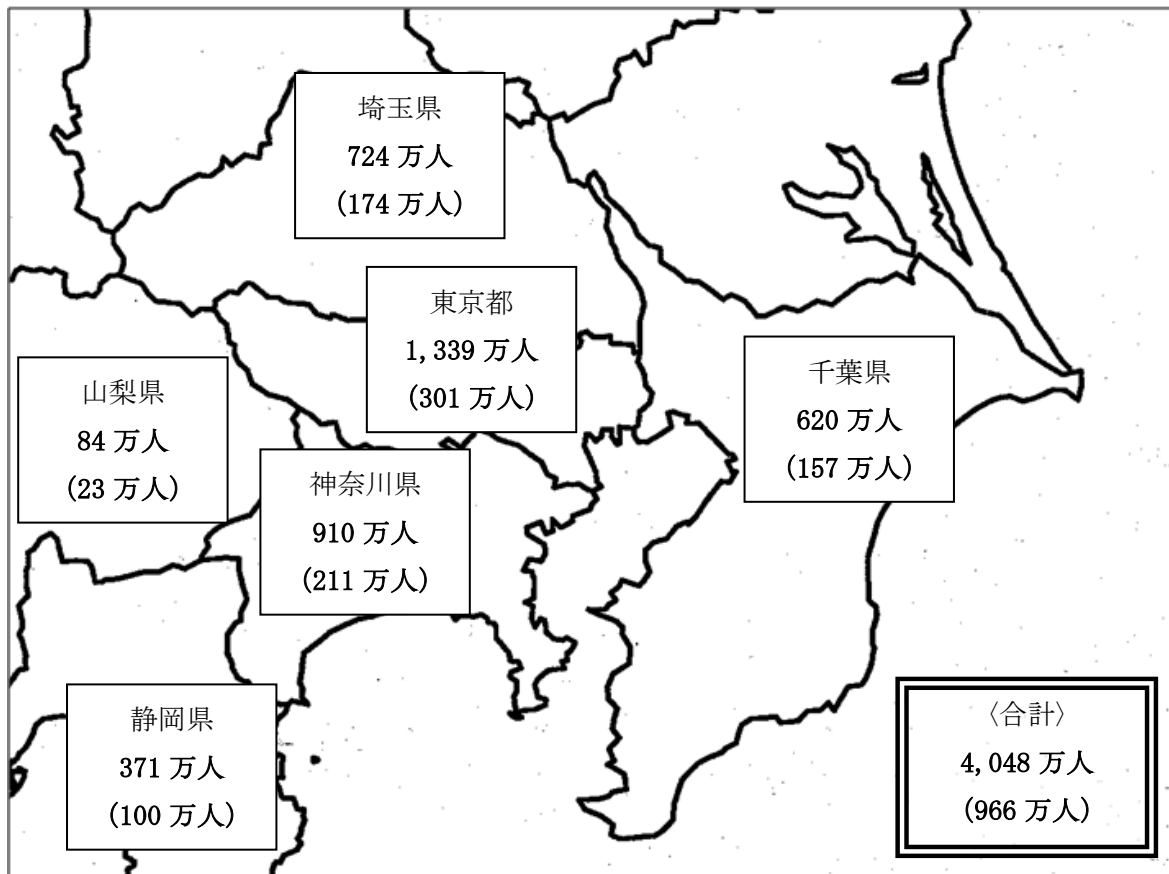
(5) 老年人口割合

○ 老年人口の割合は三浦市、逗子市、鎌倉市に次いで県内第4位で28.1%である。

順位	市区名	割合	順位	市区名	割合
1	三浦市	33.2	24	伊勢原市	22.6
2	逗子市	30.2	-	神奈川県	22.5
3	鎌倉市	29.8	25	座間市	22.3
4	横須賀市	28.1	26	相模原市	22.2
5	横浜市栄区	27.6	27	藤沢市	21.9
6	南足柄市	27.4	28	横浜市緑区	21.8
7	横浜市旭区	26.8	29	大和市	21.6
8	小田原市	26.2	29	海老名市	21.6
9	横浜市磯子区	25.6	31	川崎市川崎区	21.4
10	横浜市泉区	25.4	32	相模原市中央区	21.3
11	横浜市港南区	25.3	33	川崎市麻生区	21.2
11	横浜市瀬谷区	25.3	34	厚木市	21.1
13	横浜市金沢区	25.0	35	川崎市幸区	20.7
14	横浜市南区	24.8	36	横浜市神奈川区	20.6
15	横浜市保土ヶ谷区	24.4	37	横浜市西区	19.6
16	平塚市	24.1	38	横浜市鶴見区	19.5
17	秦野市	24.0	39	横浜市青葉区	18.5
18	綾瀬市	23.9	40	横浜市港北区	18.2
19	茅ヶ崎市	23.7	41	川崎市宮前区	18.1
20	横浜市戸塚区	22.8	42	川崎市多摩区	17.8
20	相模原市南区	22.8	43	川崎市高津区	16.6
22	横浜市中区	22.7	44	横浜市都筑区	15.4
22	相模原市緑区	22.7	45	川崎市中原区	14.7

出所) 神奈川県年齢別人口統計調査(2014年(平成26年)1月1日現在)

(6) 首都圏の人口



出所) 推計人口 (総務省) 2014 年 (平成 26 年) 10 月 1 日現在の値

※カッコ内は 65 歳以上人口

2 産業

(1) 全体

① 横須賀市内の就業者数の推移（市民・市民以外別）

- 横須賀市内の就業者数は減少傾向にある。



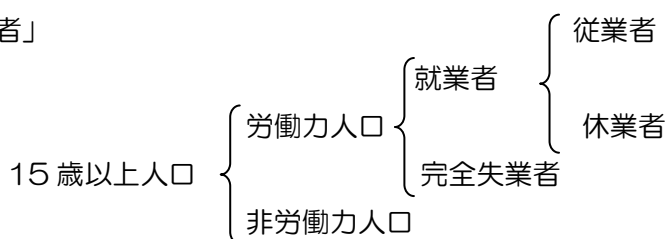
(人)

年	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)
計	164,758	164,211	146,534
市民	130,254	127,411	113,863
市民以外	34,504	36,800	32,671

出所) 国勢調査 (総務省)

就業者と従業者

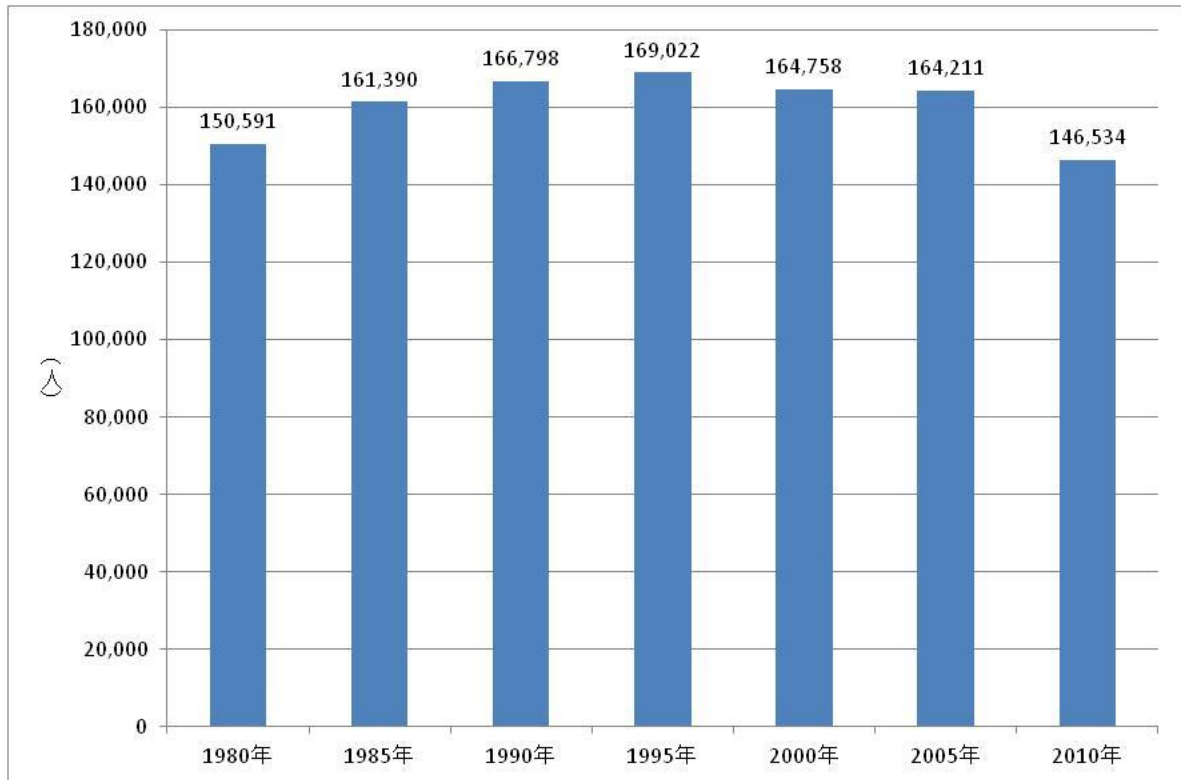
- ・ 就業者は従業者と休業者を合わせたもの
- ・ 調査期間中、少しでも仕事をしていれば「従業者」、従業者ではないが休業の要件を満たす者は「休業者」



出所) 総務省統計局 HP

② 市内就業者の推移

- 市内就業者数は 1995 年以降、減少傾向にある。



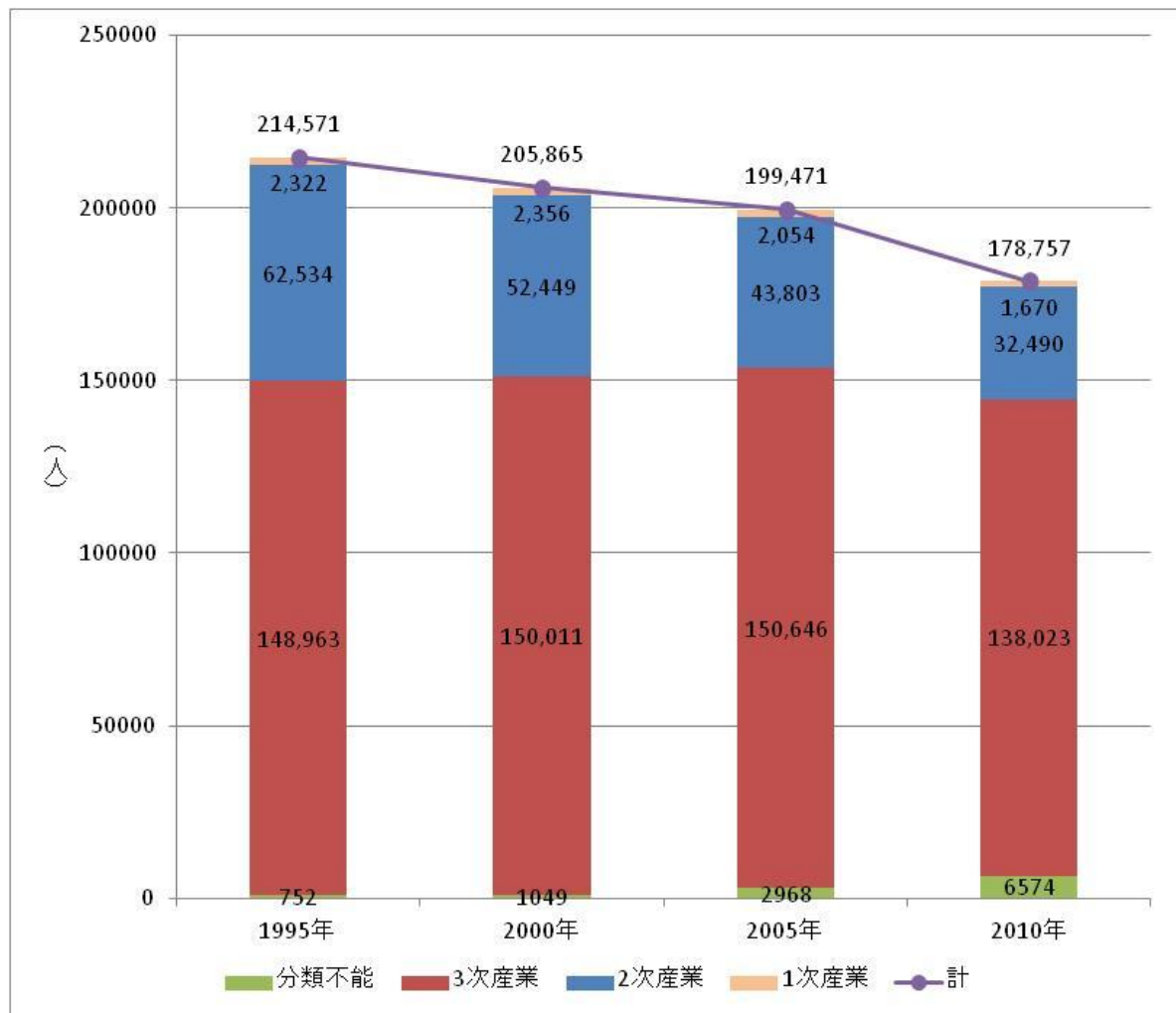
(人)

年	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)
市内就業者数	150,591	161,390	166,798	169,022	164,758	164,211	146,534

出所) 総務省国勢調査 (2010) (15 歳以上従業者)

③ 産業分類別の市民の就業者数の推移

○ 全ての産業分類で就業者数は減少傾向にある。



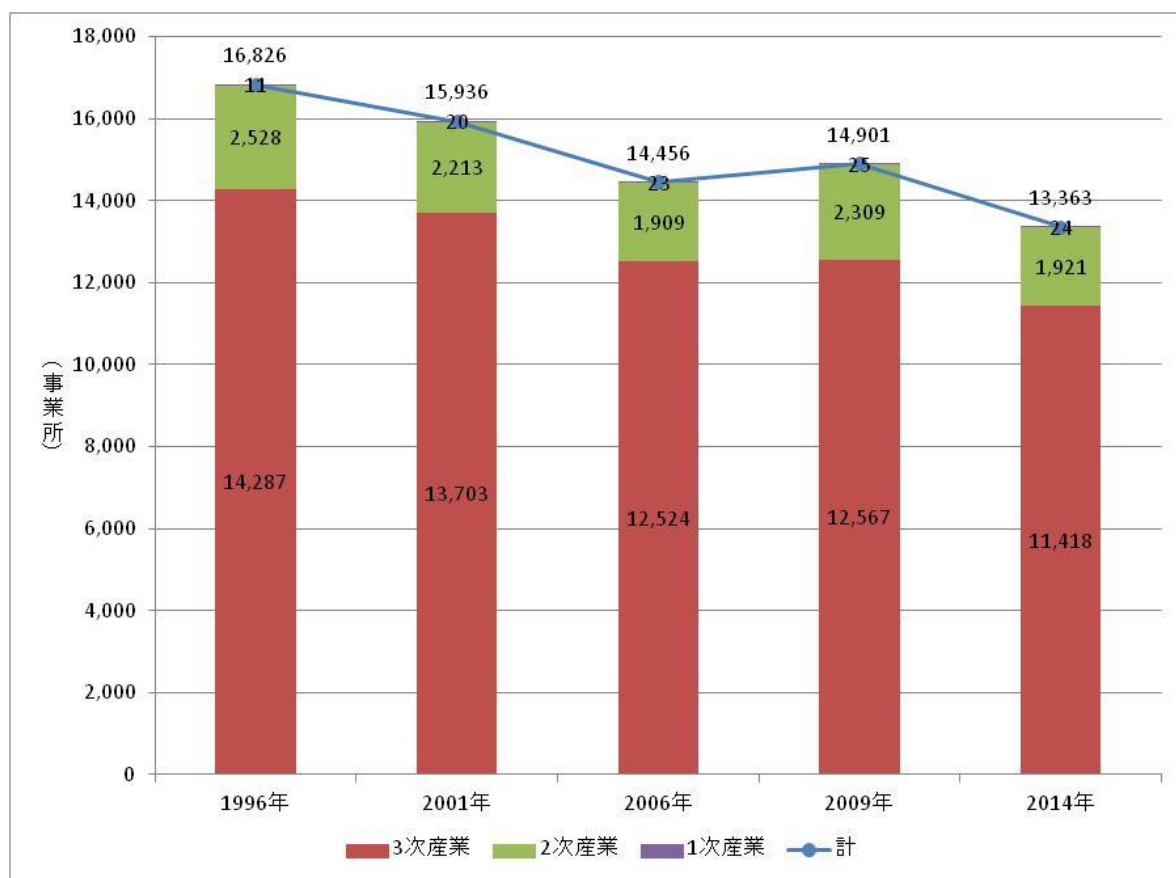
(人)

年	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)
計	214,571	205,865	199,471	178,757
1次産業	2,322	2,356	2,054	1,670
2次産業	62,534	52,449	43,803	32,490
3次産業	148,963	150,011	150,646	138,023
分類不能	752	1,049	2,968	6,574

出所) 国勢調査 (総務省)

④ 事業所数の推移

○ 事業所数は減少傾向にある。



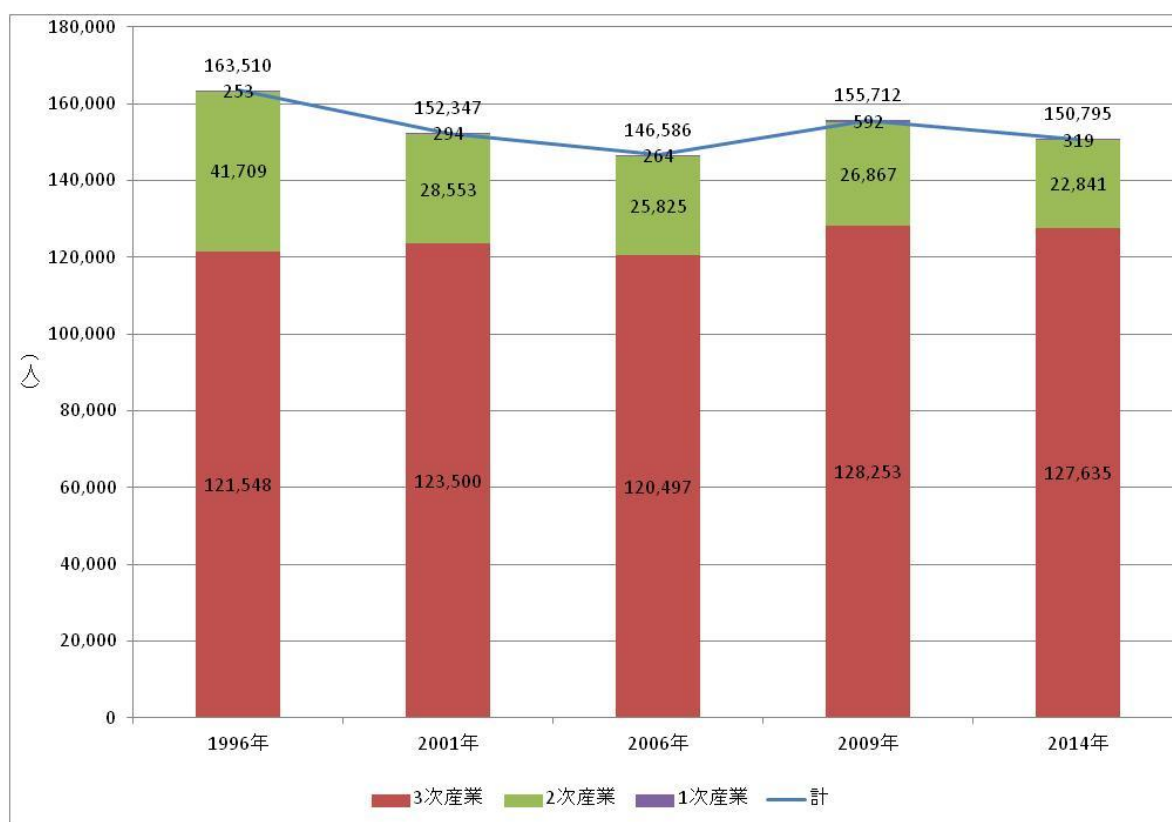
(事業所)					
年	1996 (H8)	2001 (H13)	2006 (H18)	2009 (H21)	2014 (H26)
計	16,826	15,936	14,456	14,901	13,363
1次産業	11	20	23	25	24
2次産業	2,528	2,213	1,909	2,309	1,921
3次産業	14,287	13,703	12,524	12,567	11,418

出所) (2006 年まで) 事業所・企業統計調査 (10 月 1 日現在)

(2009 年以降) 経済センサス基礎調査 (7 月 1 日現在) (総務省)

⑤ 従業者数の推移

○ 従業者数は減少傾向にある。



(人)

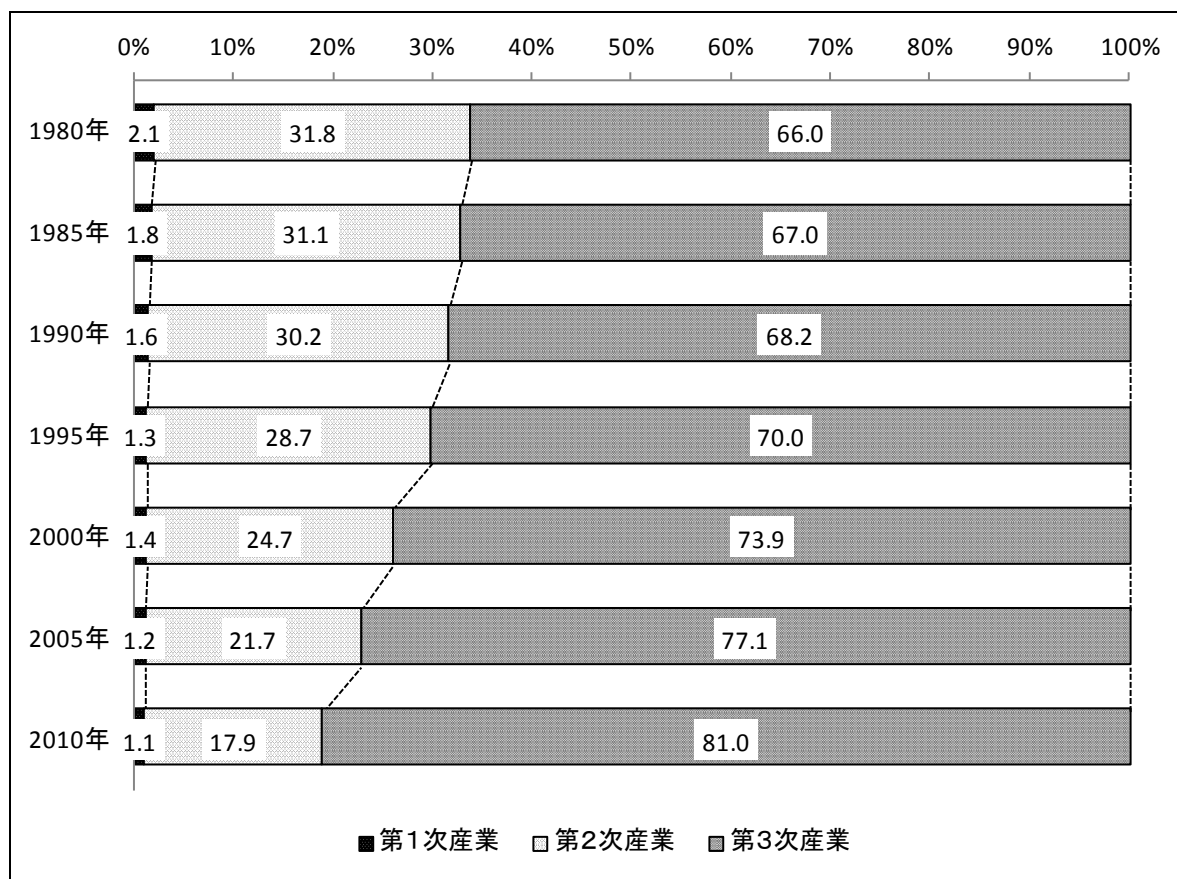
年	1996 (H8)	2001 (H13)	2006 (H18)	2009 (H21)	2014 (H26)
計	163,510	152,347	146,586	155,712	150,795
1次産業	253	294	264	592	319
2次産業	41,709	28,553	25,825	26,867	22,841
3次産業	121,548	123,500	120,497	128,253	127,635

出所) (2005 年まで) 事業所・企業統計調査 (10 月 1 日現在)

(2009 年以降) 経済センサス基礎調査 (7 月 1 日現在) (総務省)

⑥ 産業3区分別市内従業者割合の推移

- 第1次及び第2次産業の従業者割合が減少傾向にあり、第3次産業の従業者割合が増加傾向にある。



出所) 総務省国勢調査 (2010) (15歳以上従業者)

【参考】

産業3区分別従業者（事業所単位）割合（2012年 横須賀市・藤沢市）

- 横須賀市は藤沢市と比較すると第二次産業の構成割合が低く、第三次産業の構成割合が高い。
- 第三次産業中、横須賀市は藤沢市と比較して「医療業」「社会保険・社会福祉・介護事業」の構成割合が高く、「飲食店」「その他の事業サービス業」の構成割合が低い。

区分 (業種中分類名)	横須賀市		藤沢市		構成割合 の差
	事業所単位 従業者数(人)	構成割合	事業所単位 従業者数(人)	構成割合	
合計	121,866	100.0%	147,983	100.0%	
第一次産業	251	0.2%	209	0.1%	0.1
第二次産業	23,880	19.6%	32,984	22.3%	-2.7
第三次産業計	97,735	80.2%	114,790	77.6%	2.6
(内訳 第三次産業上位10)					
1. 飲食店	12,210	10.0%	16,210	11.0%	-0.9
2. 飲食料品小売業	10,100	8.3%	11,472	7.8%	0.5
3. 医療業	9,855	8.1%	7,863	5.3%	2.8
4. 社会保険・社会福祉・介護事業	9,596	7.9%	7,923	5.4%	2.5
5. その他の小売業	6,970	5.7%	7,584	5.1%	0.6
6. その他の事業サービス業	3,591	2.9%	5,951	4.0%	-1.1
7. 洗濯・理容・美容・浴場業	3,431	2.8%	4,315	2.9%	-0.1
8. 学術・開発研究機関	3,062	2.5%	2,030	1.4%	1.1
9. 娯楽業	2,892	2.4%	2,746	1.9%	0.5
10. 道路旅客運送業	2,522	2.1%	1,094	0.7%	1.3

出所) 経済センサスー活動調査

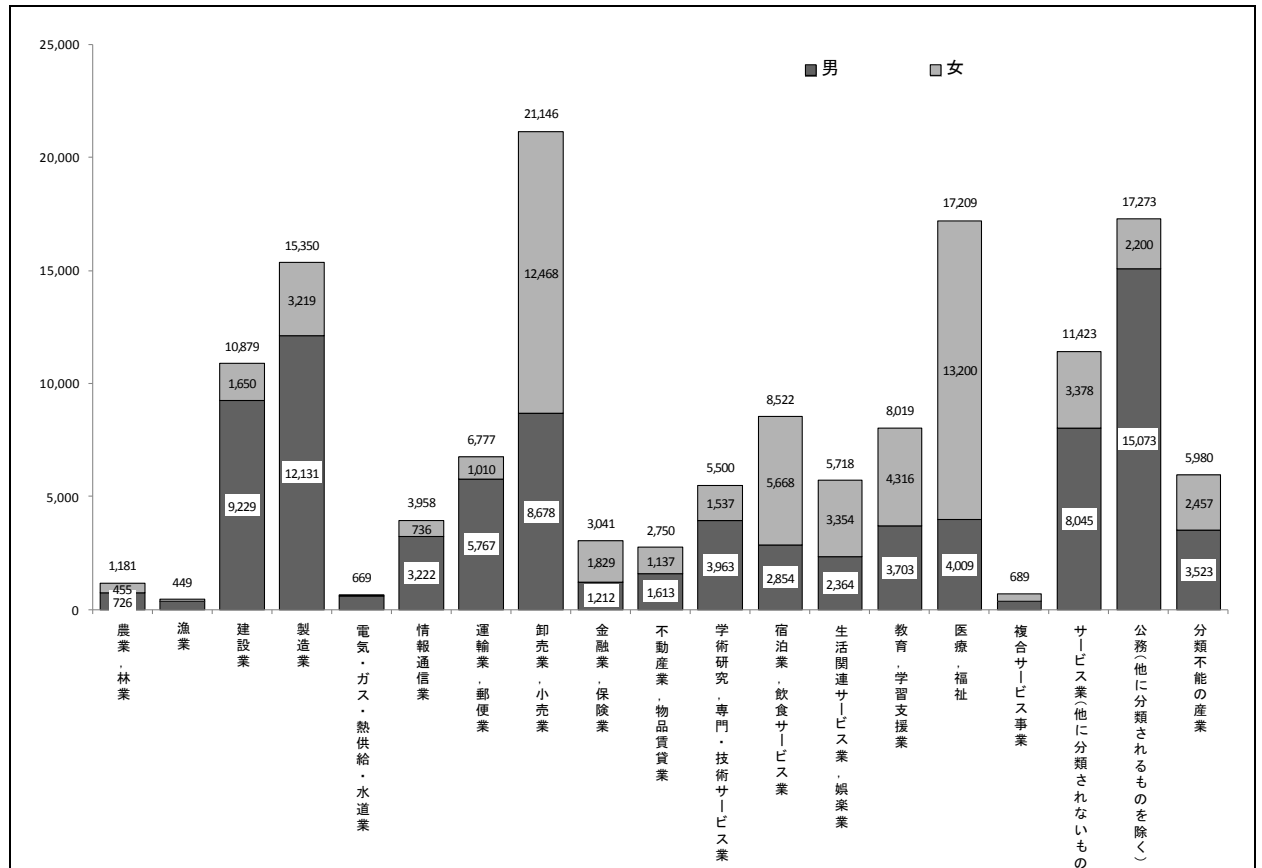
【事業所単位従業者数】

会社と個人事業所において、当該事業所に所属し、かつ賃金・給与（現物給与を含む）を支給されて業務に従事している人の数。 本社で働く従業員も事業所で計上
ただし、個人経営の事業所の家族従業者は、賃金・給与を支給されていなくても従業者として
いる

（国・地方公共団体の事業所、農業、漁業に属する個人経営の事業所などは調査対象外）

⑦ 男・女別、産業大分類別市内従業者数

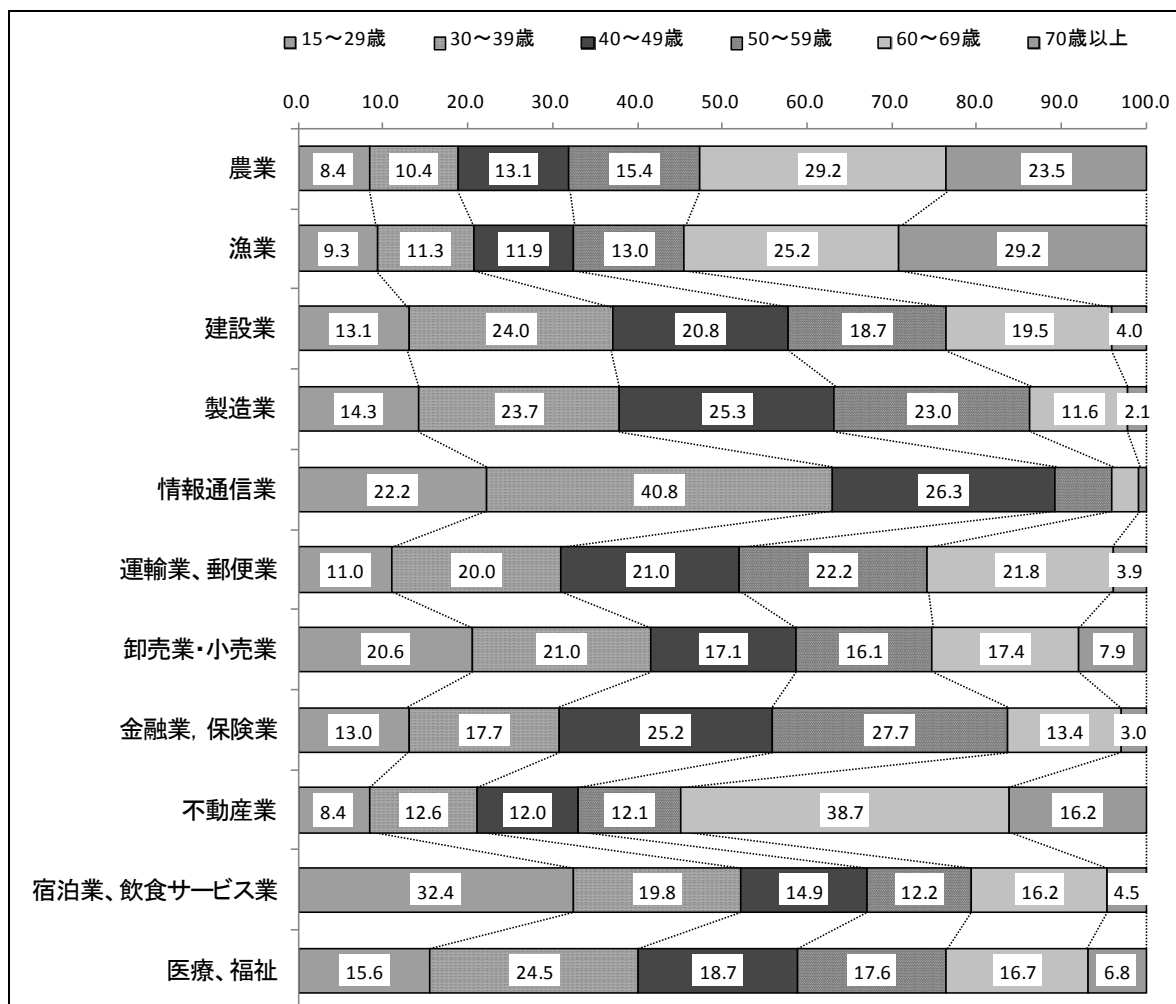
- 建設業、製造業、サービス業、公務では男性の割合が高い。
- 卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉では女性の割合が高い。



出所）総務省国勢調査（2010）（15歳以上従業者）

⑧ 産業大分類（主なもの）別、従業者の年齢別割合（男性）

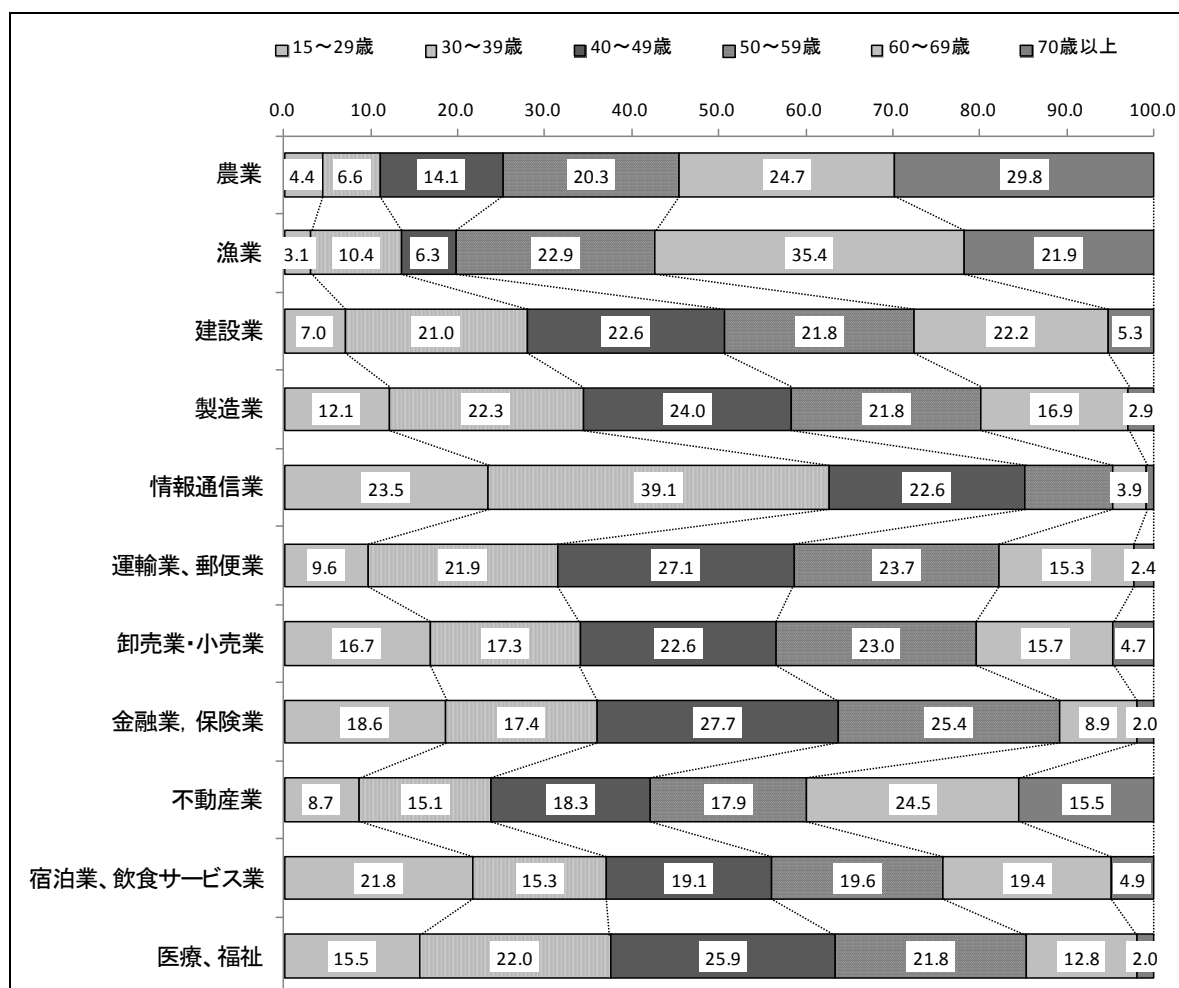
- 情報通信業において 15～39 歳の割合は 63%である。
- 不動産業において 60 歳以上の割合は約 55%である。
- 15～29 歳の割合が最も高いのは宿泊業、飲食サービス業であり、32.4%である。



出所) 総務省国勢調査 (2010)

⑨ 産業大分類（主なもの）別、従業者の年齢別割合（女性）

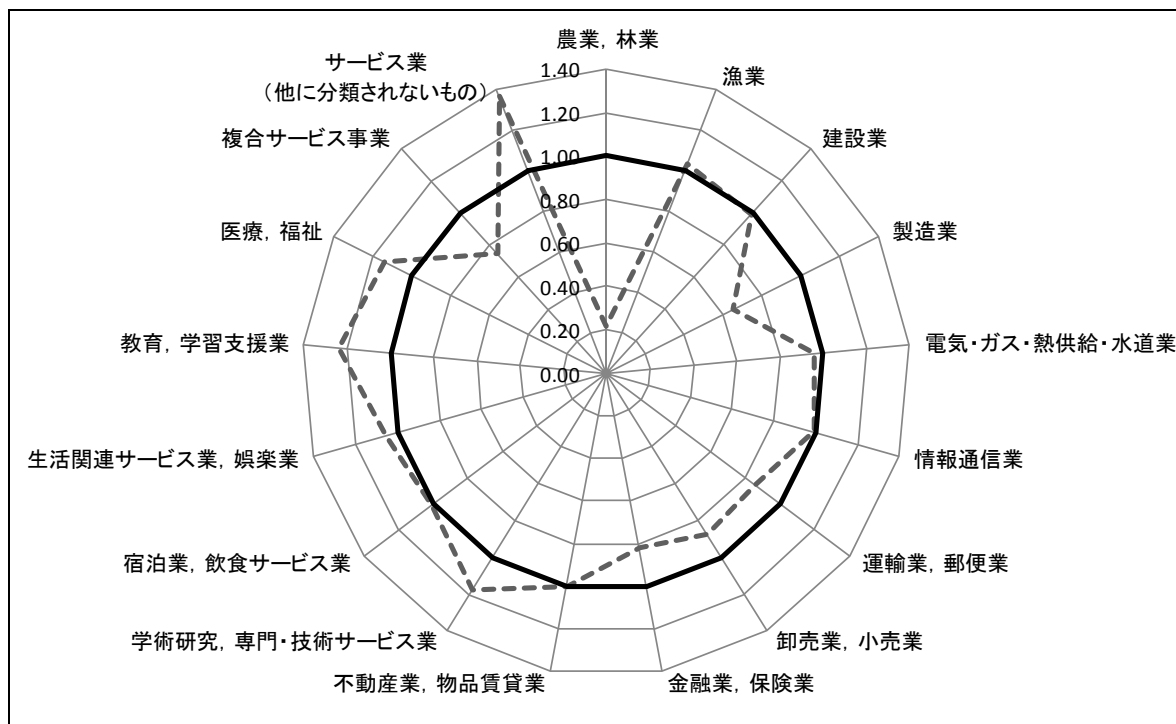
- 漁業における 60～69 歳の割合が高い。（35.4%）
- 情報通信業において 15～39 歳の割合は約 63%で、男性とほぼ同率である。
- 15～29 歳の割合が最も高いのは情報通信業であり、23.5%である。



出所）総務省国勢調査（2010）

⑩ 産業大分類別従業者の特化係数（全国-横須賀市）

○ 全国の産業分類別の構成比を 1.0 としたとき、横須賀市ではサービス業（他に分類されない）、教育・学習支援業、学術研究、専門・技術サービス業、医療・福祉が全国（1.0）を超える構成比を示している。

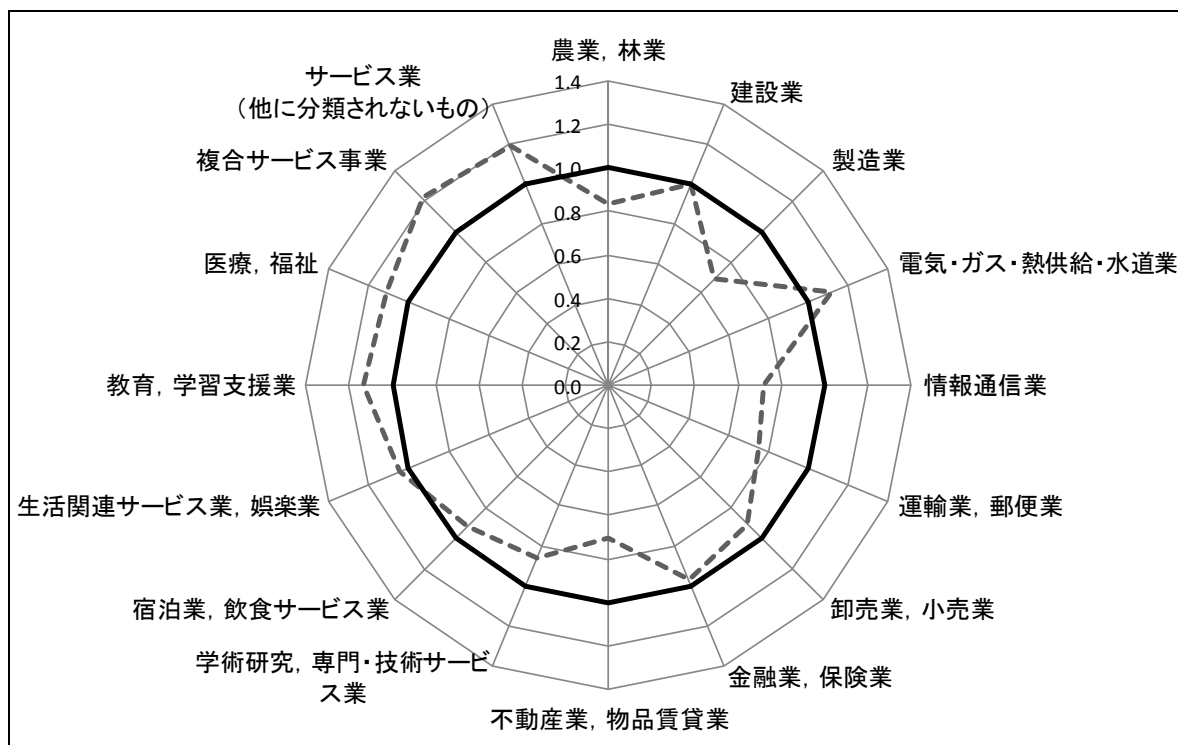


出所）総務省国勢調査（2010）（15歳以上従業者）

全国の産業大分類別従業者の構成比を 1.0 として、本市の構成比とを比較したもの。1.0 を超えているものは従業者の構成が 全国の水準を上回っている（特化している）と見ることができる。構成グラフの便宜上、公務（3.5）を除いている。

⑪ 産業大分類別従業者の特化係数（神奈川県-横須賀市）

○ 神奈川県の産業分類別の構成比を 1.0 としたとき、横須賀市ではサービス業（他に分類されない）、複合サービス業、医療・福祉、教育・学習支援業、生活関連サービス業・娯楽業、電気・ガス・熱供給・水道業が県（1.0）を超える構成比を示している。

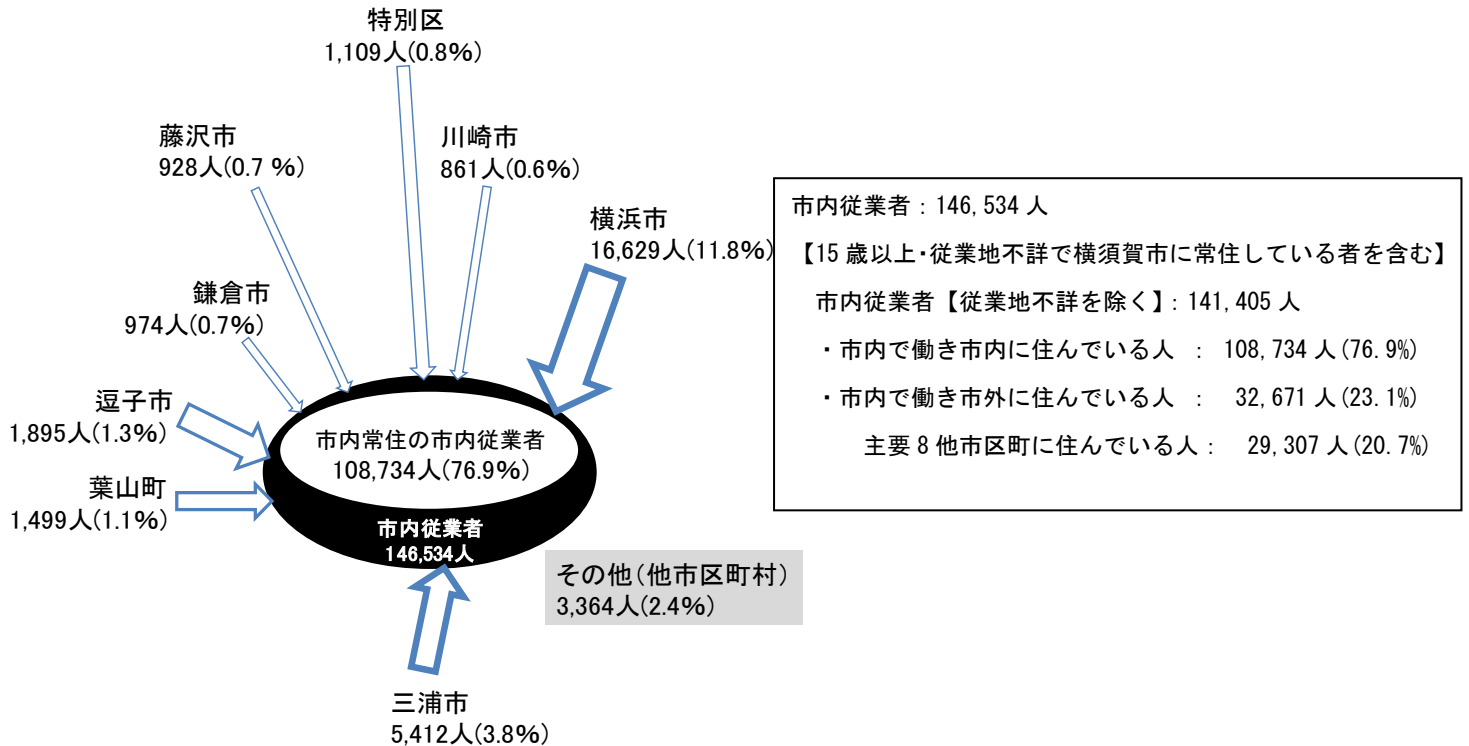


出所）総務省国勢調査（2010）（15 歳以上従業者）

神奈川県の産業大分類別従業者の構成比を 1.0 として、本市の構成比とを比較したもの。1.0 を超えているものは従業者の構成が神奈川県の水準を上回っている（特化している）と見ることができる。構成グラフの便宜上、漁業（6.5）、公務（3.9）を除いている。

⑫ 従業地と居住先の状況（従業地：横須賀市）

○ 市内の従業者中、市内に住んでいる人は 76.9%、市外に住んでいる人は 23.1% である。



従業地と居住先の状況（他市から横須賀市に従業する人）

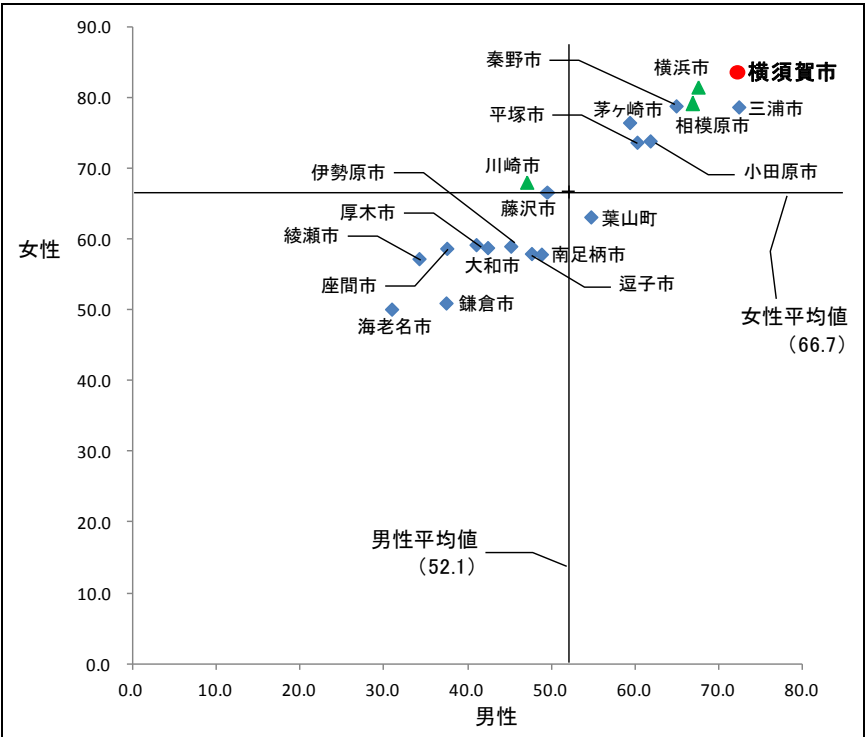
居住地	総数		男性		女性	
	人数	市内従業者に占める割合(%)	人数	市内従業者に占める割合(%)	人数	市内従業者に占める割合(%)
横浜市	16,629	11.8	12,066	14.4	4,563	8.0
横浜市 金沢区	6,576	4.7	4,484	5.3	2,092	3.6
横浜市 港南区	1,898	1.3	1,398	1.7	500	0.9
横浜市 南区	1,274	0.9	932	1.1	342	0.6
川崎市	861	0.6	721	0.9	140	0.2
鎌倉市	974	0.7	702	0.8	272	0.5
逗子市	1,895	1.3	1,174	1.4	721	1.3
三浦市	5,412	3.8	3,105	3.7	2,307	4.0
葉山町	1,499	1.1	923	1.1	576	1.0
藤沢市	928	0.7	742	0.9	186	0.3
特別区部	1,109	0.8	888	1.1	221	0.4
大田区	315	0.2	238	0.3	77	0.1
品川区	137	0.1	112	0.1	25	0.0
世田谷区	120	0.1	99	0.1	21	0.0

※市内従業者に占める割合 = 「人数」 / 市内従業者【従業地不詳を除く】

出所) 総務省国勢調査 (2010) (15 歳以上従業者)

⑬ 従業地と居住先の状況（従業地：県内市等）

○ 市内の従業者中、自市内に常住している者の割合は県内一高い。



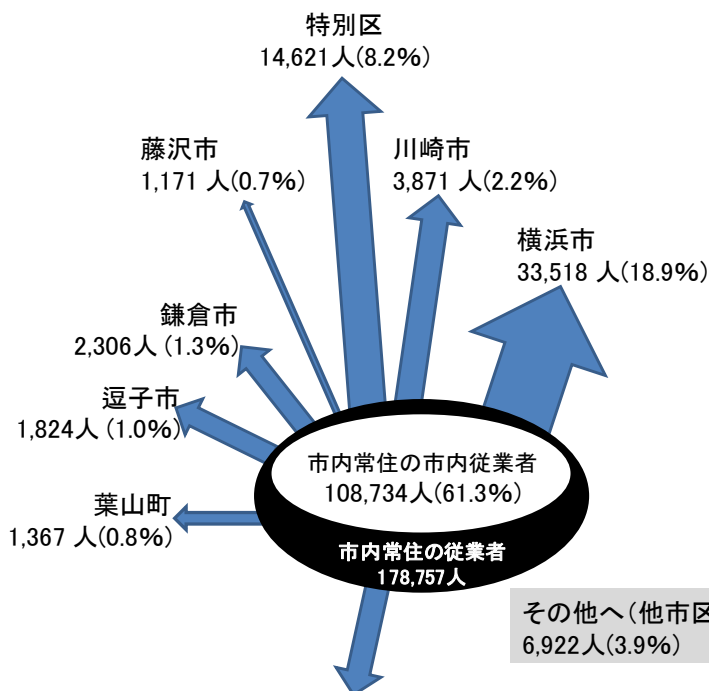
従業地	総数			男性			女性		
	市内従業者	うち自市内で常住する者	(%)	市内従業者	うち自市内で常住する者	(%)	市内従業者	うち自市内で常住する者	(%)
横須賀市	141,405	108,734	76.9	84,055	60,765	72.3	57,350	47,969	83.6
横浜市	1,344,508	990,578	73.7	756,884	511,653	67.6	587,624	478,925	81.5
川崎市	473,826	261,591	55.2	289,702	136,330	47.1	184,124	125,261	68.0
相模原市	229,643	166,569	72.5	124,365	83,254	66.9	105,278	83,315	79.1
三浦市	15,691	11,847	75.5	8,061	5,836	72.4	7,630	6,011	78.8
鎌倉市	62,287	27,359	43.9	32,534	12,169	37.4	29,753	15,190	51.1
逗子市	13,113	6,970	53.2	6,151	2,929	47.6	6,962	4,041	58.0
藤沢市	148,252	84,664	57.1	82,992	41,173	49.6	65,260	43,491	66.6
平塚市	114,097	74,838	65.6	69,004	41,566	60.2	45,093	33,272	73.8
小田原市	88,380	59,453	67.3	48,693	30,096	61.8	39,687	29,357	74.0
茅ヶ崎市	60,310	40,917	67.8	30,563	18,139	59.3	29,747	22,778	76.6
秦野市	55,055	39,109	71.0	30,990	20,115	64.9	24,065	18,994	78.9
厚木市	135,028	64,393	47.7	85,656	35,114	41.0	49,372	29,279	59.3
大和市	72,691	36,320	50.0	39,262	16,635	42.4	33,429	19,685	58.9
伊勢原市	40,286	20,604	51.1	22,946	10,358	45.1	17,340	10,246	59.1
海老名市	50,868	19,876	39.1	29,297	9,051	30.9	21,571	10,825	50.2
座間市	35,924	16,618	46.3	21,126	7,920	37.5	14,798	8,698	58.8
南足柄市	16,262	8,549	52.6	9,567	4,669	48.8	6,695	3,880	58.0
綾瀬市	35,157	14,823	42.2	23,024	7,868	34.2	12,133	6,955	57.3
葉山町	7,424	4,377	59.0	3,723	2,037	54.7	3,701	2,340	63.2

※市内従業者：従業地不詳を除く

出所）総務省国勢調査（2010）（15歳以上従業者）

⑭ 常住者の従業先の状況（横須賀市）

- 市内に住み市内で働いている人は 61.3%、市外で働いている人は 38.7%である。
- 市外で働いている人のうち 18.9%は横浜市で従業している。



市内常住の従業者：178,757 人

【15 歳以上・従業地不詳を含む】

市内常住の従業者【従業地不詳を除く】：177,296 人

・市内に住み市内で働いている人：108,734 人(61.3%)

・市内に住み市外で働いている人：68,562 人(38.7%)

主な他市区町で働いている人：61,640 人(34.8%)

横須賀市民の従業先の状況（横須賀市から他市に従業する人）

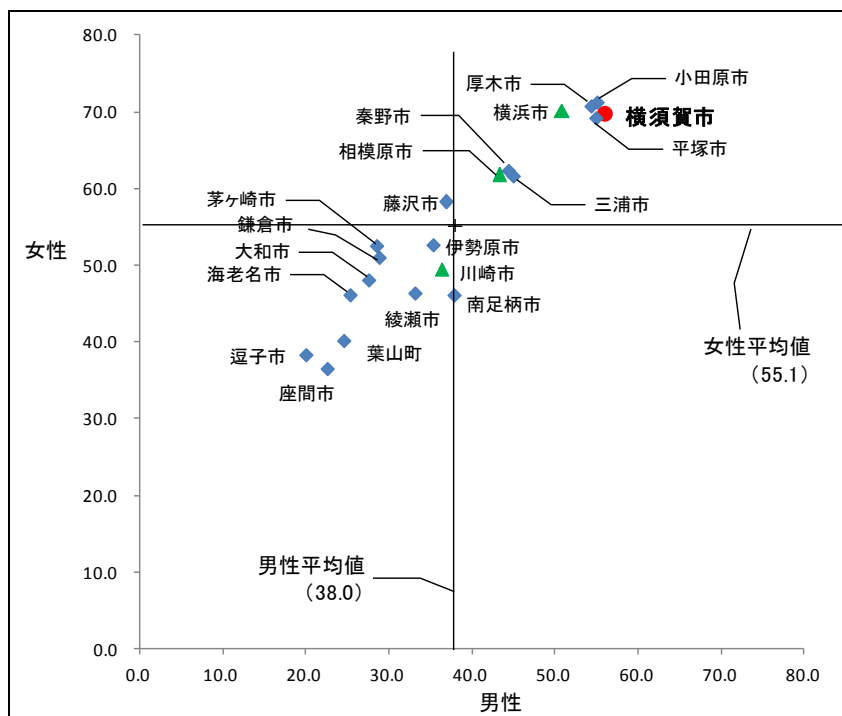
従業地	総数		男性		女性	
	人数	市内常住の従業者に占める割合(%)	人数	市内常住の従業者に占める割合(%)	人数	市内常住の従業者に占める割合(%)
横浜市	33,518	18.9	22,665	20.9	10,853	15.8
横浜市 金沢区	9,398	5.3	5,942	5.5	3,456	5.0
横浜市 中区	5,151	2.9	3,660	3.4	1,491	2.2
横浜市 西区	3,904	2.2	2,231	2.1	1,673	2.4
川崎市	3,871	2.2	3,196	2.9	675	1.0
鎌倉市	2,306	1.3	1,447	1.3	859	1.2
逗子市	1,824	1.0	1,002	0.9	822	1.2
三浦市	2,953	1.7	1,550	1.4	1,403	2.0
藤沢市	1,171	0.7	901	0.8	270	0.4
葉山町	1,367	0.8	720	0.7	647	0.9
東京都	15,067	8.5	11,469	10.6	3,598	5.2
特別区部	14,621	8.2	11,121	10.2	3,500	5.1
港区	3,279	1.8	2,479	2.3	800	1.2
大田区	2,120	1.2	1,668	1.5	452	0.7
品川区	1,790	1.0	1,385	1.3	405	0.6

※市内常住の従業者に占める割合＝「人数」／市内常住の従業者【従業地不詳を除く】

出所）総務省国勢調査（2010）（15 歳以上従業者）

⑮ 常住従業員の自市内従業比率（県内市別・男女）

○ 常住従業員のうち自市内で従業する者の割合は小田原市に次いで県内第2位である。



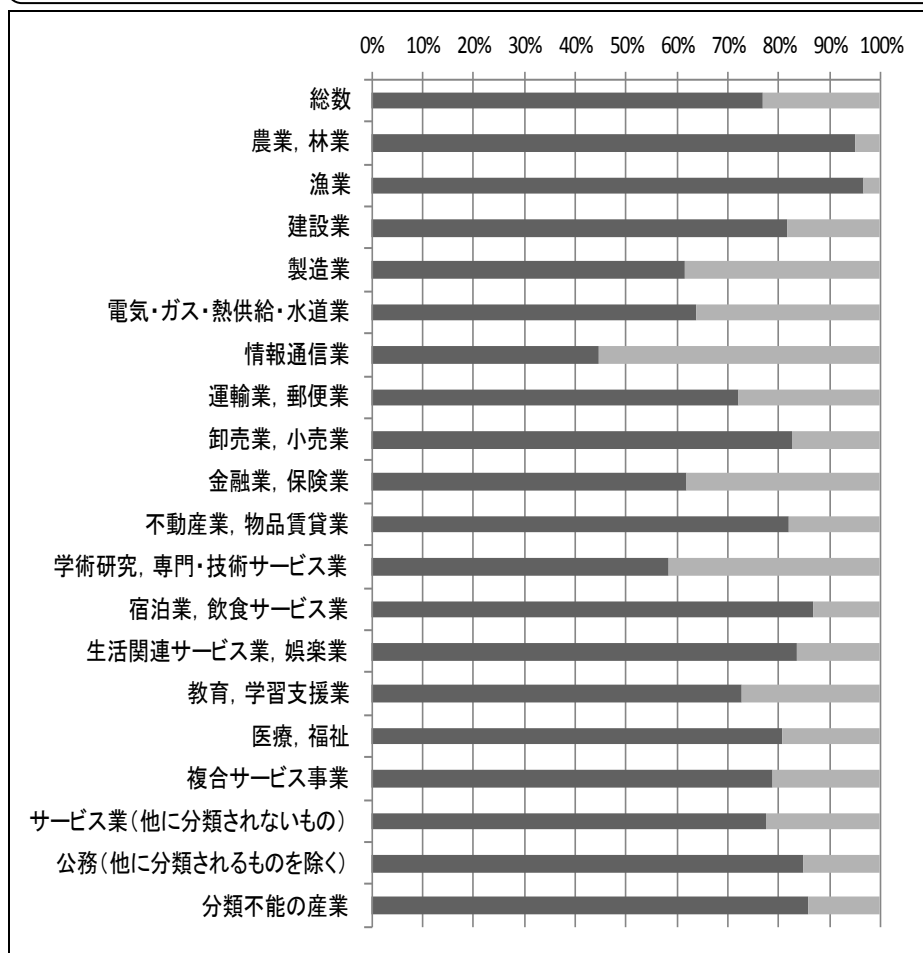
常住地	総数			男性			女性		
	常住従業員	うち自市内で従業する者	(%)	常住従業員	うち自市内で従業する者	(%)	常住従業員	うち自市内で従業する者	(%)
横須賀市	177,296	108,734	61.3	108,536	60,765	56.0	68,760	47,969	69.8
横浜市	1,688,304	990,578	58.7	1,005,409	511,653	50.9	682,895	478,925	70.1
川崎市	627,546	261,591	41.7	374,541	136,330	36.4	253,005	125,261	49.5
相模原市	327,156	166,569	50.9	192,359	83,254	43.3	134,797	83,315	61.8
三浦市	22,750	11,847	52.1	13,000	5,836	44.9	9,750	6,011	61.7
鎌倉市	72,089	27,359	38.0	42,320	12,169	28.8	29,769	15,190	51.0
逗子市	25,231	6,970	27.6	14,692	2,929	19.9	10,539	4,041	38.3
藤沢市	186,236	84,664	45.5	111,503	41,173	36.9	74,733	43,491	58.2
平塚市	123,857	74,838	60.4	75,793	41,566	54.8	48,064	33,272	69.2
小田原市	95,936	59,453	62.0	54,743	30,096	55.0	41,193	29,357	71.3
茅ヶ崎市	107,112	40,917	38.2	63,770	18,139	28.4	43,342	22,778	52.6
秦野市	75,854	39,109	51.6	45,394	20,115	44.3	30,460	18,994	62.4
厚木市	106,087	64,393	60.7	64,715	35,114	54.3	41,372	29,279	70.8
大和市	101,442	36,320	35.8	60,510	16,635	27.5	40,932	19,685	48.1
伊勢原市	48,840	20,604	42.2	29,387	10,358	35.2	19,453	10,246	52.7
海老名市	59,289	19,876	33.5	35,835	9,051	25.3	23,454	10,825	46.2
座間市	58,998	16,618	28.2	35,190	7,920	22.5	23,808	8,698	36.5
南足柄市	20,770	8,549	41.2	12,360	4,669	37.8	8,410	3,880	46.1
綾瀬市	38,791	14,823	38.2	23,796	7,868	33.1	14,995	6,955	46.4
葉山町	14,138	4,377	31.0	8,316	2,037	24.5	5,822	2,340	40.2

※常住従業員: 従業員地不詳を除く

出所) 総務省国勢調査 (2010) (15 歳以上従業員)

⑩ 産業大分類別、市内従業者の常住地比率

○ 従業者が市外に常住する割合が半数を超えている産業は、情報通信業のみである。



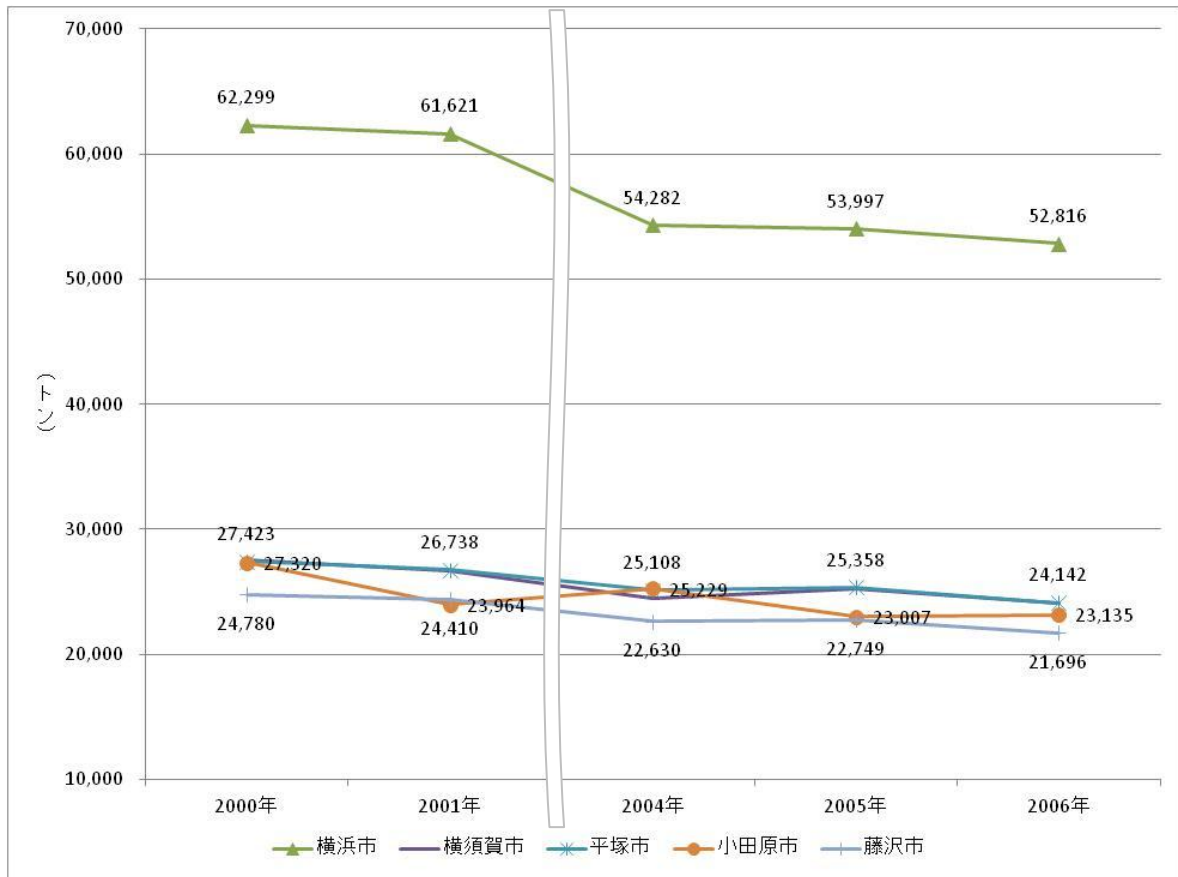
産業大分類別	従業者常住地比率	
	自市内	市外
総数	76.9	23.1
農業、林業	95.2	4.8
漁業	96.6	3.4
建設業	81.7	18.3
製造業	61.7	38.3
電気・ガス・熱供給・水道業	63.7	36.3
情報通信業	44.6	55.4
運輸業、郵便業	72.2	27.8
卸売業、小売業	82.7	17.3
金融業、保険業	61.9	38.1
不動産業、物品賃貸業	82.0	18.0
学術研究、専門・技術サービス業	58.4	41.6
宿泊業、飲食サービス業	86.7	13.3
生活関連サービス業、娯楽業	83.5	16.5
教育、学習支援業	72.6	27.4
医療、福祉	80.6	19.4
複合サービス事業	78.6	21.4
サービス業(他に分類されないもの)	77.4	22.6
公務(他に分類されるものを除く)	84.9	15.1
分類不能の産業	85.7	14.3

出所) 総務省国勢調査 (2010) (15 歳以上従業者)

(2) 第1次産業（農業・漁業）

① 神奈川県及び県内主要都市における農産物収穫量の推移

○ 横須賀市の農産物収穫量は平塚市、小田原市、藤沢市とほぼ同等である。



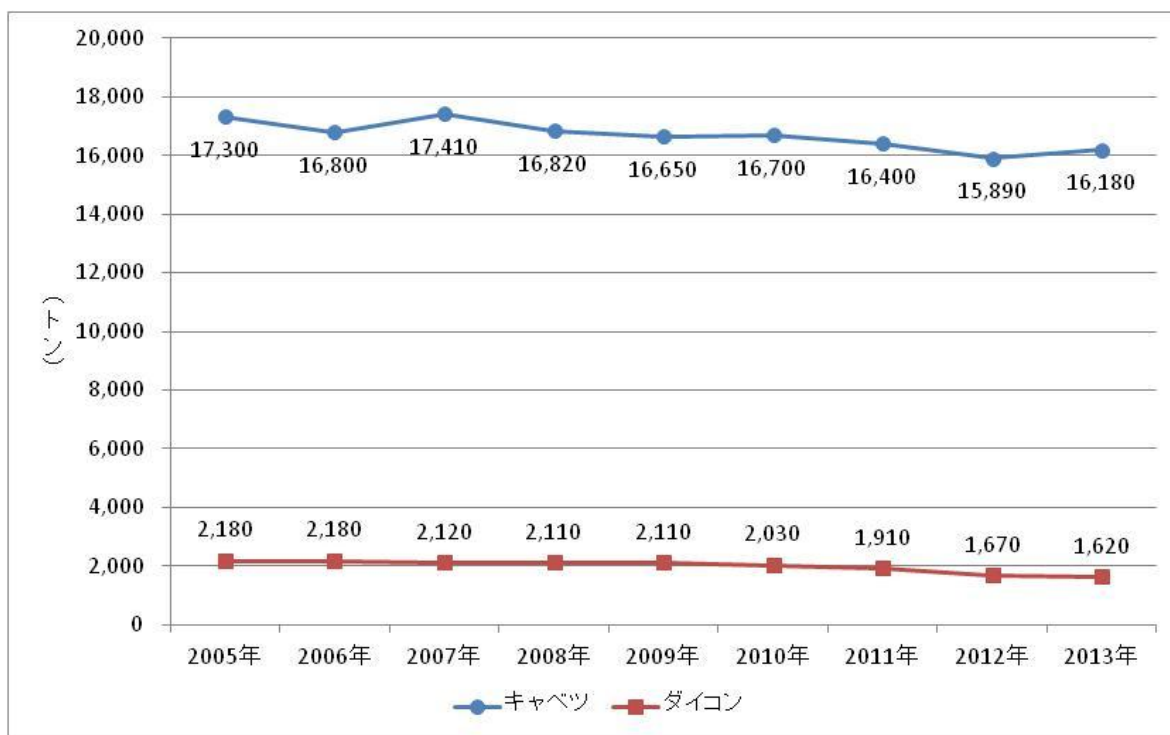
(トン)

	2000 (H12)	2001 (H13)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)
神奈川県	469,837	453,123	426,207	421,182	409,788
三浦市	137,882	138,173	131,997	131,070	129,670
横浜市	62,299	61,621	54,282	53,997	52,816
横須賀市	27,591	26,663	24,453	25,232	24,142
平塚市	27,423	26,738	25,108	25,358	24,142
小田原市	27,320	23,964	25,229	23,007	23,135
藤沢市	24,780	24,410	22,630	22,749	21,696

※神奈川県及び三浦市はグラフに掲載していない。 出所) 神奈川県農林水産統計年報

② 横須賀市における主要農産物の収穫量の推移

○ 横須賀市の農産物の収穫量はキャベツが大部分を占めている。その収穫量はほぼ安定している。



(トン)

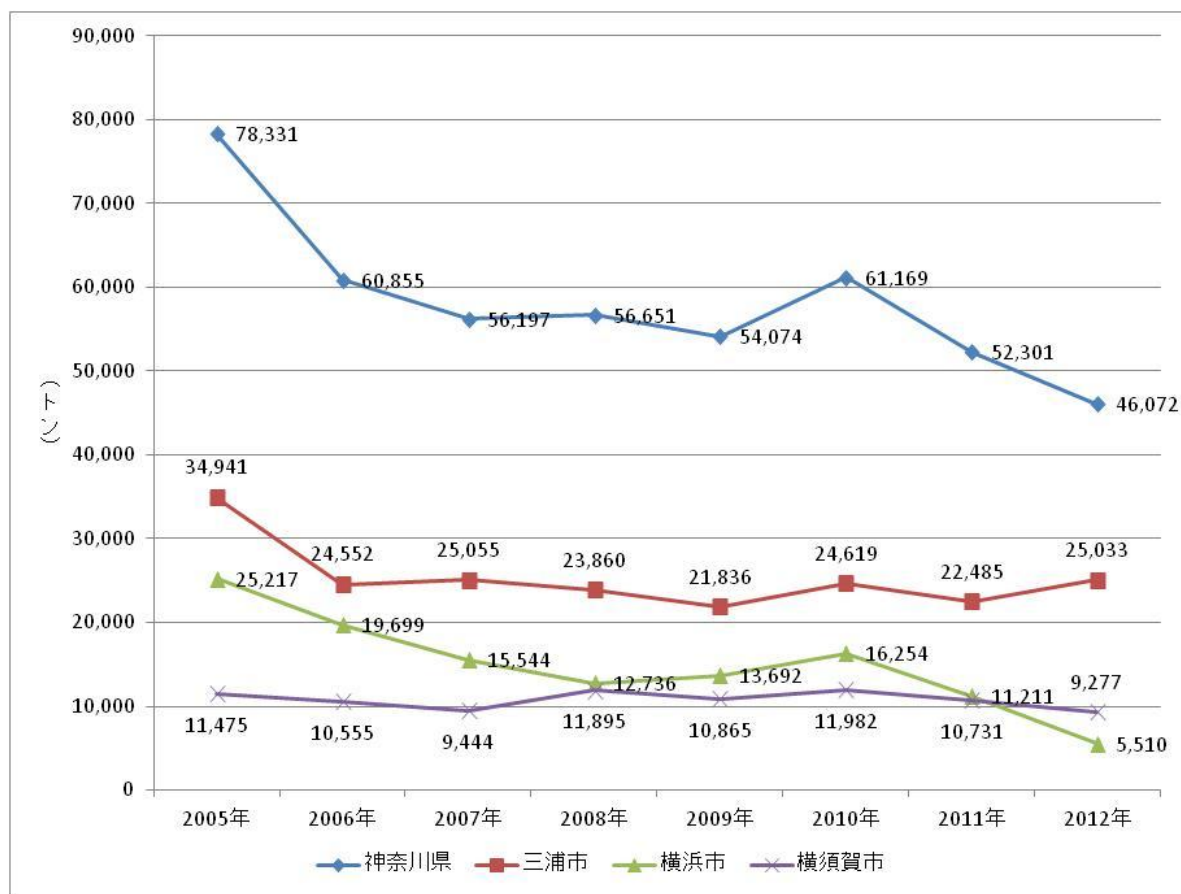
年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
キャベツ	17,300	16,800	17,410	16,820	16,650	16,700	16,400	15,890	16,180
ダイコン	2,180	2,180	2,120	2,110	2,110	2,030	1,910	1,670	1,620
カボチャ	1,360	1,290							
スイカ	1,050	1,020							
ミカン	737	685							
キュウリ	348	346							
トマト	307	308							
ばれいしょ	341	326							
なす	217	218							
えだまめ	202	204							

出所) 神奈川県農林水産統計年報

※2007年(平成19年)からキャベツ、ダイコンの統計のみ

③ 神奈川県及び県内上位３市における漁獲量の推移

- 神奈川県の漁獲量は減少傾向にあるが、横須賀市の漁獲量はほぼ横ばいである。

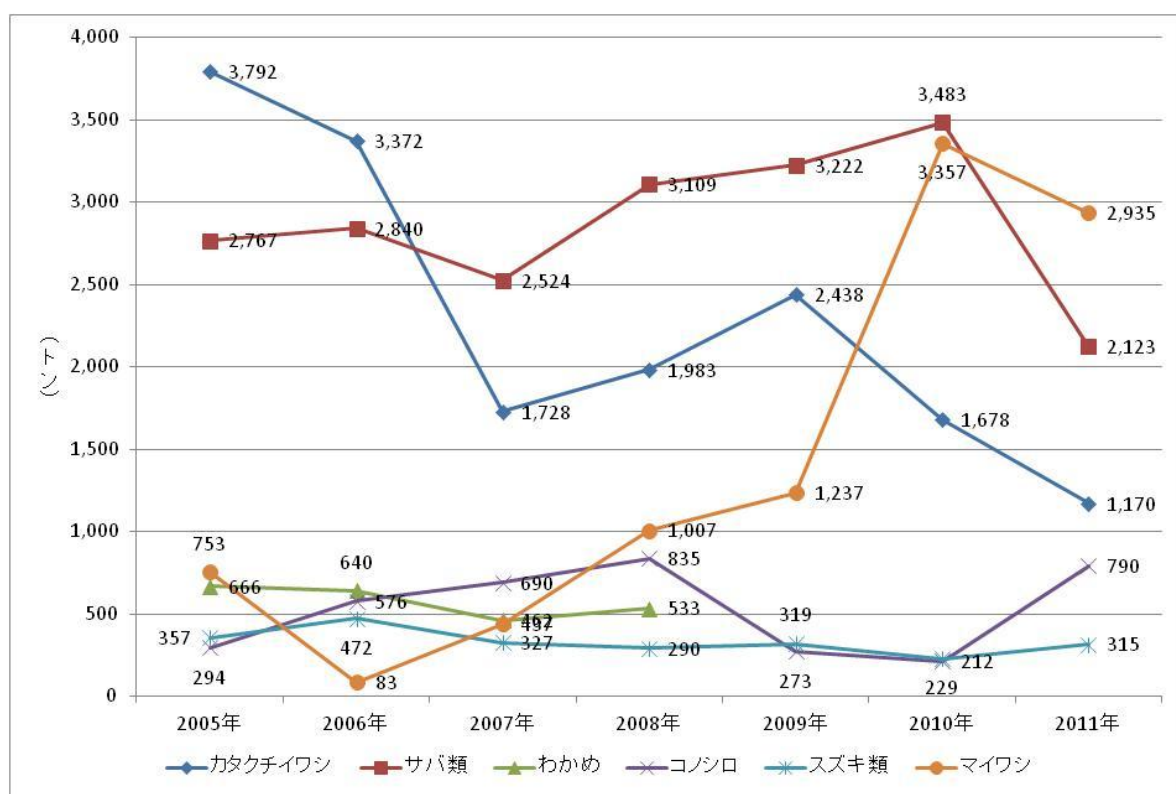


(トン)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)
神奈川県	78,331	60,855	56,197	56,651	54,074	61,169	52,301	46,072
三浦市	34,941	24,552	25,055	23,860	21,836	24,619	22,485	25,033
横浜市	25,217	19,699	15,544	12,736	13,692	16,254	11,211	5,510
横須賀市	11,475	10,555	9,444	11,895	10,865	11,982	10,731	9,277

出所) 神奈川県農林水産統計年報

④ 横須賀市における主要魚種の収穫量推移



(トン)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)
カタクチイワシ	3,792	3,372	1,728	1,983	2,438	1,678	1,170
サバ類	2,767	2,840	2,524	3,109	3,222	3,483	2,123
わかめ	666	640	462	533	未公開	未公開	未公開
コノシロ	294	576	690	835	273	212	790
スズキ類	357	472	327	290	319	229	315
マイワシ	753	83	437	1,007	1,237	3,357	2,935

出所) 神奈川県農林水産統計年報

(3) 第2次産業（製造業等）

① 県及び市内事業所数・従業者数・製造品出荷額等 （従業者4人以上の事業所）

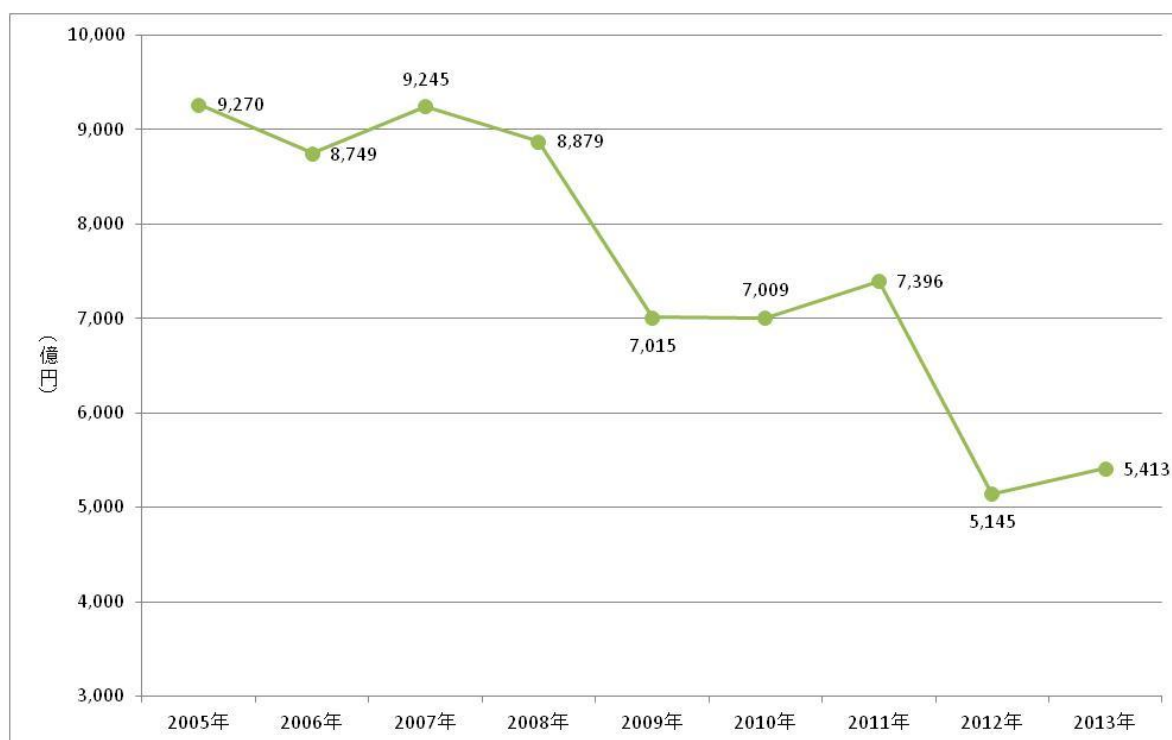
○ 横須賀市には県内の事業所の2.7%、従業者数の3.3%が存在する。

	事業所数	従業者数 (人)	現金給与総額 (百万円)	原材料使用額等 (百万円)	製造品出荷額等 (百万円)	付加価値額 (百万円)
神奈川県	8,433	355,292	1,837,773	11,350,151	17,226,142	4,741,455
横須賀市	228	11,757	65,010	354,047	541,295	174,666

出所) 平成25年工業統計調査

② 製造品出荷額等の推移

○ 製造品出荷額等は減少傾向にある。



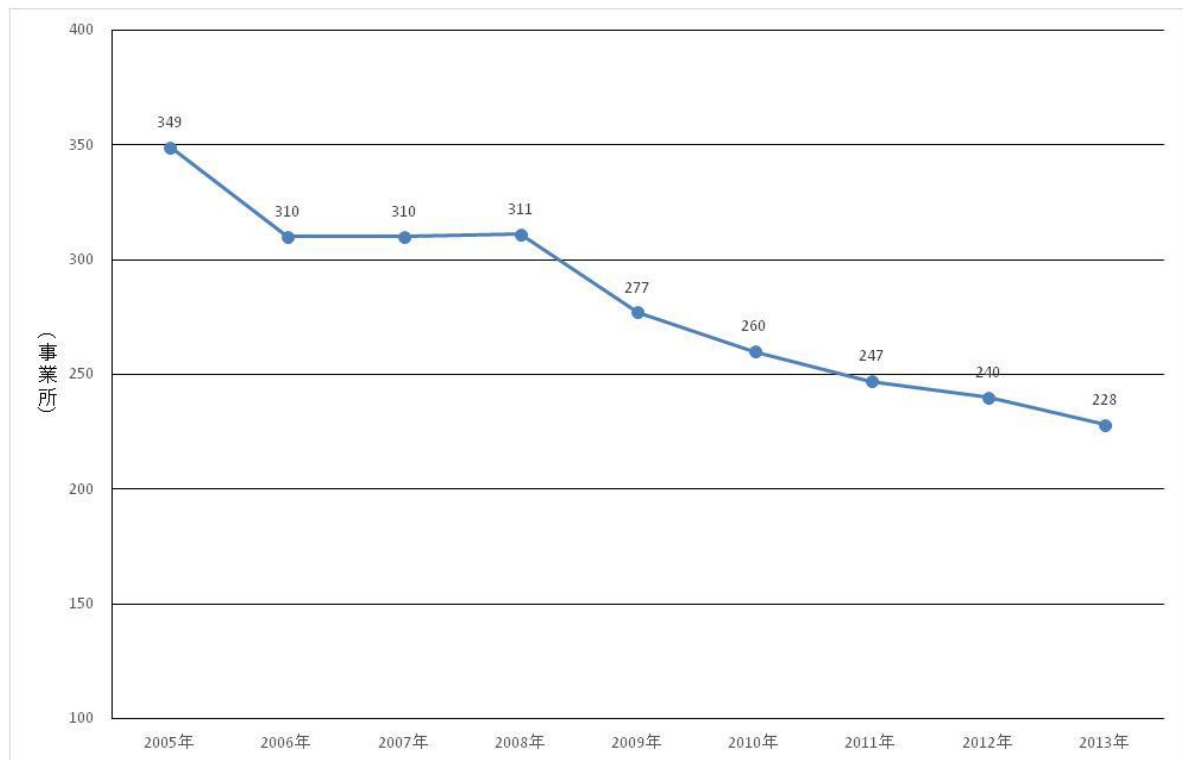
(億円)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
製造品出荷額等	9,270	8,749	9,245	8,879	7,015	7,009	7,396	5,145	5,413

出所) 工業統計調査（経済産業省）

③製造業の事業所数の推移

- 製造業の事業所数は減少傾向にある。

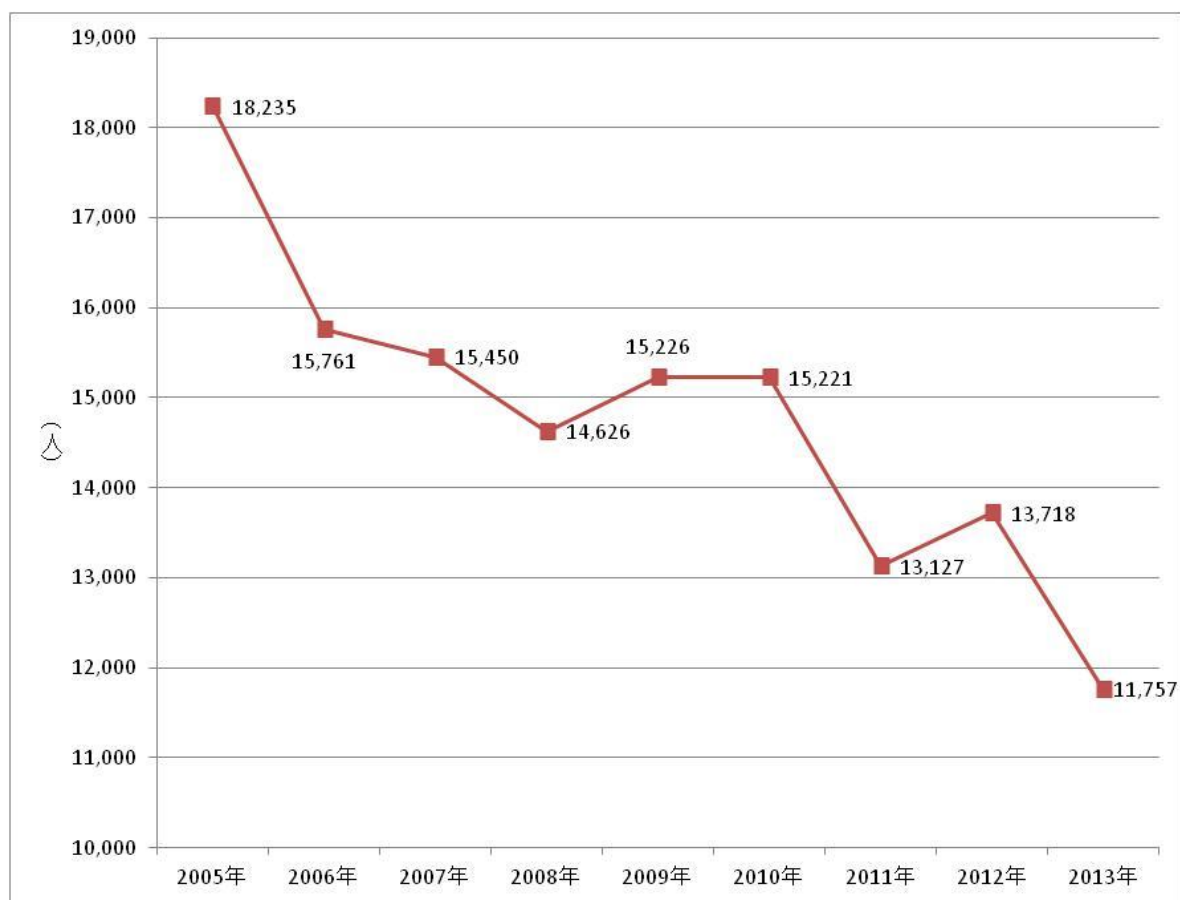


(事務所)									
年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
事業所数	349	310	310	311	277	260	247	240	228

出所) 工業統計調査 (経済産業省)

④ 製造業の従業者数の推移

- 製造業の従業者数は減少傾向にある。



(人)

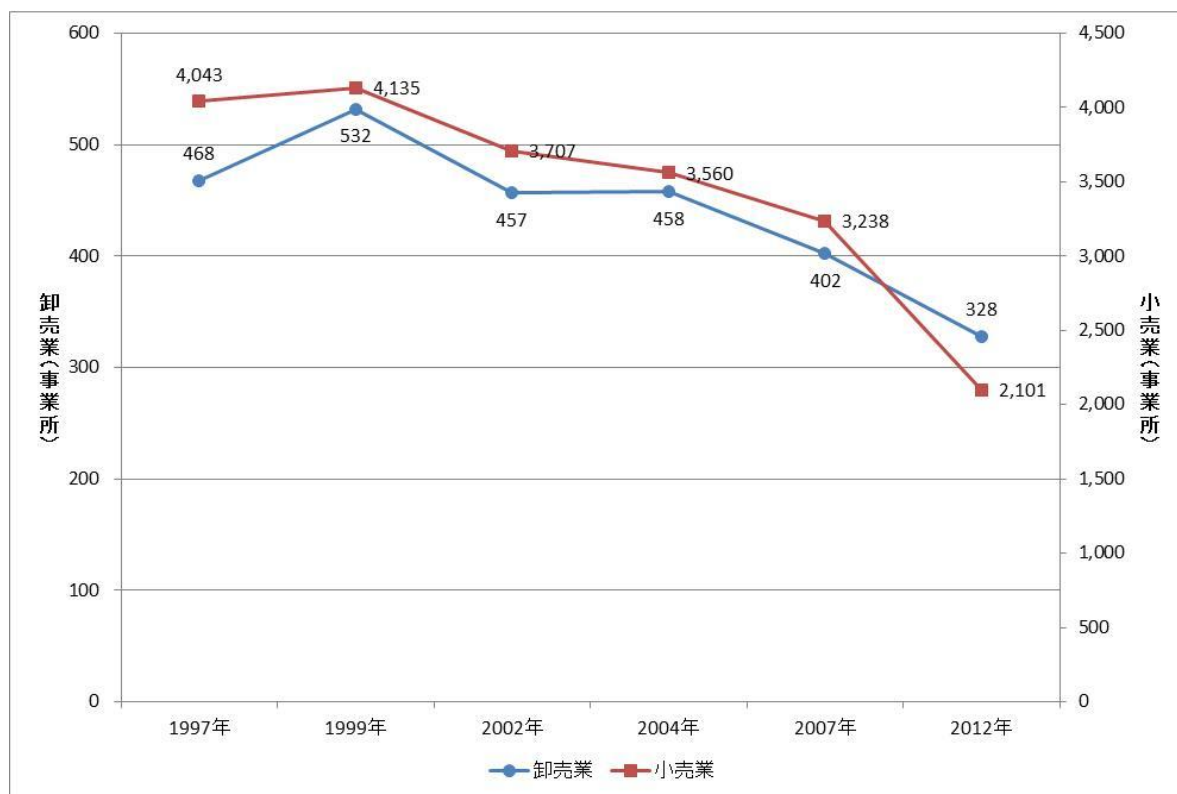
年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
従業者数	18,235	15,761	15,450	14,626	15,226	15,221	13,127	13,718	11,757

出所) 工業統計調査 (経済産業省)

(4) 第3次産業（商業・サービス業等）

①横須賀市の卸売業・小売業の事業所数の推移

○ 卸売業・小売業ともに事業所数は減少傾向にある。



年	(事業所)					
	1997 (H9)	1999 (H11)	2002 (H14)	2004 (H16)	2007 (H19)	2012 (H24)
卸売業	468	532	457	458	402	328
小売業	4,043	4,135	3,707	3,560	3,238	2,101

出所) (2007年まで) 商業統計調査 (7月1日現在)

(2012年) 経済センサス (7月1日現在) (総務省)

②横須賀市の卸売業・小売業の従業者数の推移

○ 卸売業・小売業ともに従業者数は減少傾向にある。



(人)

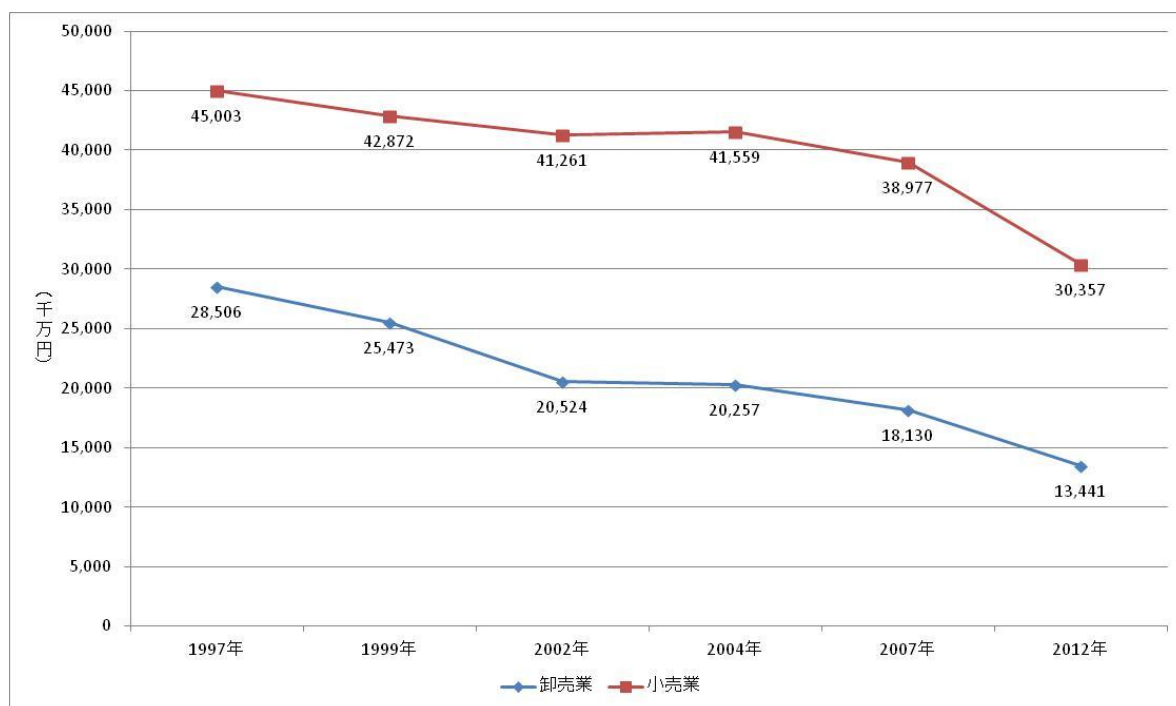
年	1997 (H9)	1999 (H11)	2002 (H14)	2004 (H16)	2007 (H19)	2012 (H24)
卸売業	4,446	4,582	4,330	3,829	3,006	2,542
小売業	23,322	26,367	25,520	24,879	23,992	16,180

出所) (2007 年まで) 商業統計調査 (7 月 1 日現在)

(2012 年) 経済センサス (7 月 1 日現在) (総務省)

③ 横須賀市の卸売業・小売業の年間商品販売額の推移

○ 卸売業・小売業ともに年間商品販売額は減少傾向にある。



(千円)

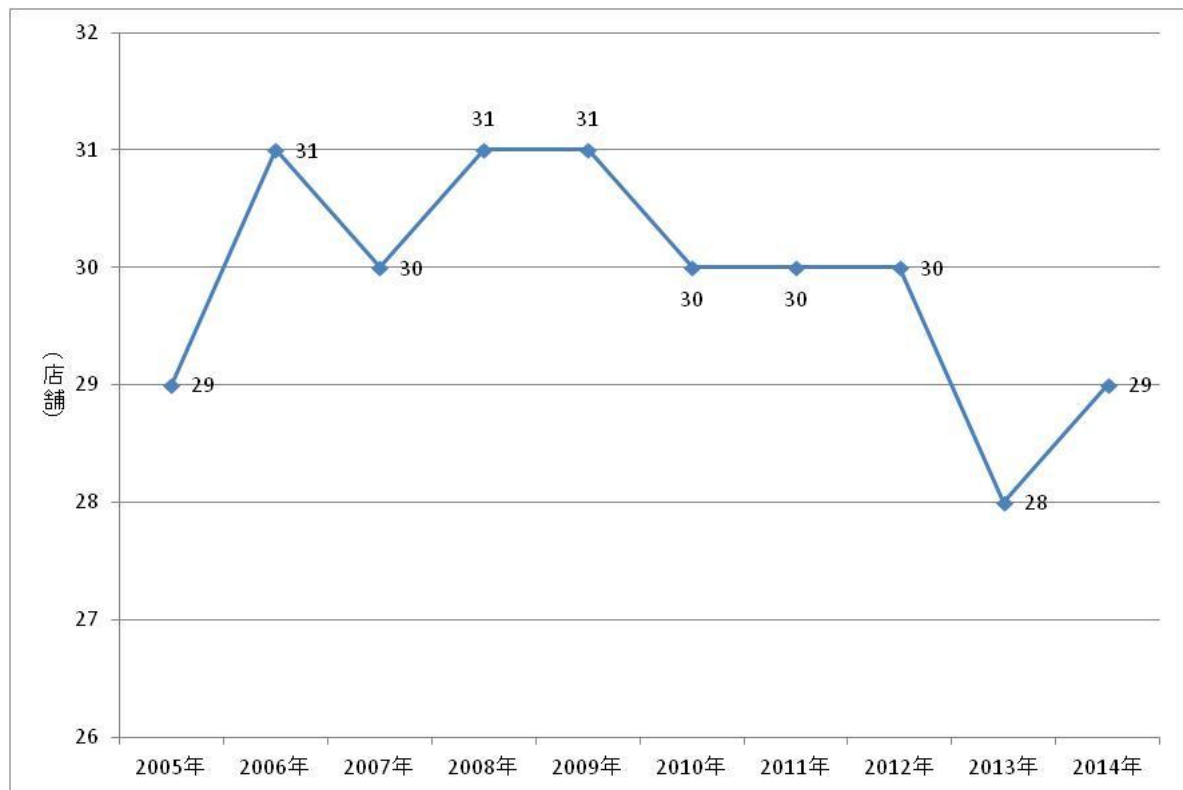
年	1997 (H9)	1999 (H11)	2002 (H14)	2004 (H16)	2007 (H19)	2012 (H24)
卸売業	28,506	25,473	20,524	20,257	18,130	13,441
小売業	45,003	42,872	41,261	41,559	38,977	30,357

出所) (2007 年まで) 商業統計調査 (7 月 1 日現在)

(2012 年) 経済センサス (7 月 1 日現在) (総務省)

④ 横須賀市の大型店の店舗数の推移

○ 市内の大型店舗数は 2012 年（平成 24 年）以降 1 件程度の増減がある。

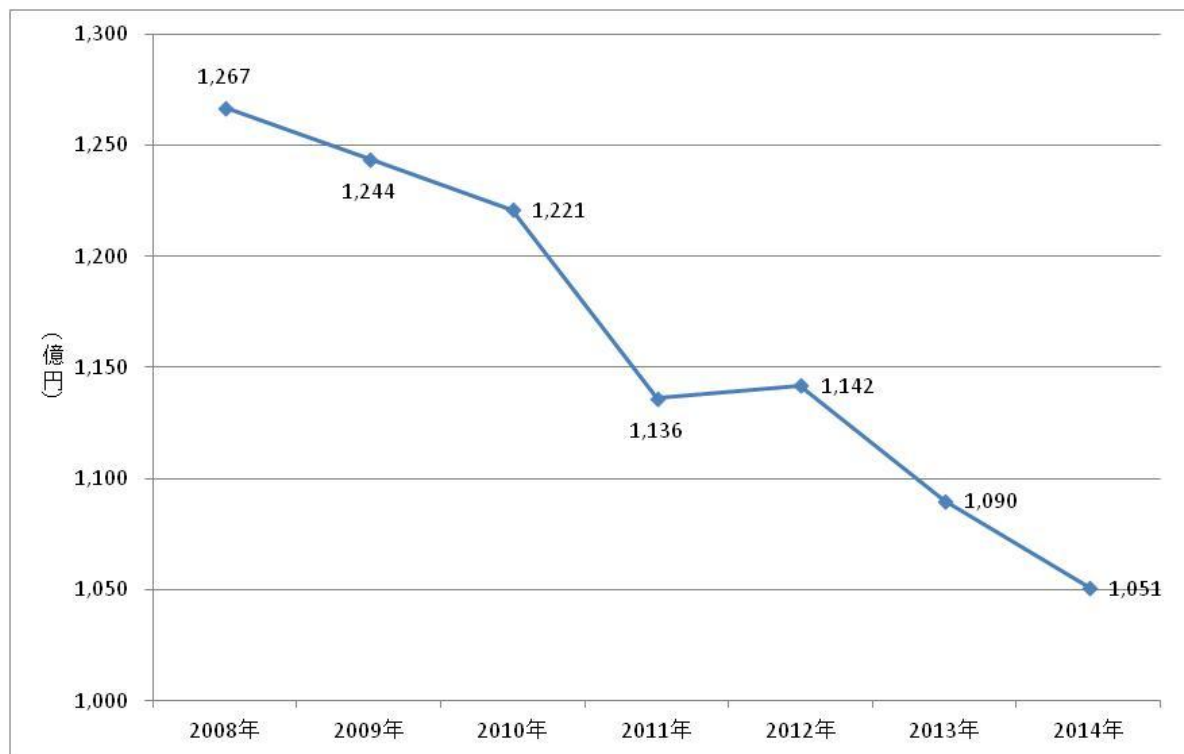


年	(店舗)									
	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
大型店舗数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	29

出所) 大型小売店統計 (神奈川県)

⑤ 横須賀市の大型店年間商品販売額の推移

○ 市内の大型店の年間商品販売額は減少傾向である。



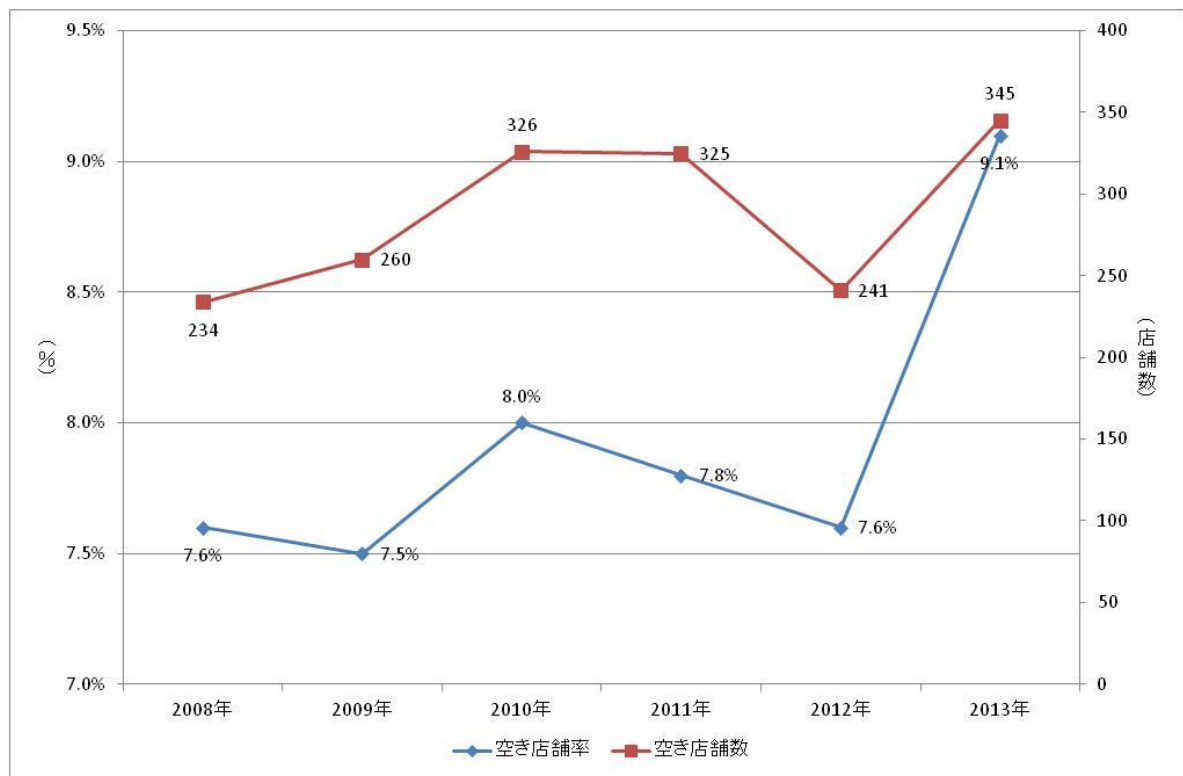
(億円)

年	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H25)
年間商品販売額	1,267	1,244	1,221	1,136	1,142	1,090	1,051

出所) 大型小売店統計 (神奈川県)

⑥ 横須賀市の商店街の空き店舗率及び空き店舗数の推移

○ 市内の商店街の空き店舗率、空き店舗数は増加傾向にある。



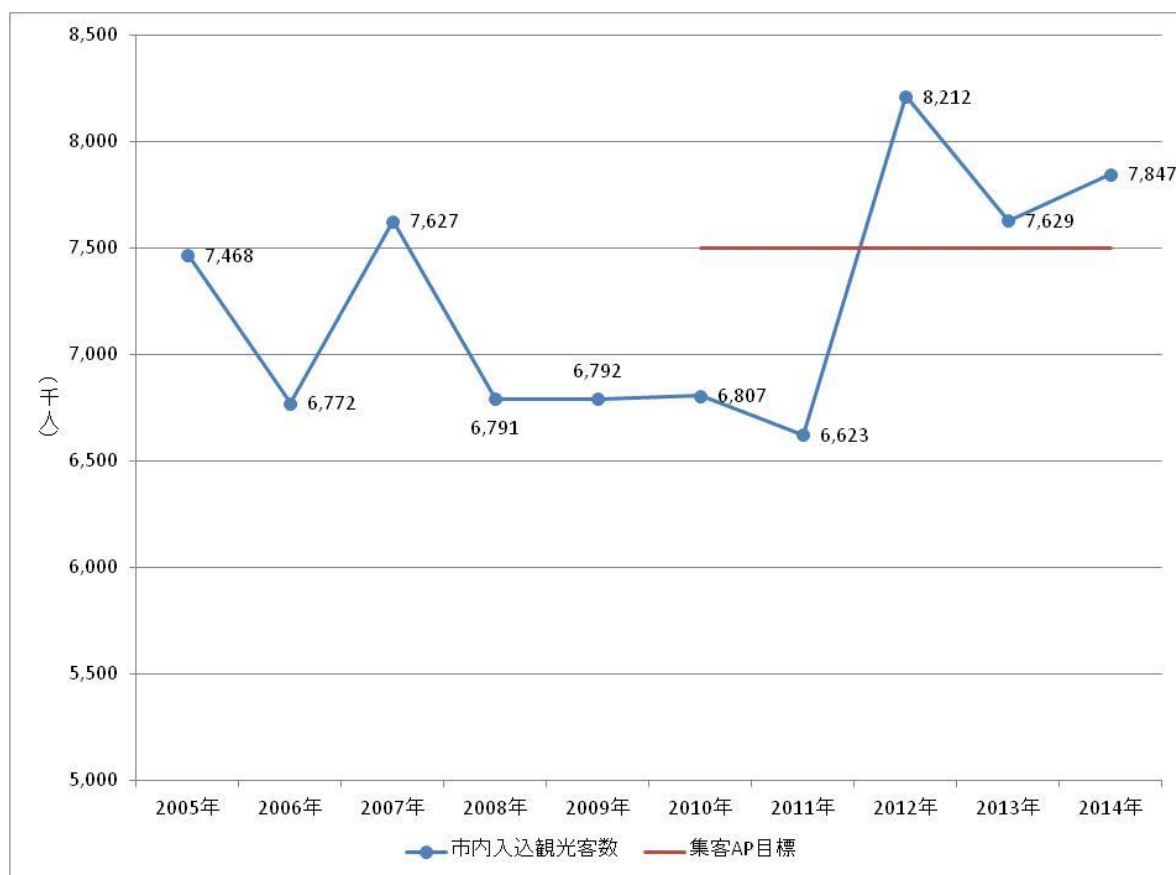
年	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
空き店舗率 (%)	7.6	7.5	8.0	7.8	7.6	9.1
空き店舗数 (店舗)	234	260	326	325	241	345

出所) 横須賀市経済部

3 観光

(1) 横須賀市の市内入込観光客数の推移

- 本市の市内入込観光客数は 2011 年から 2012 年にかけて増加し、2013 年には減少している。



(千人)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
市内入込 観光客数	7,468	6,772	7,627	6,791	6,792	6,807	6,623	8,212	7,629	7,847

出所) 横須賀市経済部

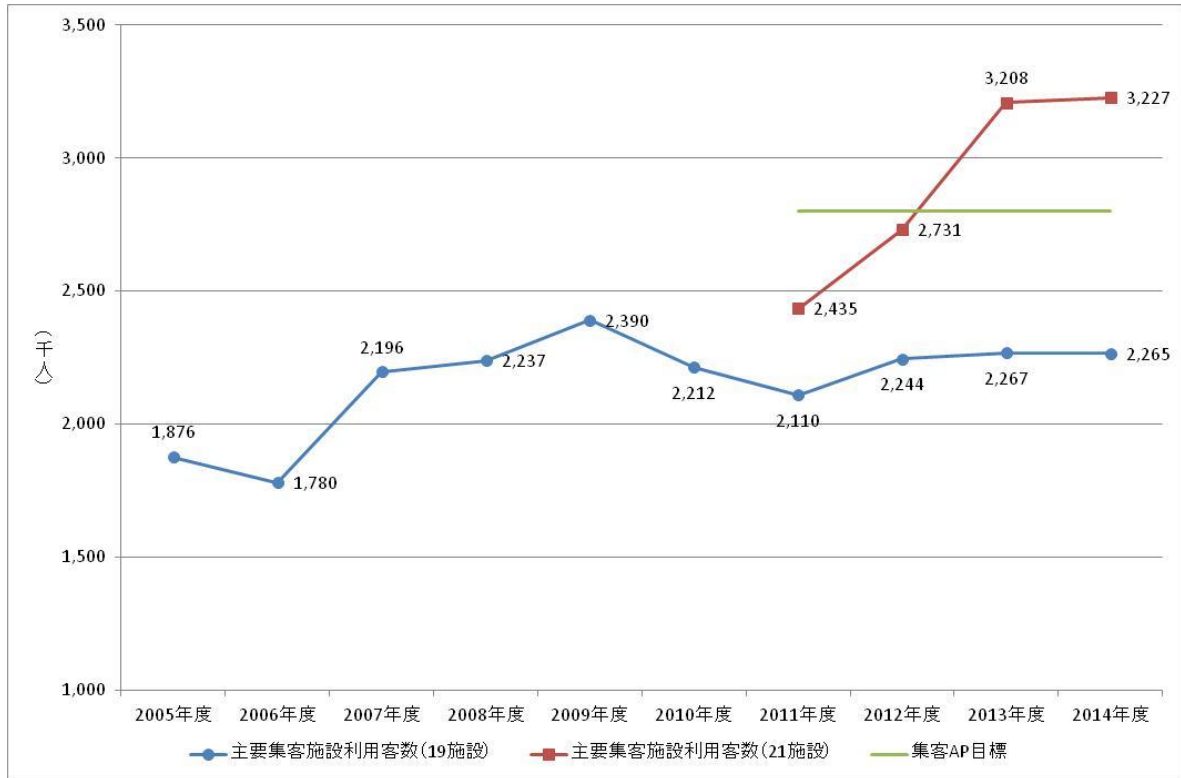
※集客 AP・・・横須賀市集客促進アクションプラン

- ・ 市内入込観光客数：観光地点、観光施設及び観光行事に入り込んだ観光客数
本資料では「延観光客数」と同数
- ・ 横須賀市集客促進アクションプラン：本市の人口減少にともなう消費縮小を、観光集客での消費拡大で補うことを戦略的に進めていくための実行計画

(2) 横須賀市集客促進アクションプランに関連する目標の進捗

- 主要集客施設の利用者数は増加傾向にある。
- 宿泊施設利用客数は 2012 年（平成 24 年）以降、ほぼ横ばいである。
- 2012 年（平成 24 年）からヴェルニー公園駐車場が加わり、増加傾向にある。

①主要集客施設利用客数



(千人)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
主要集客施設 利用客数(19施設)	1,876	1,780	2,196	2,237	2,390	2,212	2,110	2,244	2,267	2,265
主要集客施設 利用客数(21施設)							2,435	2,731	3,208	3,227

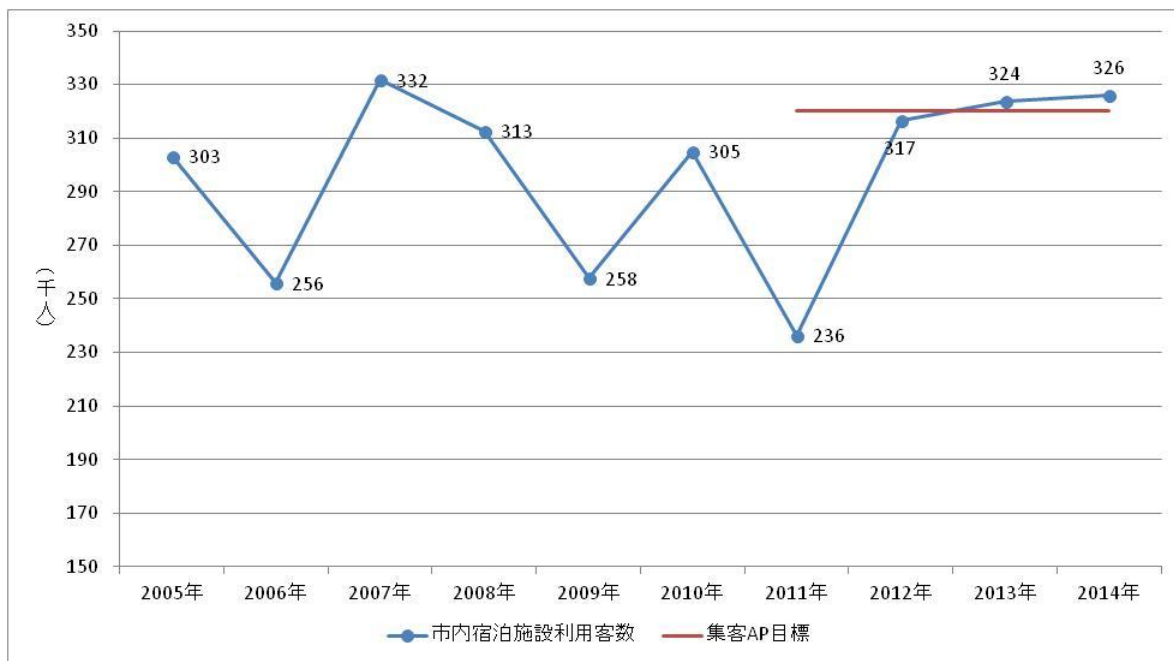
出所) 横須賀市経済部

〈21 施設〉

すかなごっそ、ポートマーケットに以下の 19 施設を加えた 21 施設

記念艦三笠、観音埼灯台、ハーブ園、くりはま花の国、しょうぶ園、猿島、ソレイユの丘、観音崎航路、軍港巡り、横須賀芸術劇場、横須賀美術館、横須賀市自然・人文博物館、馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園・ビジターセンター、ペリー記念館、ヴェルニー記念館、観音崎自然博物館、横須賀スタジアム（公式戦来場者数を計測）、津久井浜観光農園

②宿泊施設利用客数



(千人)

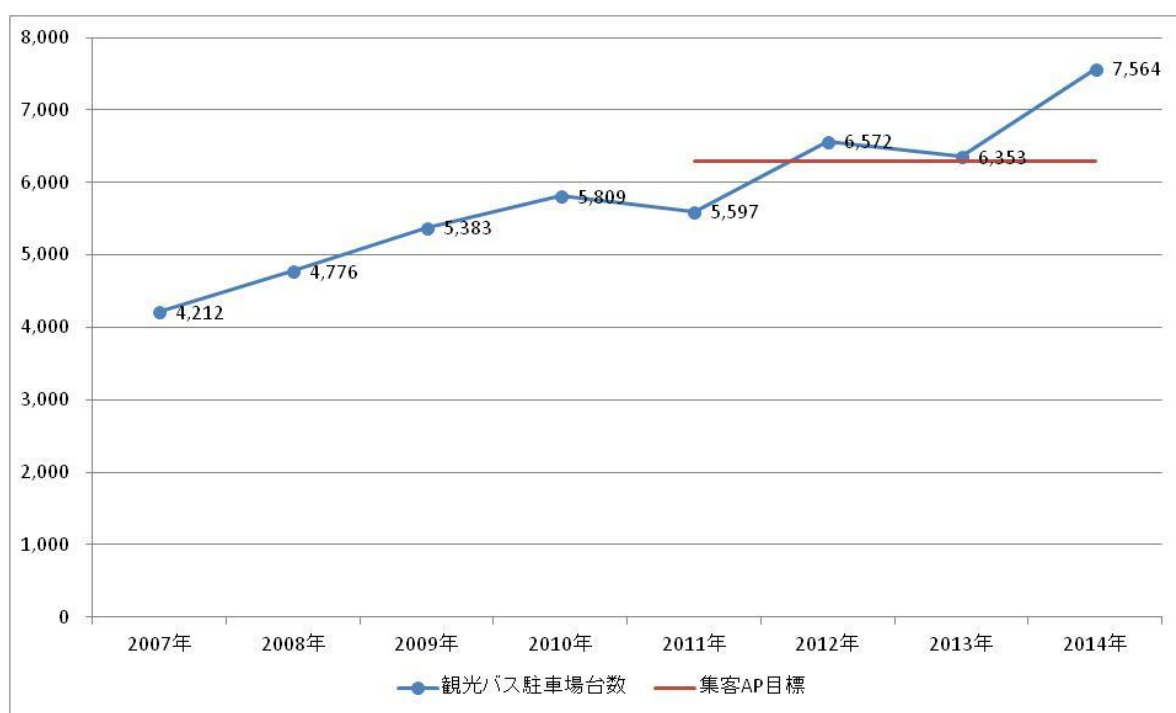
年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
市内宿泊施設 利用客数	303	256	332	313	258	305	236	317	324	326

※以下の市内宿泊施設（20 宿泊施設）の利用客数

〈20 宿泊施設〉

ホテルニューヨコスカ、ホテル横須賀、ホテルパレス、セントラルホテル、メルキュール
ホテル横須賀、ホテルハーバー横須賀、観音崎京急ホテル、ホテル YRP、葉山ホテル音羽
の森、佐島マリーナホテル、湘南国際村センター 他

③観光バス駐車台数



(台)

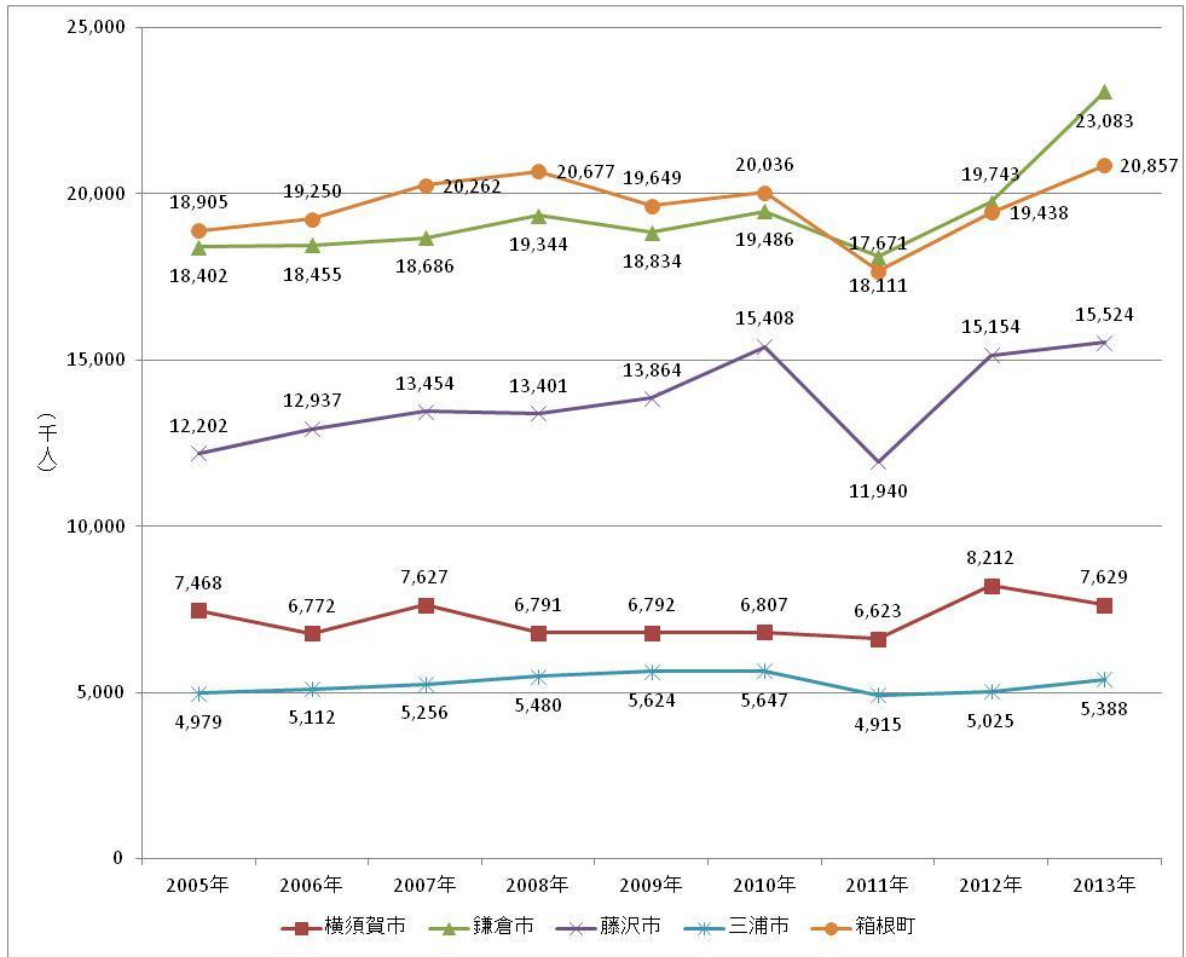
年	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
観光バス駐車台数	4,212	4,776	5,383	5,809	5,597	6,572	6,353	7,564
集客APの9駐車場に入っていないヴェルニー公園駐車場を抜いた数字(※)	—	—	—	—	—	5,189	4,382	5188

※ヴェルニー公園駐車場は横須賀市集客アクションプラン策定後に作られた。

そのため、アクションプランの目標にヴェルニー公園駐車場の利用台数は含まれない。

(3) 横須賀市及び県内主要都市の入込観光客の推移

○ 2012年（平成24年）から2013年（平成25年）にかけては横須賀市のみ入込観光客が減少している。



(千人)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
横浜市	39,939	39,956	41,072	42,532	54,281	41,965	36,101	42,432	45,659
横須賀市	7,468	6,772	7,627	6,791	6,792	6,807	6,623	8,212	7,629
鎌倉市	18,402	18,455	18,686	19,344	18,834	19,486	18,111	19,743	23,083
藤沢市	12,202	12,937	13,454	13,401	13,864	15,408	11,940	15,154	15,524
三浦市	4,979	5,112	5,256	5,480	5,624	5,647	4,915	5,025	5,388
箱根町	18,905	19,250	20,262	20,677	19,649	20,036	17,671	19,438	20,857

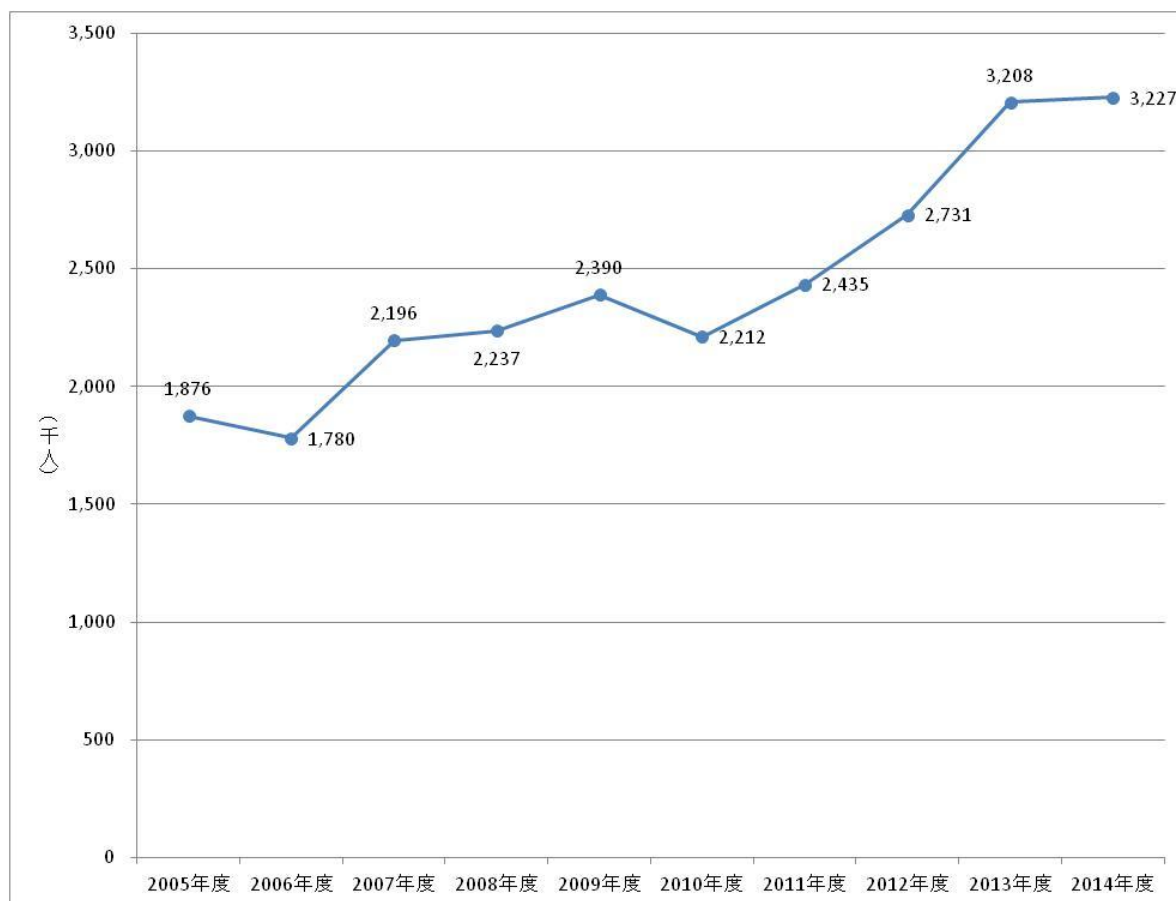
※横浜市はグラフには記載していない。

出所)「県勢要覧」、「神奈川県入込観光客調査」

(4) 横須賀市の主要集客施設の来訪者数

○ 主要集客施設の来訪者数は 2010 年度（平成 22 年度）以降、増加傾向にある。

①来訪者数（合計）の推移

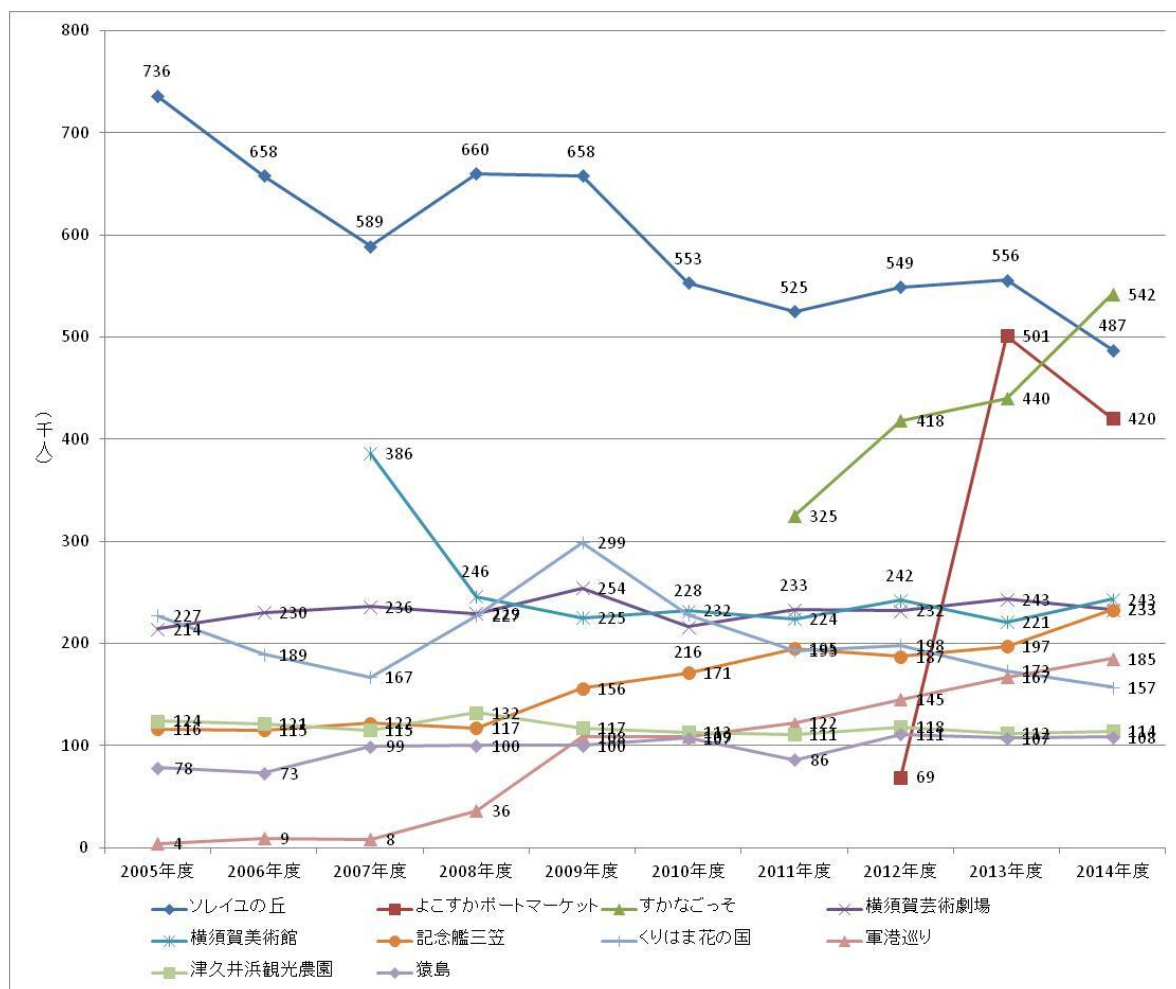


(千人)										
年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)
来訪者数 (合計)	1,876	1,780	2,196	2,237	2,390	2,212	2,435	2,731	3,208	3,227

※主要集客施設とは、以下の 19 施設に 2012 年度（平成 24 年度）以降はすかなごっそ、ポートマーケットを加えた 21 施設（横須賀市集客促進アクションプランと同様）

記念艦三笠、観音崎灯台、ハーブ園、くりはま花の国、しょうぶ園、猿島、ソレイユの丘、観音崎航路、軍港巡り、横須賀芸術劇場、横須賀美術館、横須賀市自然・人文博物館、馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園・ビジターセンター、ペリー記念館、ヴェルニー記念館、観音崎自然博物館、横須賀スタジアム（公式戦来場者数を計測）、津久井浜観光農園

②主な施設ごとの来訪者数内訳



※主要集客施設のうち、2014年度（平成26年度）の集客数上位10施設をグラフ表示

※よこすかポートマーケットは2013年（平成25年）3月13日開業

(千人)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
ソレイユの丘	736	658	589	660	658	553	525	549	556	487
よこすか ポートマーケット	—	—	—	—	—	—	—	69	501	420
すかなごっそ	—	—	—	—	—	—	325	418	440	542
横須賀芸術劇場	214	230	236	229	254	216	233	232	243	233
横須賀美術館	—	—	386	246	225	232	224	242	221	243
記念艦三笠	116	115	122	117	156	171	195	187	197	233
くりはま花の国	227	189	167	227	299	228	193	198	173	157
軍港巡り	4	9	8	36	108	109	122	145	167	185
津久井浜観光農園	124	121	115	132	117	113	111	118	112	114
猿島	78	73	99	100	100	107	86	111	107	108
ハーブ園	28	25	93	99	84	76	92	104	97	95
しょうぶ園	83	77	87	100	100	98	82	86	90	86
ペリー記念館	33	36	30	34	35	37	29	29	68	67
ヴェルニー記念館	35	53	57	61	63	70	63	68	58	75
横須賀市自然・ 人文博物館	50	58	58	55	57	55	52	51	51	52
天神島臨海自然教育園	43	41	38	39	40	42	29	46	45	45
観音埼灯台	45	44	48	39	37	37	32	33	33	35
横須賀スタジアム	31	24	24	30	34	38	22	28	31	28
観音崎自然博物館	26	27	26	24	16	23	15	14	15	18
馬堀自然教育園	2	3	3	3	4	3	2	3	2	3
観音崎航路	—	—	10	4	5	3	3	—	—	—

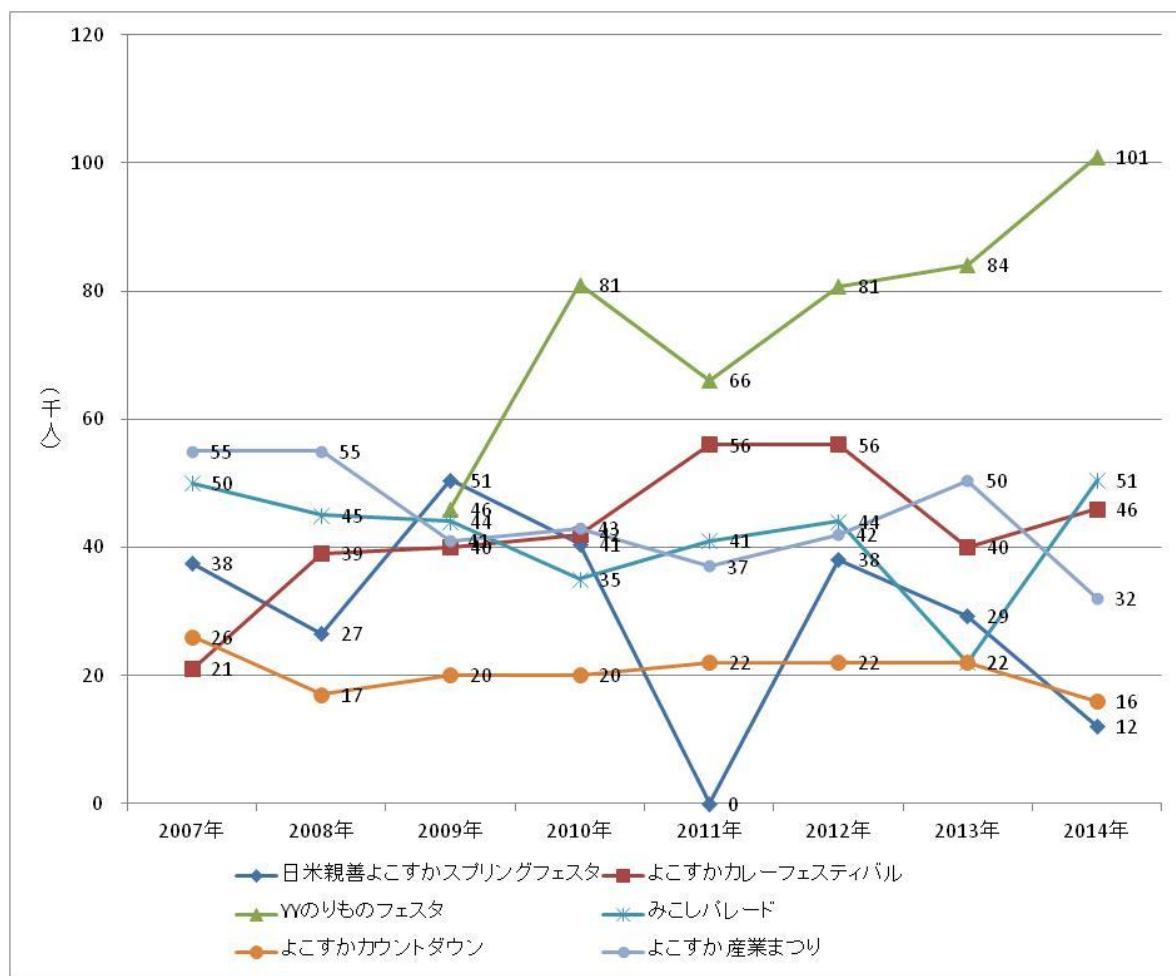
※グラフは 2014 年度（平成 26 年度）の上位 10 施設を表示

出所）横須賀市経済部

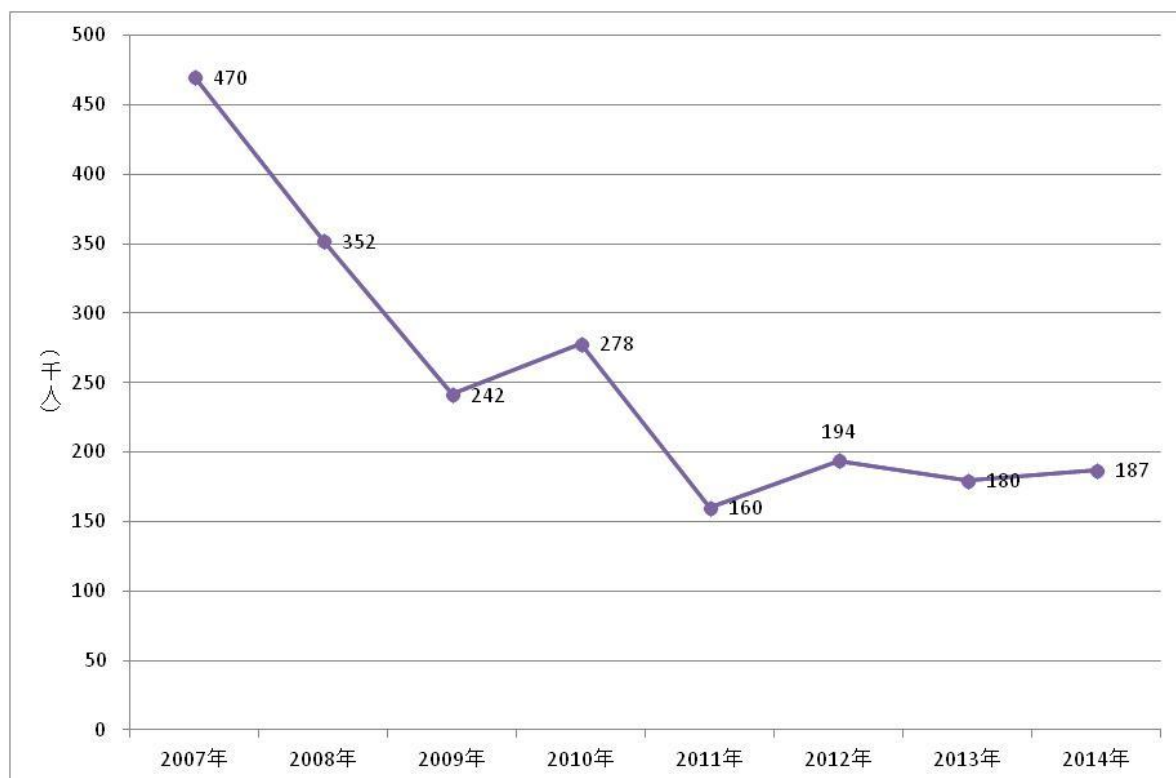
※観音崎航路は 2011 年 10 月末をもって廃路

(5) 横須賀市の主要イベントの来訪者数

①主要イベントの来訪者数（よこすか開国祭を除く）



②よこすか開国祭の来訪者数



(千人)

年	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
日米親善よこすか スプリングフェスタ	38	27	51	41	中止	38	29	12
よこすか カレーフェスティバル	21	39	40	42	56	56	40	46
YY のりものフェスタ			46	81	66	81	84	101
みこしパレード	50	45	44	35	41	44	22	51
よこすかカウントダウン	26	17	20	20	22	22	22	16
よこすか産業まつり	55	55	41	43	37	42	50	32
よこすか開国祭	470	352	242	278	160	194	180	187

出所) 横須賀市経済部

(参考) よこすか開国祭での花火打ち上げ数の推移

(発)

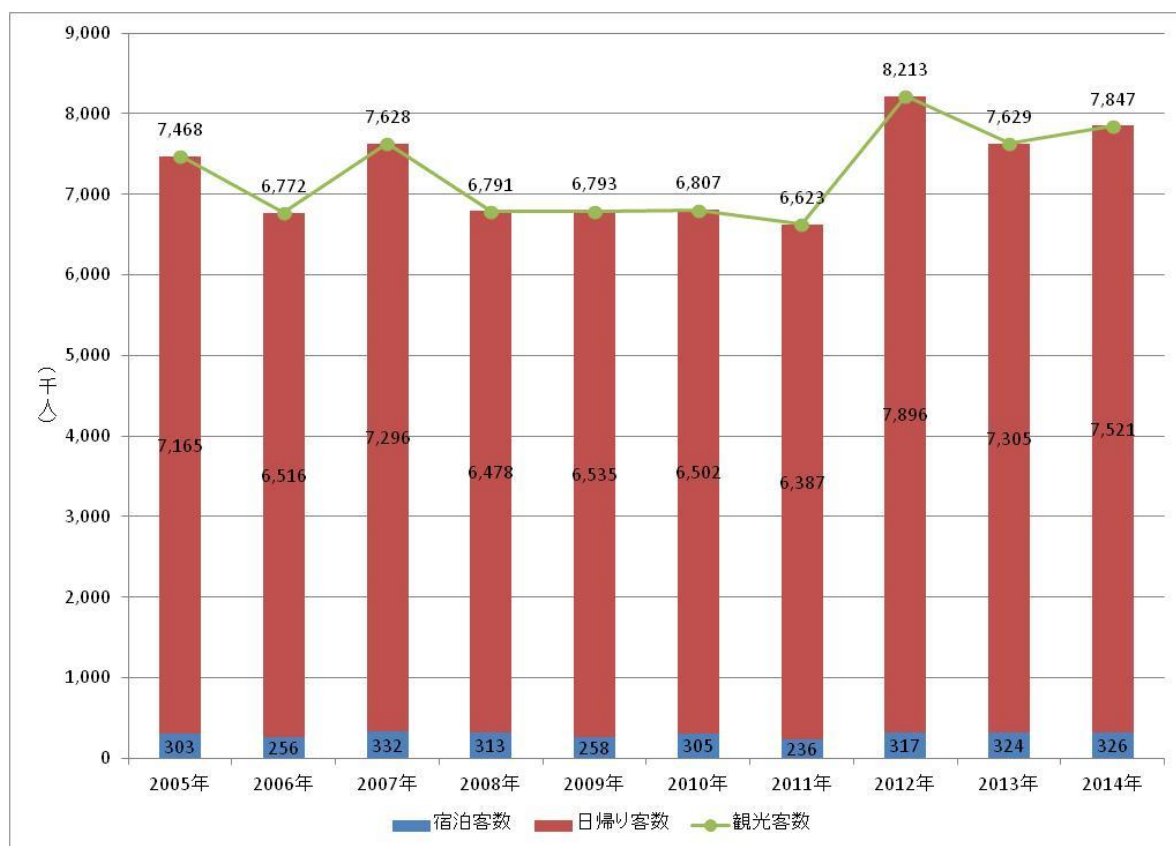
年	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)
花火打ち上げ数	10,000	10,000	10,000	10,000	4,000	4,000	5,000	5,000	6,000

※開国祭：ペリー来航 150 周年を記念して 2003 年（平成 15 年）から開催

2007 年（平成 19 年）2 月 15 日に横須賀市は市制 100 周年

（６）観光客数（日帰り客数と宿泊客数）推移

○ 宿泊客数はほぼ横ばいである。



(千人)

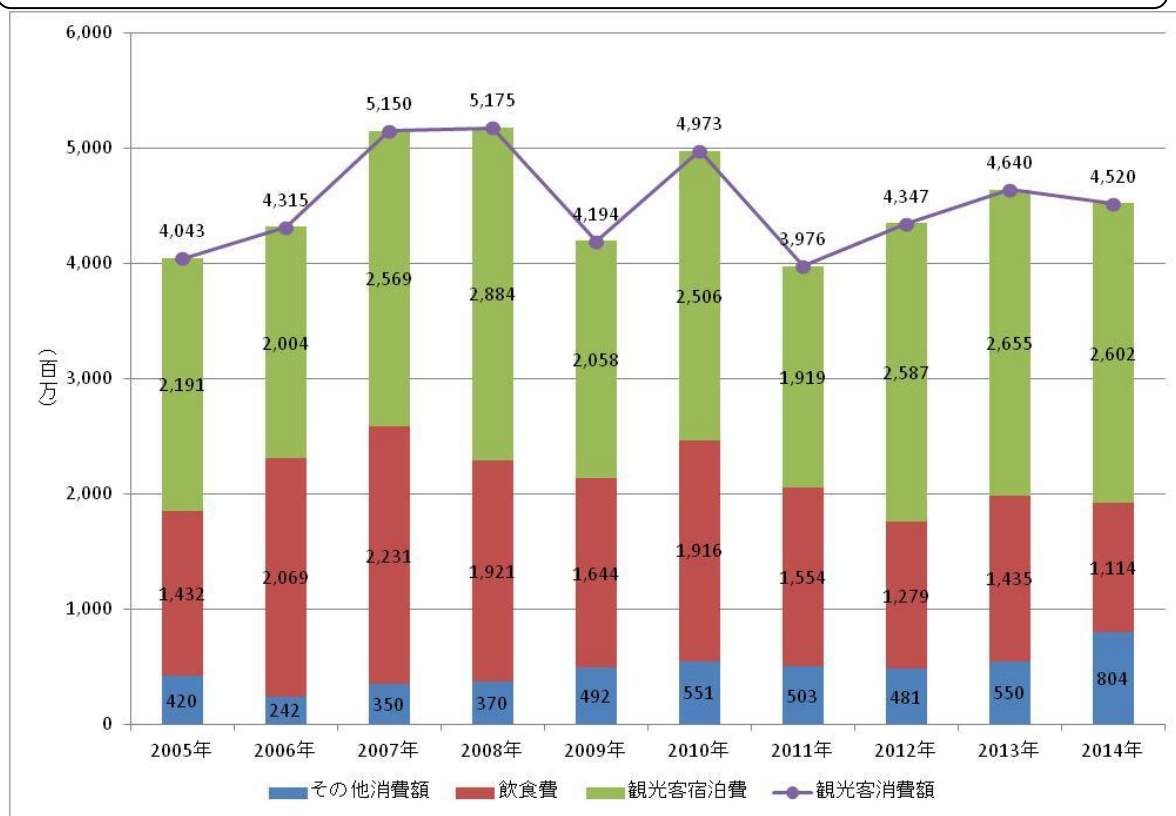
年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
観光客数	7,468	6,772	7,628	6,791	6,793	6,807	6,623	8,213	7,629	7,847
宿泊客数	303	256	332	313	258	305	236	317	324	326
日帰り客数	7,165	6,516	7,296	6,478	6,535	6,502	6,387	7,896	7,305	7,521

出所) 横須賀市経済部

- ・観光客数 : 宿泊客数＋日帰り客数（市内入込客数と同数）
- ・宿泊客数 : 市内宿泊施設（20 施設）における宿泊者数
- ・日帰り客数：公園、海水浴場、記念館等の施設利用客、及びイベント等における来客数

(7) 観光客消費額の推移

○ 観光客消費額は 2011 年（平成 23 年）以降、微増傾向にある。



(百万円)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
観光客消費額	4,043	4,315	5,150	5,175	4,194	4,973	3,976	4,347	4,640	4,520
観光客宿泊費	2,191	2,004	2,569	2,884	2,058	2,506	1,919	2,587	2,655	804
飲食費	1,432	2,069	2,231	1,921	1,644	1,916	1,554	1,279	1,435	1,114
その他消費額	420	242	350	370	492	551	503	481	550	2,602

出所) 横須賀市経済部

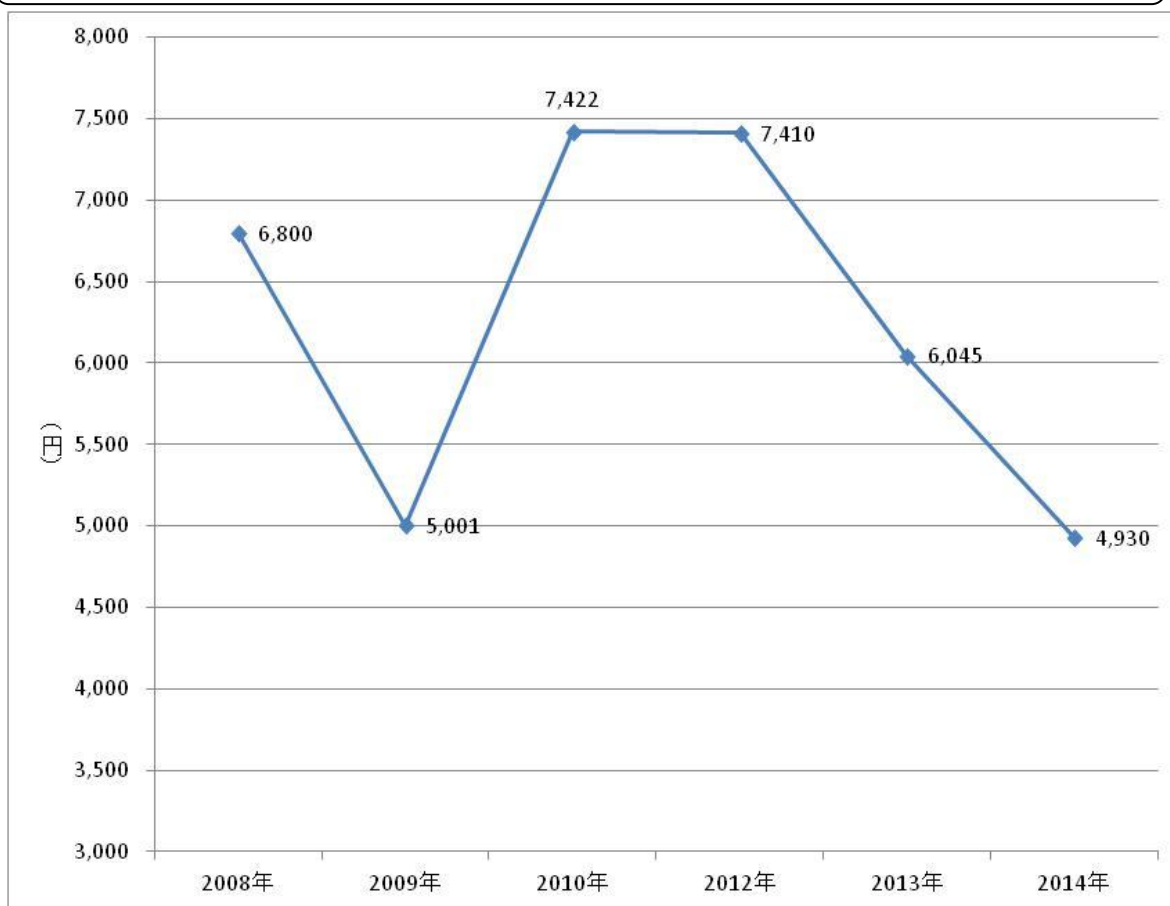
- ・観光客消費額：観光客宿泊費＋飲食費＋その他の消費額
- ・観光客宿泊費：市内宿泊施設（20 施設）における宿泊費
- ・飲食費：市内宿泊施設（20 施設）における宿泊費に含まれない飲食費
- ・その他の消費額：市内宿泊施設（20 施設）及び市内観光施設（7 か所）における利用入場料、お土産代等

※市内観光施設（7 か所）

記念艦三笠、観音崎灯台、観音崎自然博物館、しょうぶ園、猿島航路、軍港めぐり、横須賀美術館

(8) 平均消費額の推移

○ 平均消費額は2012年（平成24年）以降、減少傾向にある。



(円)

年	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
平均消費額	6,800	5,001	7,422	7,410	6,045	4,930

出所) 神奈川県観光客消費動向等調査

・ 平均消費額の計算式

$$\{(\text{三浦半島日帰り客単価} \times \text{本市日帰り客数}) + (\text{三浦半島宿泊客単価} \times \text{本市延宿泊客数})\} \div \text{本市延べ観光客数}$$

・ 参考：三浦半島（鎌倉地区を除く）平均消費額

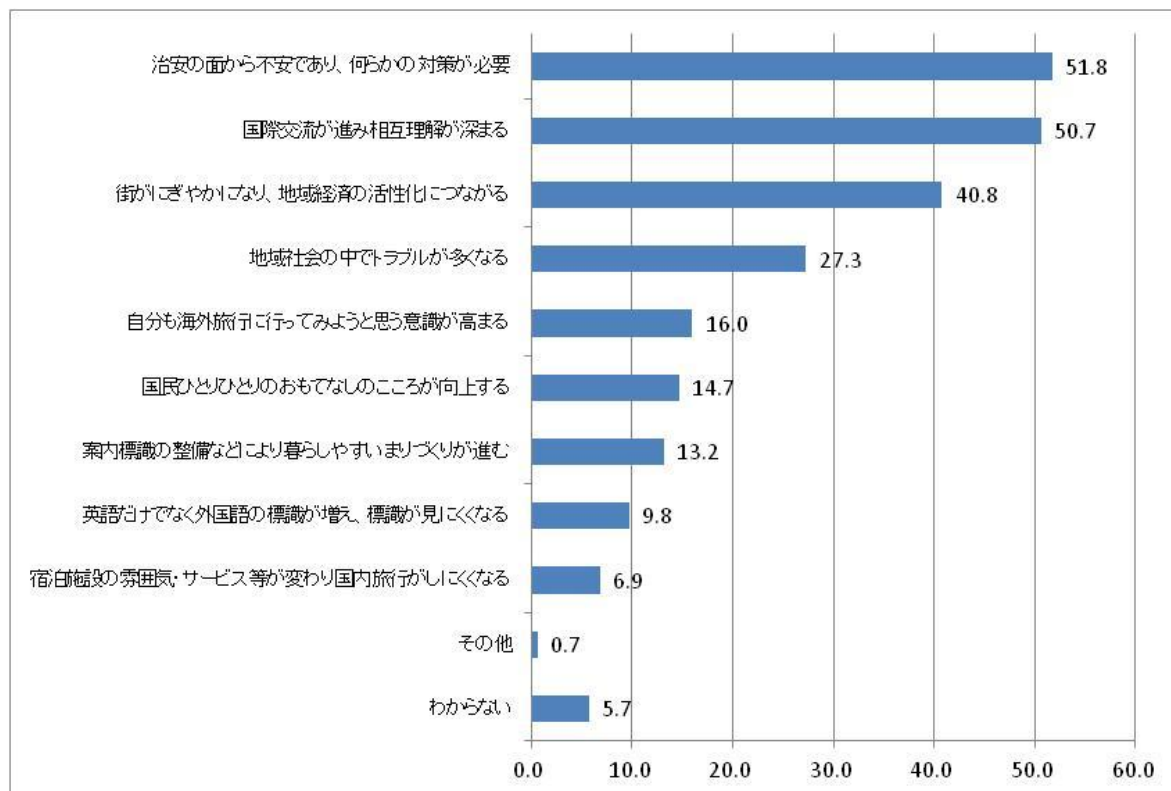
(円)

	2010 (H22)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
日帰り客単価	6,526	6,405	5,371	4,190
宿泊客単価	26,528	32,481	21,234	22,007

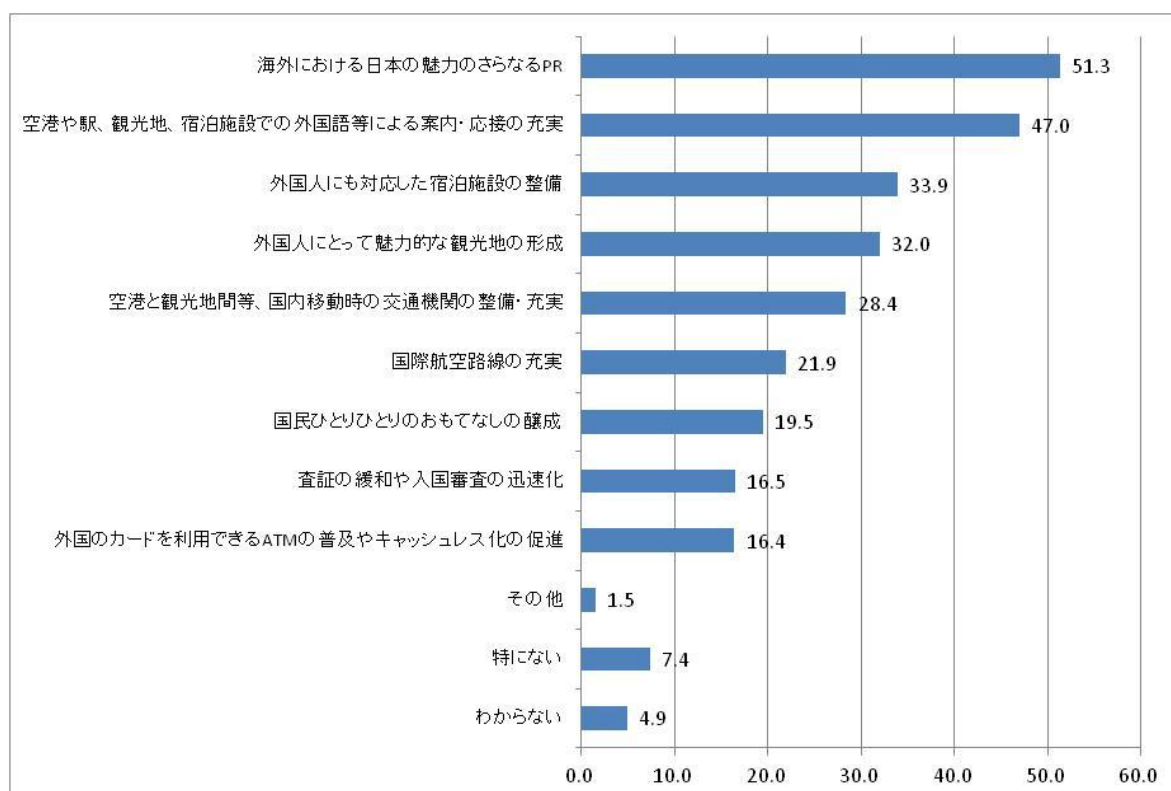
観光立国と官公庁に関する特別世論調査（抜粋）

（内閣府 2008 年 10 月調査、全国 20 歳以上の男女対象）

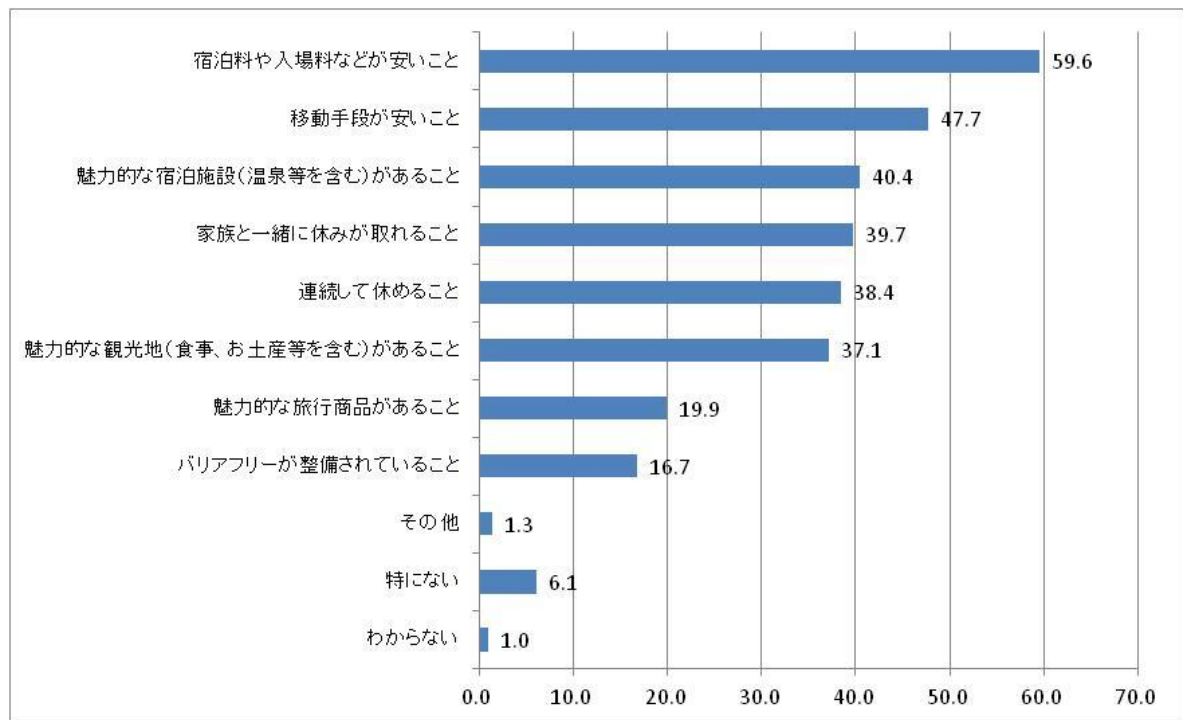
①訪日外国人旅行者が増加することについて



②訪日外国人旅行者を増加させるために特に重要だと思う施策



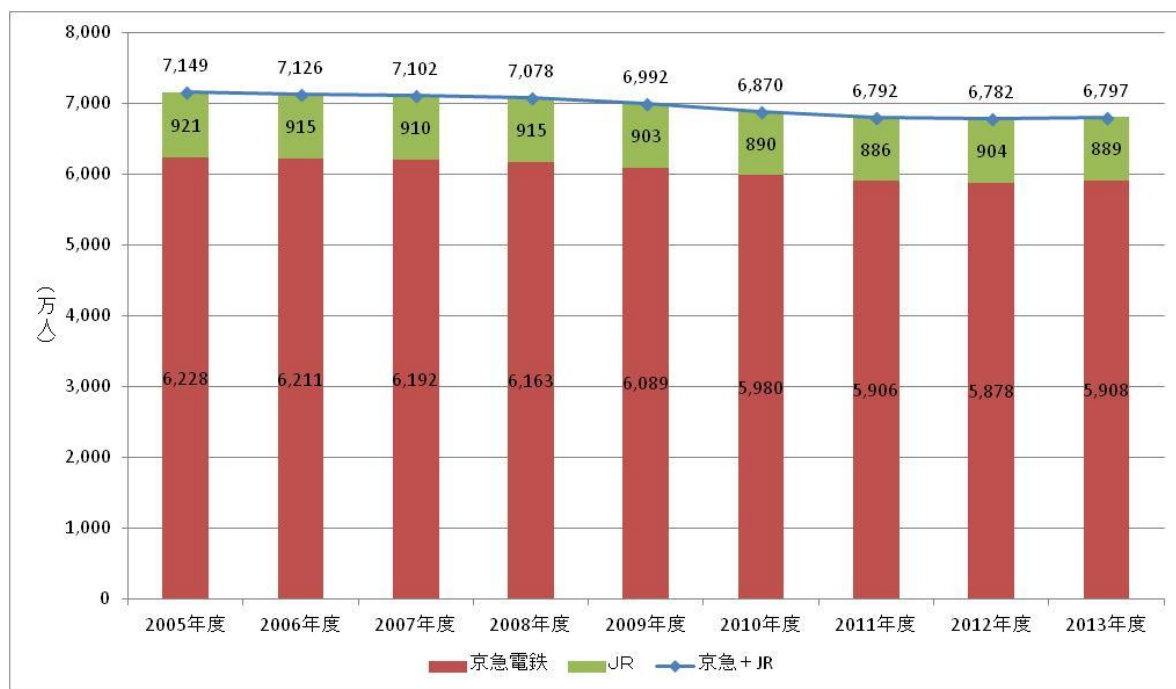
③国内旅行に行きたいと思うようになるための条件



4 交通

(1) 横須賀市内の乗客数の推移

○ 市内の乗客数は京浜急行、JR ともほぼ横ばいである。



(万人)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
鉄道乗客数計	7,149	7,126	7,102	7,078	6,992	6,930	6,768	6,782	6,796
京急電鉄	6,228	6,211	6,192	6,163	6,089	5,980	5,906	5,878	5,908
J R	921	915	910	915	903	890	886	904	889

出所) 京浜急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)横浜支社

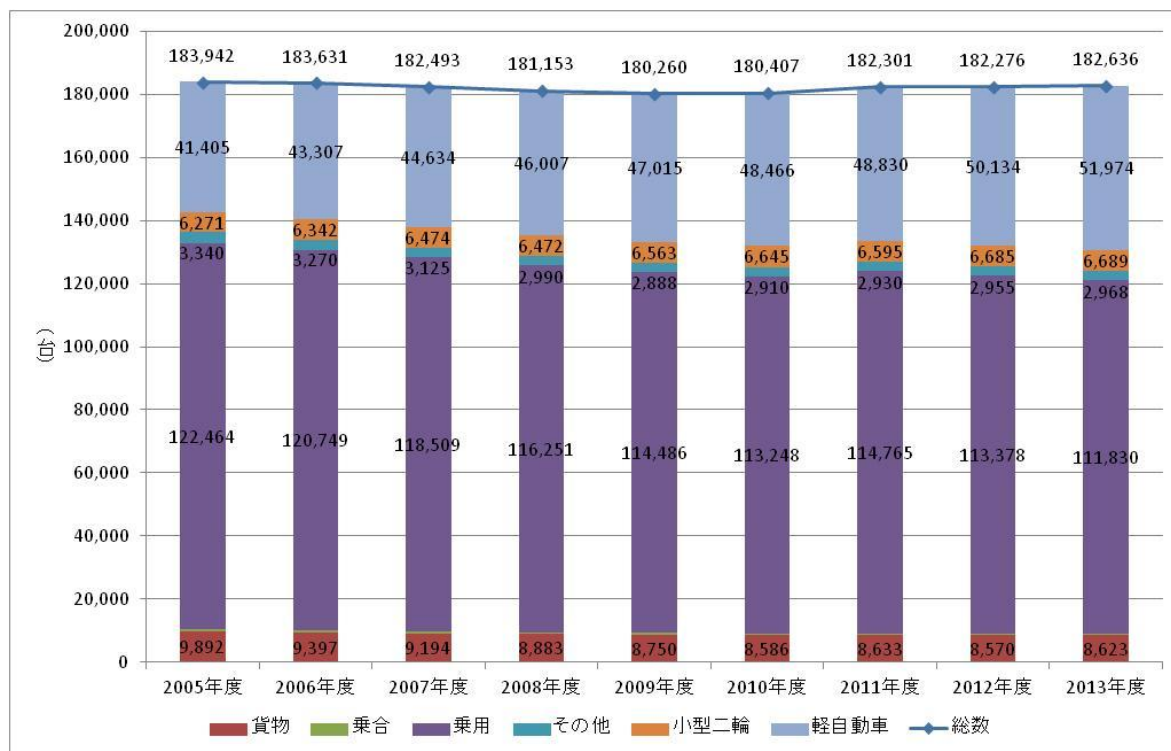
(参考) 横須賀中央駅の乗客数

(万人)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
横須賀中央駅のみ	1,295	1,292	1,287	1,277	1,264	1,253	1,209	1,218	1,198

(2) 横須賀市内種類別自動車保有数

○ 市内の自動車保有数は平成 23 年度以降、ほぼ横ばいである。



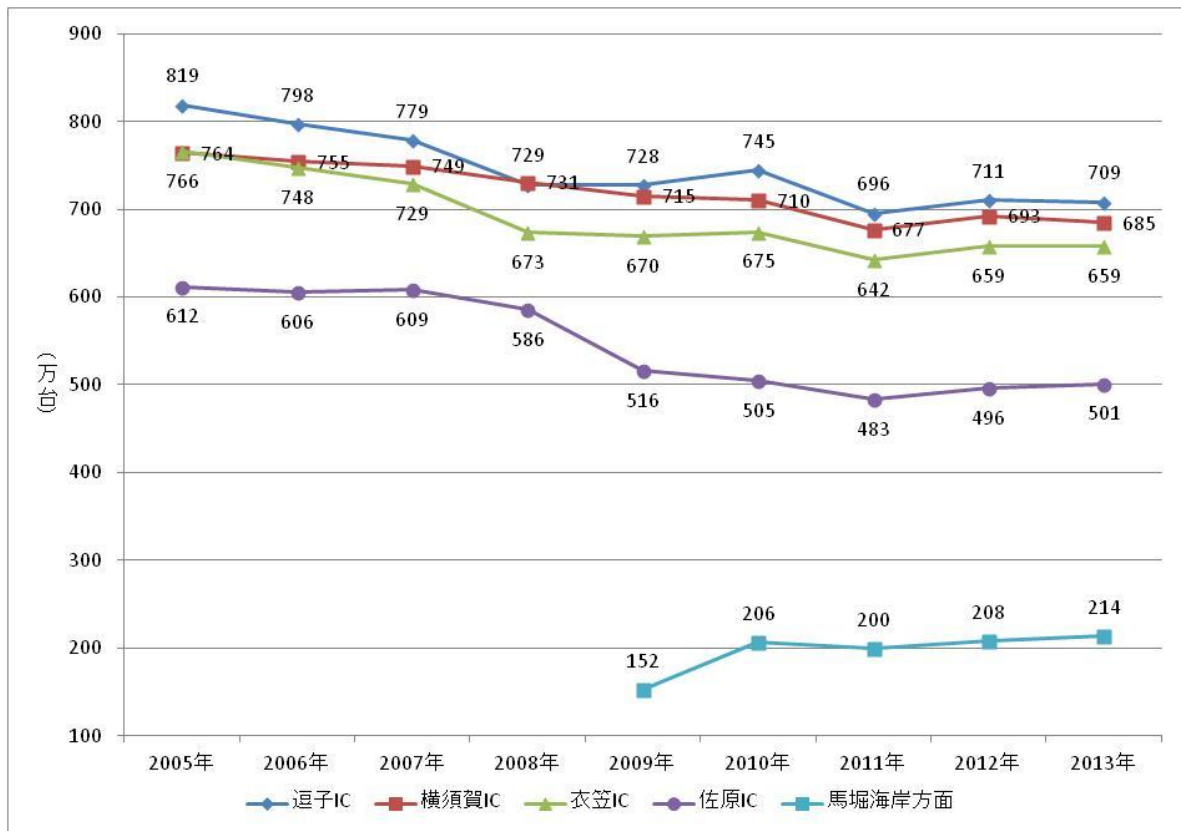
(台)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
総数	183,942	183,631	182,493	181,153	180,260	180,407	182,301	182,276	182,636
貨物	9,892	9,397	9,194	8,883	8,750	8,586	8,633	8,570	8,623
乗合	570	566	557	550	558	552	548	554	552
乗用	122,464	120,749	118,509	116,251	114,486	113,248	114,765	113,378	111,830
その他	3,340	3,270	3,125	2,990	2,888	2,910	2,930	2,955	2,968
小型二輪	6,271	6,342	6,474	6,472	6,563	6,645	6,595	6,685	6,689
軽自動車	41,405	43,307	44,634	46,007	47,015	48,466	48,830	50,134	51,974

出所) 関東運輸局神奈川運輸支局

(3) 横浜横須賀道路の交通量の推移

○ 横浜横須賀道路の交通量は微減傾向にある。



(万台)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
逗子 IC	819	798	779	729	728	745	696	711	709
横須賀 IC	764	755	749	731	715	710	677	693	685
衣笠 IC	766	748	729	673	670	675	642	659	659
佐原 IC	612	606	609	586	516	505	483	496	501
馬堀海岸方面					152	206	200	208	214

出所) 横須賀市統計書

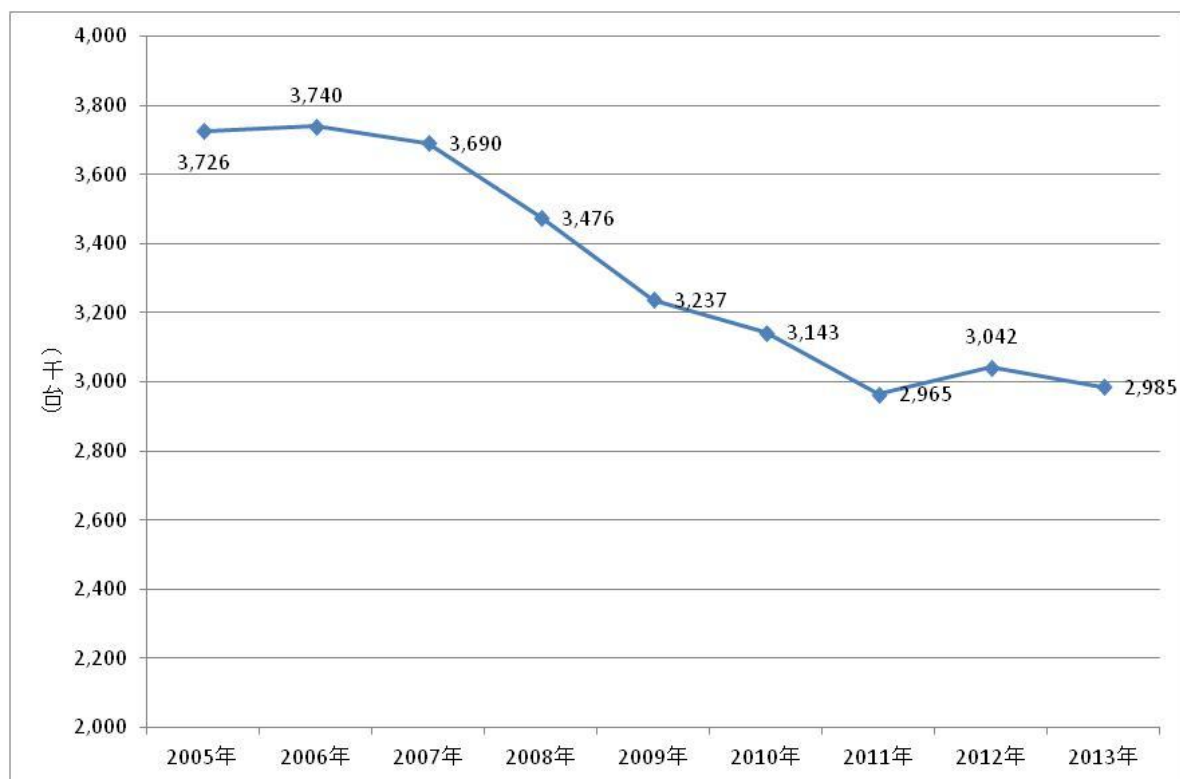
注 1) 「馬堀海岸方面」は、浦賀インターチェンジ及び馬堀海岸インターチェンジの合計値

※浦賀インターチェンジ及び馬堀海岸インターチェンジは 2009 年（平成 21 年）3 月 20 日に開通

※2009 年（平成 21 年）3 月から ETC 割引適用（現在は深夜割引、休日割引で 30%割引が適用）

(4) 本町山中有料道路の交通量の推移

○ 本町山中有料道路の交通量は減少傾向にある。



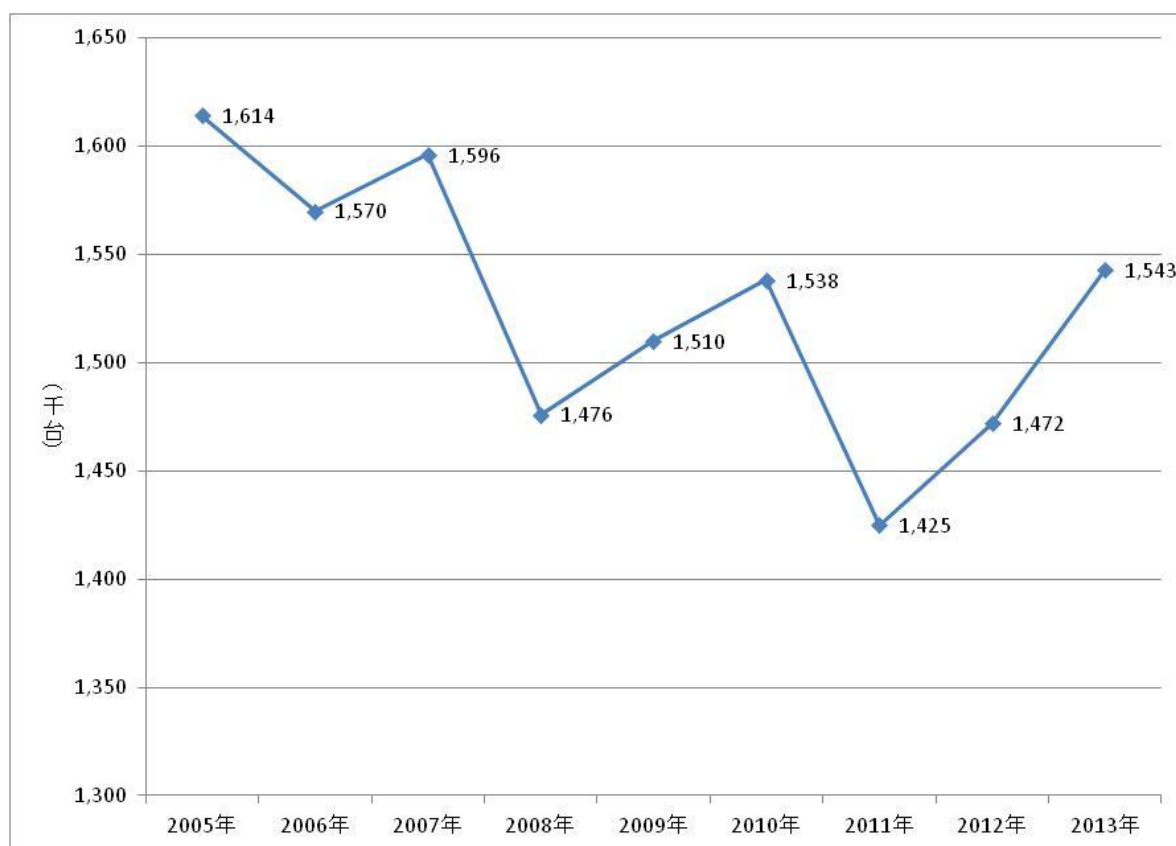
(千台)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
台数	3,726	3,740	3,690	3,476	3,237	3,143	2,965	3,042	2,985

出所) 横須賀市統計書

(5) 三浦縦貫有料道路の交通量の推移

○ 三浦縦貫有料道路の交通量は 2011 年以降、増加傾向にある。



(千台)

年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
台数	1,614	1,570	1,596	1,476	1,510	1,538	1,425	1,472	1,543

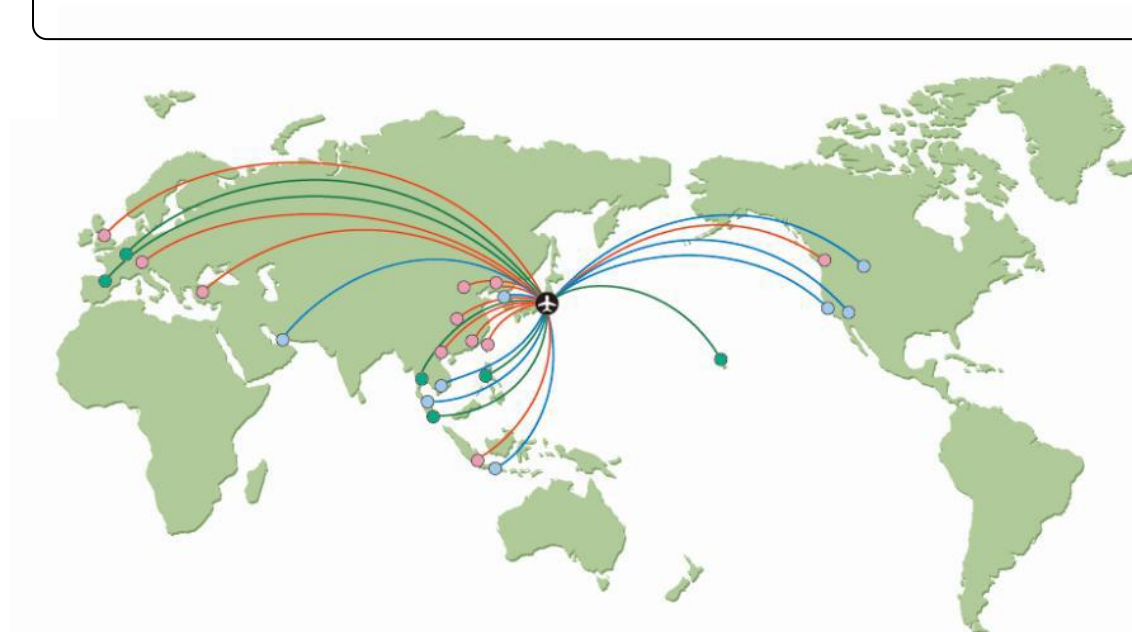
出所) 東日本高速道路(株)、神奈川道路公社

(6) 周辺図



(7) 羽田空港の国際化とアクセス状況

○ 羽田空港の国際線は 26 路線、82 便（出発）／日である。



国際線の就航都市一覧

都市名		出発便数／日
中国	北京	4
	香港	6
	上海（虹橋）	4
韓国	金浦	12
	仁川	2
台湾	台北（松山）	8
東南アジア		
ベトナム	ハノイ	2
	ホーチミン	1
シンガポール	シンガポール	7
フィリピン	マニラ	2
インドネシア	ジャカルタ	2
	デンパサール	1
タイ	バンコク	6
マレーシア	クアラルンプール	1
欧州		
フランス	パリ	4
イギリス	ロンドン	3
ドイツ	フランクフルト	3
	ミュンヘン	2
北米		
カナダ	バンクーバー	1
	トロント	1
アメリカ	ホノルル	3
	サンフランシスコ	2
	ロサンゼルス	2
	シアトル	1
中東		
UAE	ドバイ	1
カタール	ドーハー	1
国際線出発便合計		82

出所）日本空港ビルディング（株）HP 決算説明会資料（2015 年 5 月現在）

(8) 京浜急行 羽田空港駅（国内線・国際線合計） 1日平均乗降客数と羽田空港年間旅客数（国内線・国際線合計）の推移

- 羽田空港の国際線ターミナル駅は2010年（平成22年）10月に開業している。
- 2010年度から2011年度にかけて羽田空港駅の1日平均乗降客数は減少しているが、2011年以降は増加傾向にある。



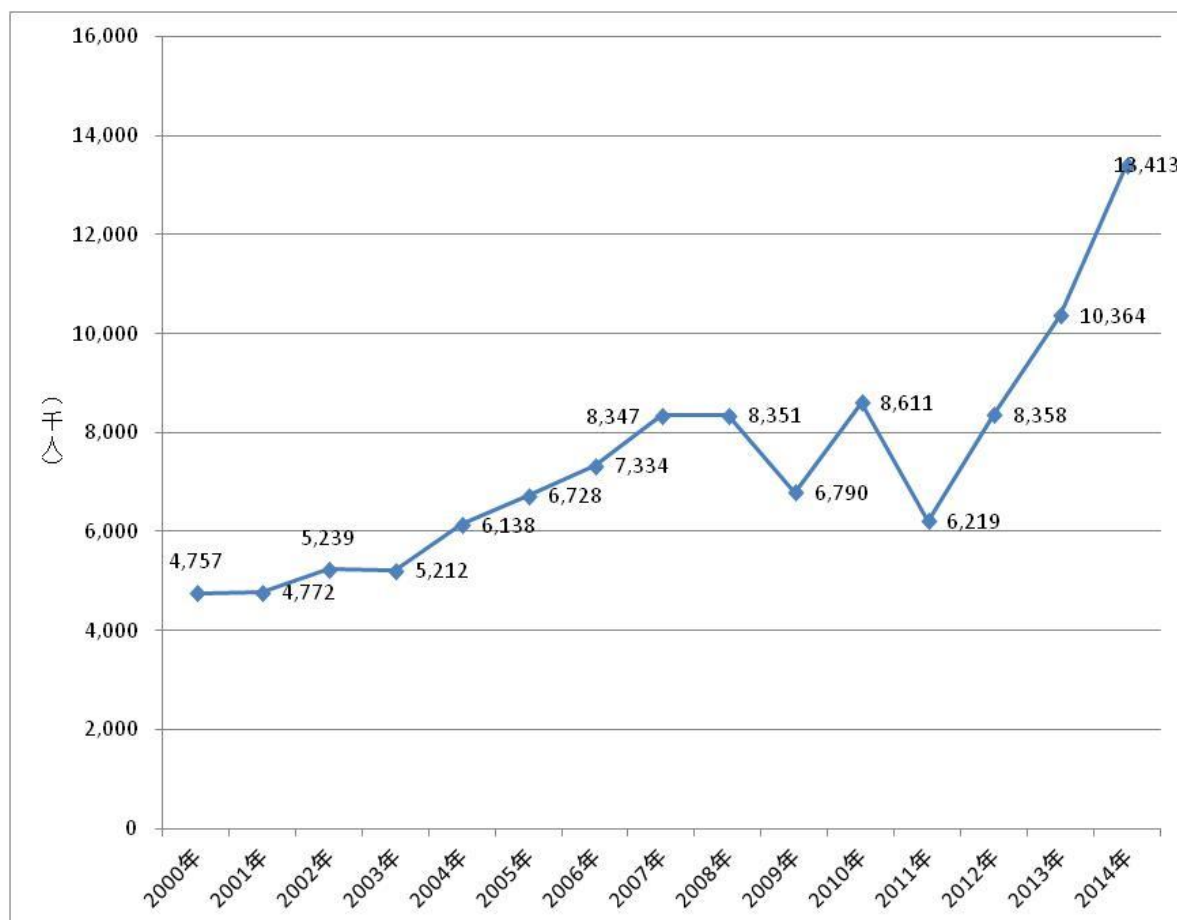
年度	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
国内線ターミナル 駅一日平均乗降客 数 (人)	63,826	68,256	70,691	73,889	75,997	78,188	75,940	74,884	68,694	70,712	78,171
国際線ターミナル 駅一日平均乗降客 数 (人)	-	-	-	-	-	-	-	16,843	12,502	12,202	14,283
羽田空港年間 旅客数 (千人) ※	62,318	62,486	63,595	66,883	66,901	65,595	62,091	63,626	63,691	66,700	68,738

※: 国内線・国際線合計

出所) 京浜急行電鉄株式会社 HP

(9) 年別訪日外国人数の推移

- 訪日外国人は2011年（平成23年）以降、増加傾向にある。
- 2014年（平成26年）には1,300万人を超えた。



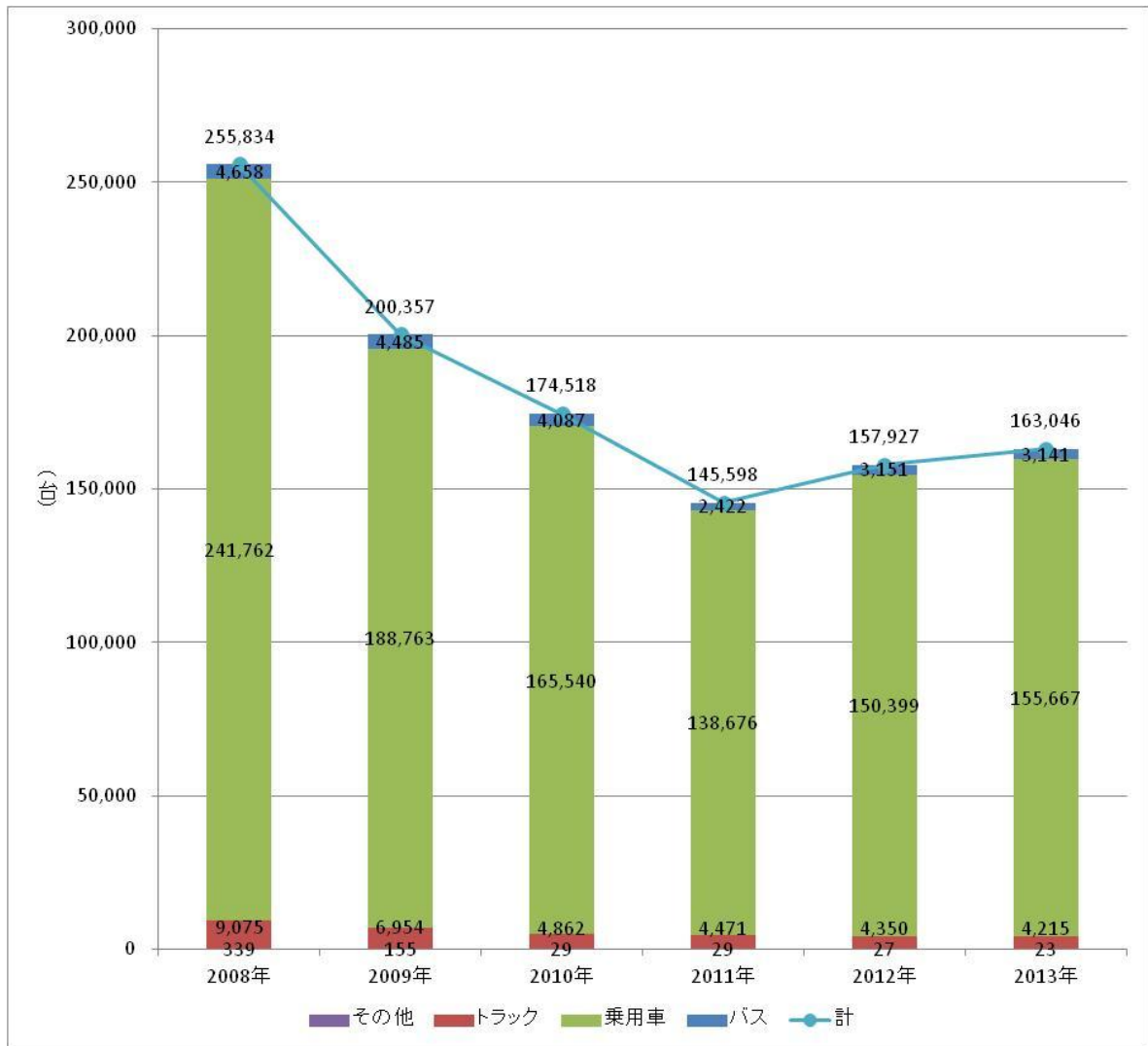
		(千人)							
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	
	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	
訪日外国人総数	4,757	4,772	5,239	5,212	6,138	6,728	7,334	8,347	
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		
	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)		
	8,351	6,790	8,611	6,219	8,358	10,364	13,413		

出所) 日本政府観光局 (J N T O)

(10) 東京湾フェリーの状況

①フェリー扱車両台数の推移

- フェリー扱車両台数は 2011 年（平成 23 年）から微増傾向にある。

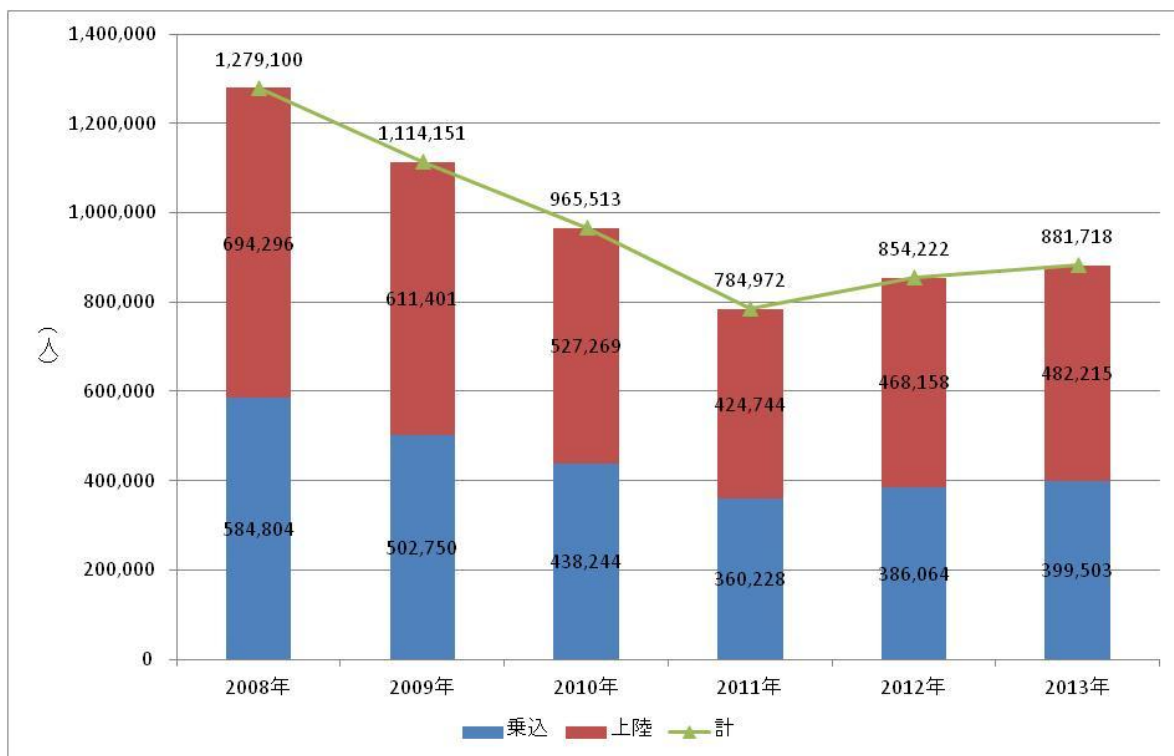


		(台)					
年		2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
計		255,834	200,357	174,518	145,598	157,927	163,046
バス		4,658	4,485	4,087	2,422	3,151	3,141
トラック		9,075	6,954	4,862	4,471	4,350	4,215
乗用車		241,762	188,763	165,540	138,676	150,399	155,667
その他		339	155	29	29	27	23

出所) 横須賀港統計年報

②乗降人員数の推移

- 東京湾フェリーの乗降人員数は 2011 年（平成 23 年）から微増傾向にある。
- 乗込人数よりも上陸の人数の方が多い。



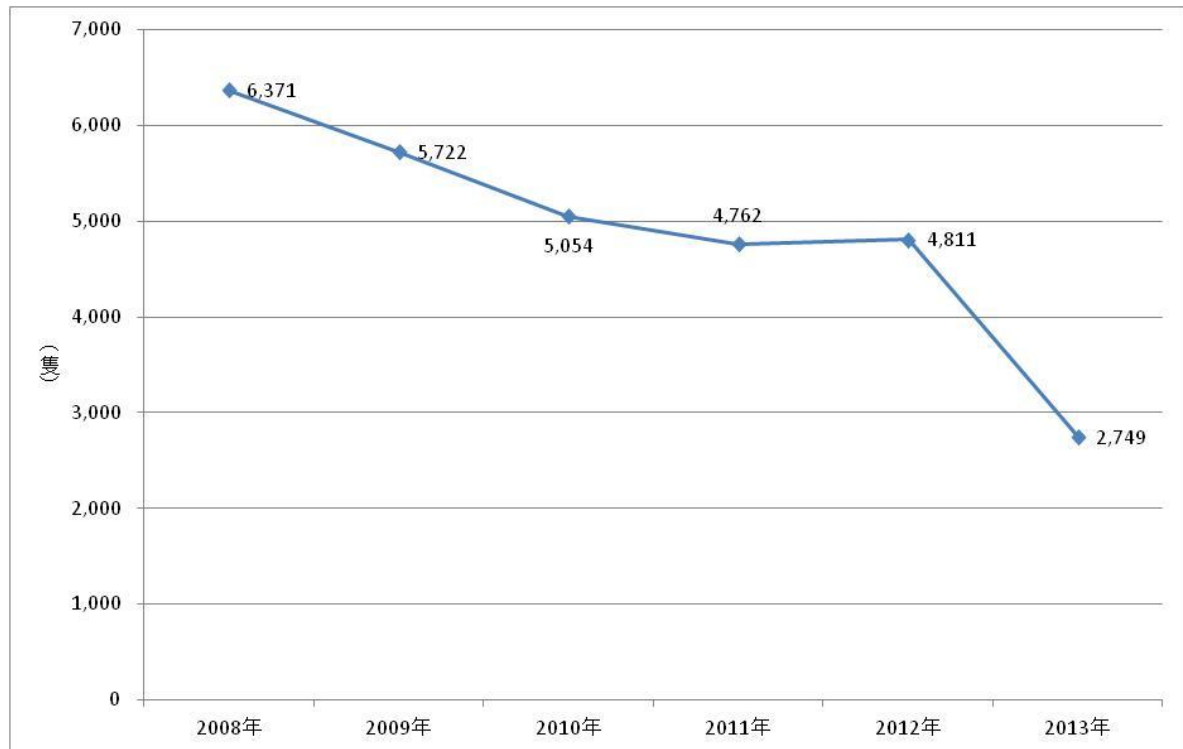
(人)

年	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
計	1,279,100	1,114,151	965,513	784,972	854,222	881,718
乗込	584,804	502,750	438,244	360,228	386,064	399,503
上陸	694,296	611,401	527,269	424,744	468,158	482,215

出所) 横須賀港統計年報

③入港隻数の推移

- 東京湾フェリーの入港隻数は減少傾向にある。



(隻)

年	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
入港隻数	6,371	5,722	5,054	4,762	4,811	2,749

出所) 横須賀港統計年報

- ・東京湾フェリーの運航隻は2010年(平成22年)4月から、それまでの3隻運航から2隻運航になっている。
- ・東京湾アクアラインは1997(平成9年)年12月18日開通、2009年(平成21年)8月1日から800円へ通行料引き下げられた。

5 成長分野、重点課題に関連する事業計画・概要

(1) 新港埠頭交流拠点整備、よこすかポートマーケットの概要

新港埠頭交流拠点整備の概要

横須賀新港埠頭は、現在輸出自動車の一時的置き場（積み出し場）として利用されている。

この面積約 2.6ha の敷地に「新たなまち」をつくる計画が進んでいる。「官公庁ゾーン」と「賑わいゾーン」の二つの特徴を持つまちは、2015 年度（平成 27 年度）の完成を目指す。

① 官公庁ゾーン

市内に点在する官公庁施設を、利便性が良い新港埠頭に集約移転して、利便性の向上を図る。

①国の施設：裁判所（平成 24 年度）、合同庁舎（平成 25 年度）

②県の施設：横須賀警察署（平成 27 年度）

③市の施設：救急医療センター（平成 26 年度）

② 賑わいゾーン

新鮮でおいしい地場産の野菜・魚介類が購入できるほか、旬の地場産食材メニューを味わえる飲食店やよこすか海軍カレーなどの横須賀土産を買えるお店、さらに大型バスの駐車場も備えた施設「よこすかポートマーケット」を整備・開設。この賑わいゾーンから周辺市街地への人の流れが生まれることで、中央エリア全体の活性化を図る。

よこすかポートマーケットの概要

よこすかポートマーケットは、横須賀新港埠頭交流拠点の賑わいゾーンに地場農水産物や本市の特徴ある特産品等の販売や地場産食材を使った料理を販売する施設を設置。

実施主体 一般財団法人シティサポートよこすか

開設時期 平成 25 年（2013 年）3 月 13 日

場所 新港町 6

規模 施設面積 1,946 m²

売場面積 980.34 m²

（主な販売内容） 農産物、水産物、精肉、横須賀の銘菓・物産、製パン、
軽食、飲食（13 店舗）

駐車場規模 普通車 180 台、大型車 23 台

(2) JAよこすか葉山農産物直売所「すかなごっそ」の概要

① すかなごっそ

- ・実施主体 よこすか葉山農業協同組合
- ・開設時期 2011 年（平成 23 年） 6 月 2 日
- ・場所 横須賀市長井 1-15-15
- ・規模 敷地面積 7,043.4 m²
建築面積 884.9 m²
延床面積 798.0 m²
(内訳) 売場：395.0 m²、肉工房：51.3 m²、米工房：24.0 m²、荷捌所：79.1 m²、事務室等：42.0 m²、トイレ：38.5 m²、地域交流促進施設：114.0 m²、その他 54.1 m²、駐車場：普通車 120 台（大型バス 3 台含む）、障害者用 2 台
- ・主な販売内容 JA よこすか葉山正組合員が生産する農産物・畜産物、それらを原材料とする加工品・軽食

② すかなごっそ・さかな館

- ・実施主体 長井町漁業協同組合
- ・開設時期 2014 年（平成 26 年） 5 月 9 日
- ・場所 横須賀市長井 1-15-15 すかなごっそ内
- ・規模 建築面積 76.76 m²
延床面積 64.23 m²
(内訳) 売場：46.31 m²、作業場：12.43 m²、寿司作業場：5.49 m²
- ・主な販売内容 長井町漁港直送の水産物（活魚・鮮魚）、それらを原材料とする加工品・惣菜類

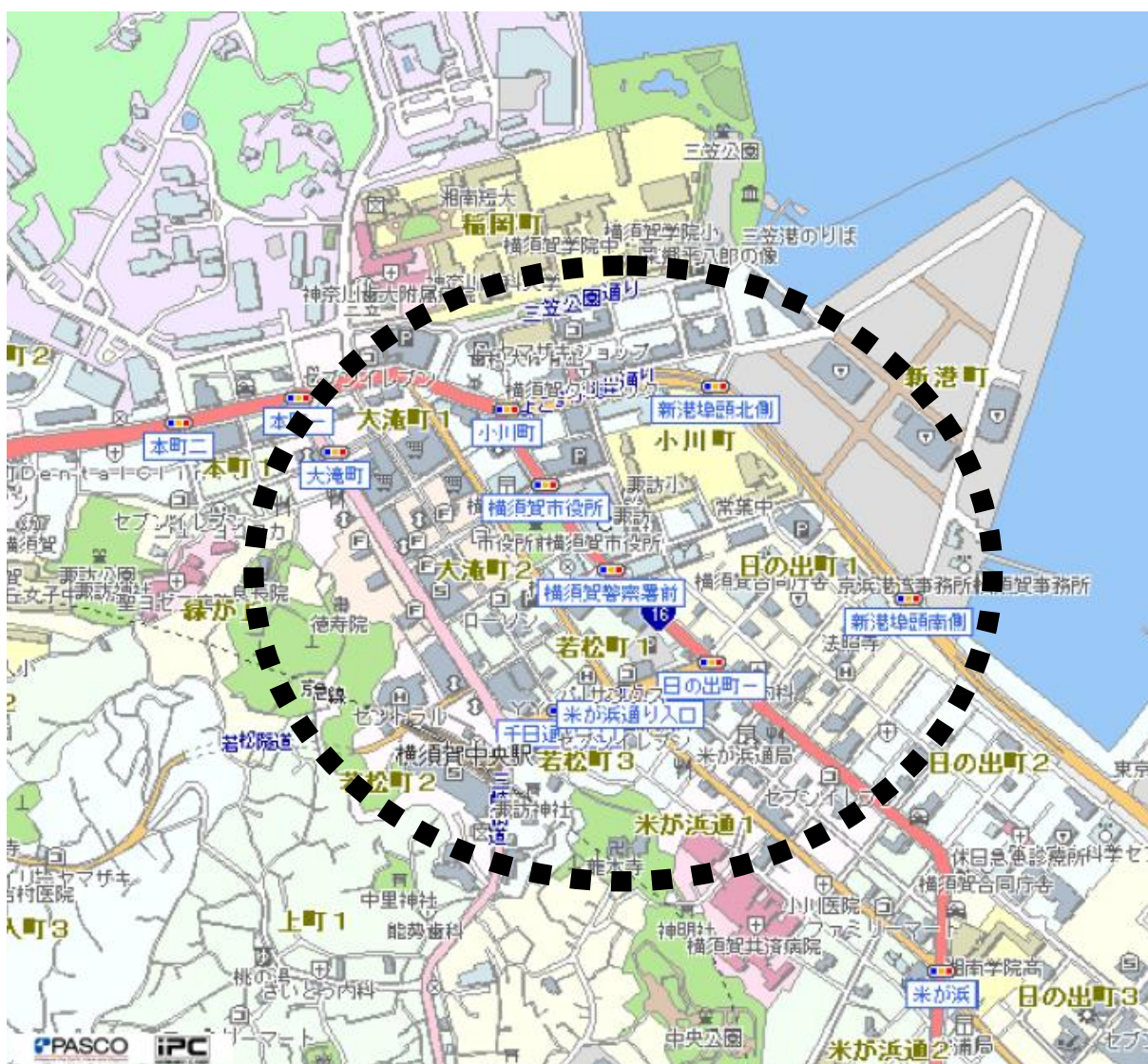
(3) 横須賀中央エリアの概要

① 概要

横須賀中央エリアとは、「横須賀産業ビジョン 2011」の重点課題の1つとして位置づけられた範囲のことである。「横須賀中央駅周辺地区市街地総合再生計画」に定める地区と「新港埠頭交流拠点」整備を計画している地区を含む一体のエリアとなる。

② 範囲

以下に示す一体である。

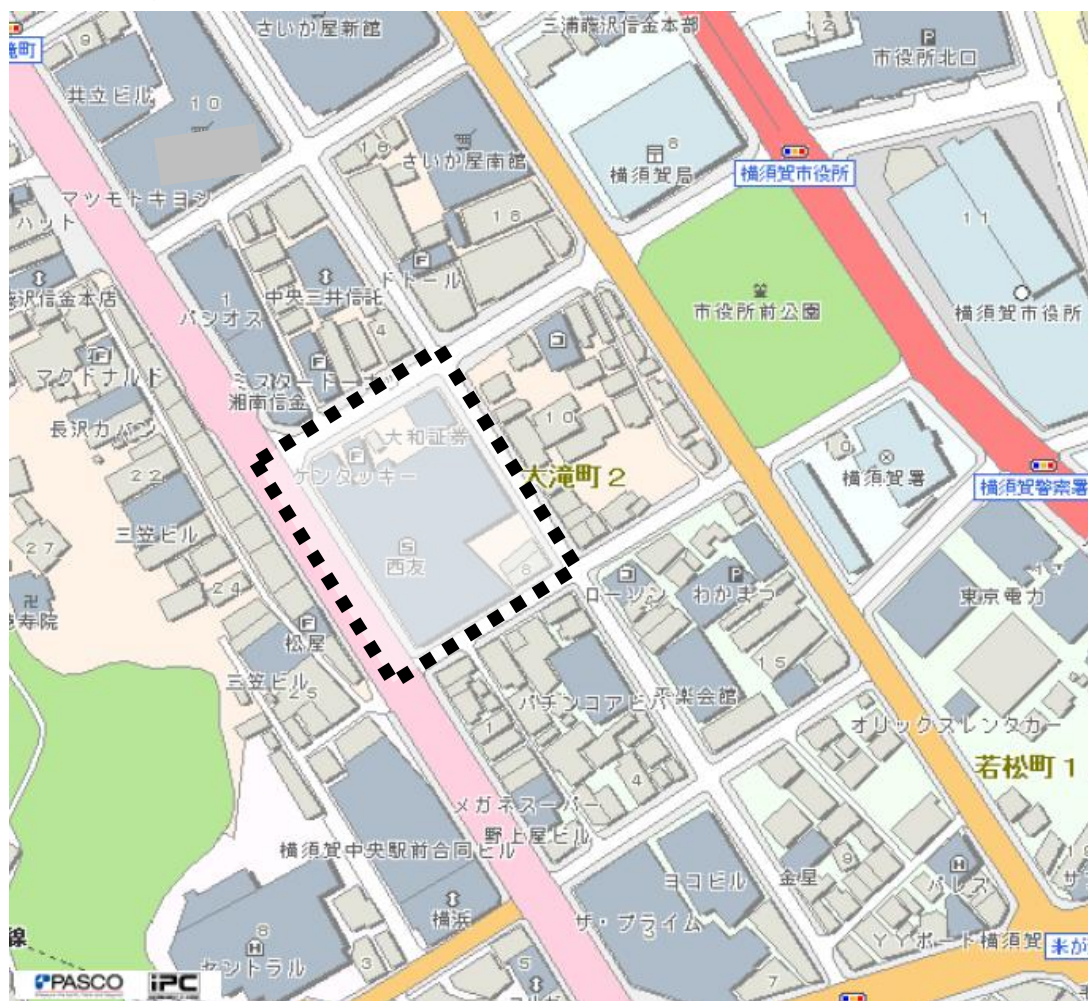


(4) 大滝町2丁目地区第一種市街地再開発事業の概要

- ① 施行地区 : 大滝町2丁目の一部
- ② 施行者 : 大滝町二丁目地区市街地再開発組合
- ③ 規模 : 施行地区の面積 約0.6ha
 建築敷地面積 約4,000㎡
 延べ面積 約49,400㎡ (容積対象 約34,400㎡)
 建築面積 約3,400㎡
 主要用途 住宅(297戸)、店舗・事務所(10,400㎡)、駐車場(194台)
 規模・構造 地下2階地上38階建て 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
 高さ 約144m
- ④ 事業経過及び今後の予定

都市計画決定告示	2008年(平成20年) 7月
組合設立(事業計画)認可	2010年(平成22年) 12月
権利変換計画認可	2011年(平成23年) 12月
解体工事	2012年(平成24年) 6月
施設建築物工事	2013年(平成25年) 4月～2015年(平成27年) 11月(予定)

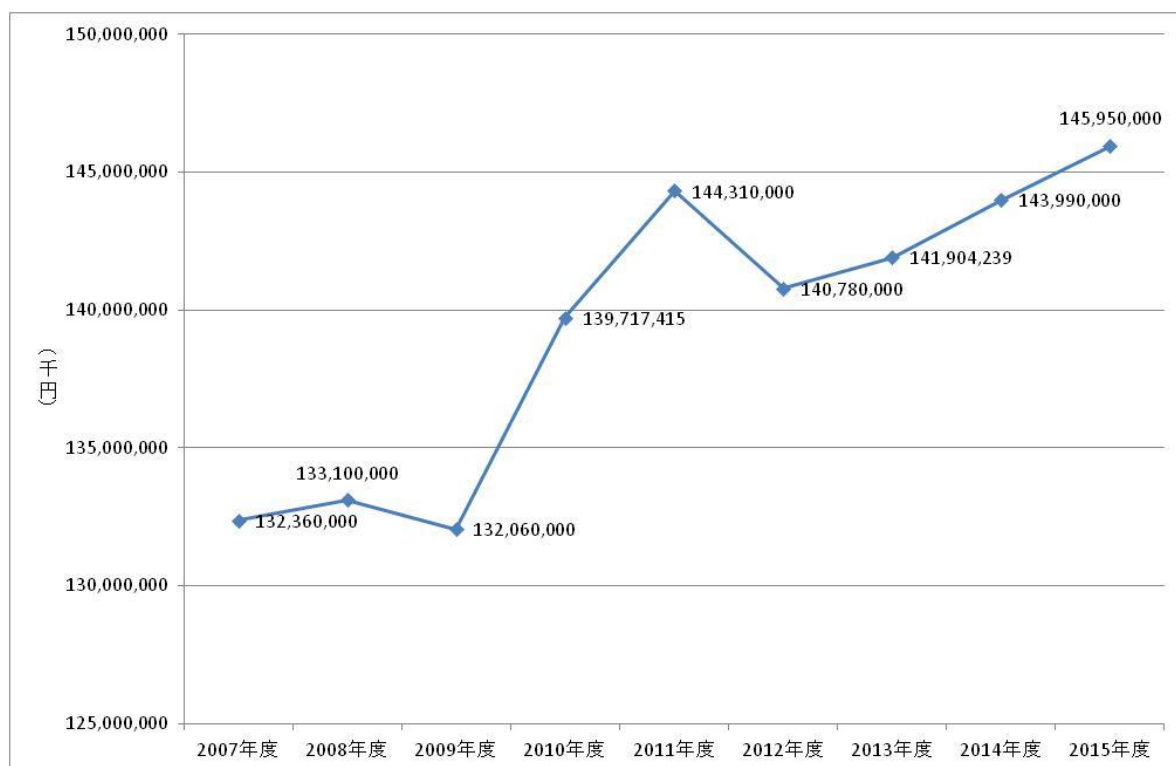
[施行地区の位置図]



6 財政状況

(1) 一般会計予算規模の推移

○ 横須賀市の一般会計予算規模は増加傾向にある。

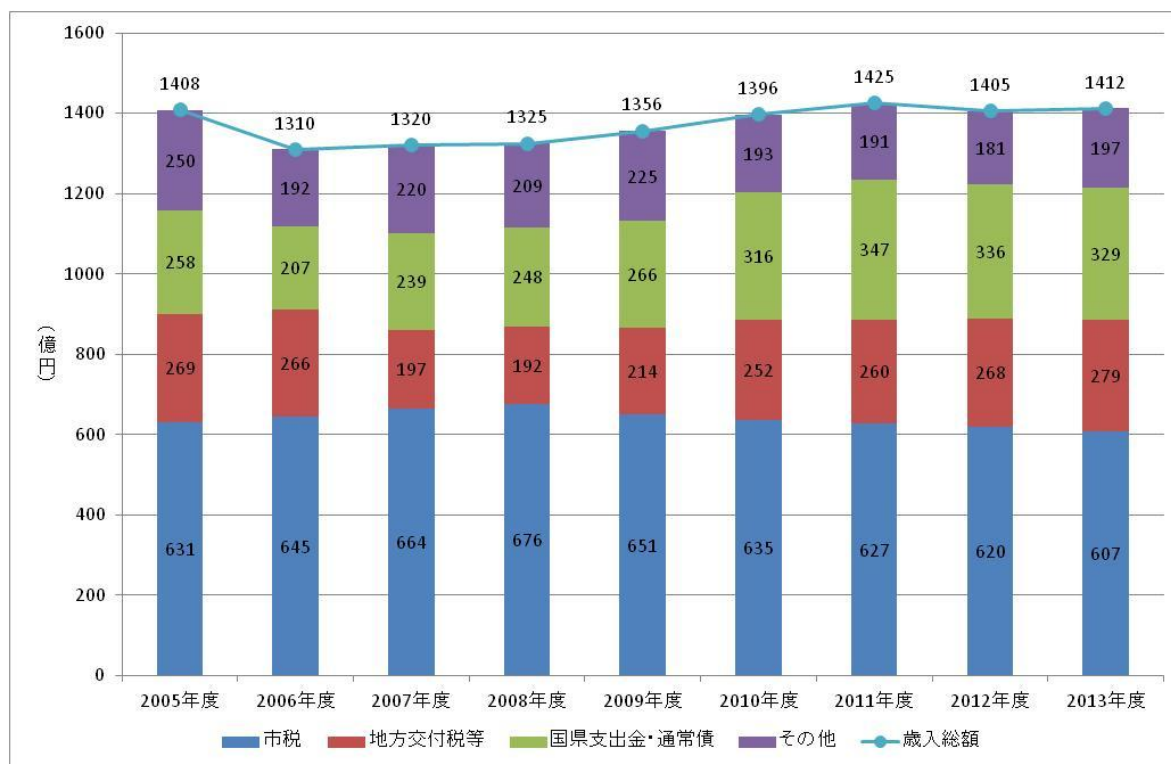


(百万円)

年度	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H25)	2015 (H26)
一般会計予算	132,360	133,100	132,060	139,717	144,310	140,780	141,904	143,990	145,950

(2) 歳入決算額の推移

- 市税、地方交付税等、市が使い道を自由に決められる歳入は減少傾向にある。
- 国庫支出金など使い道が決まっている歳入は増加傾向にある。



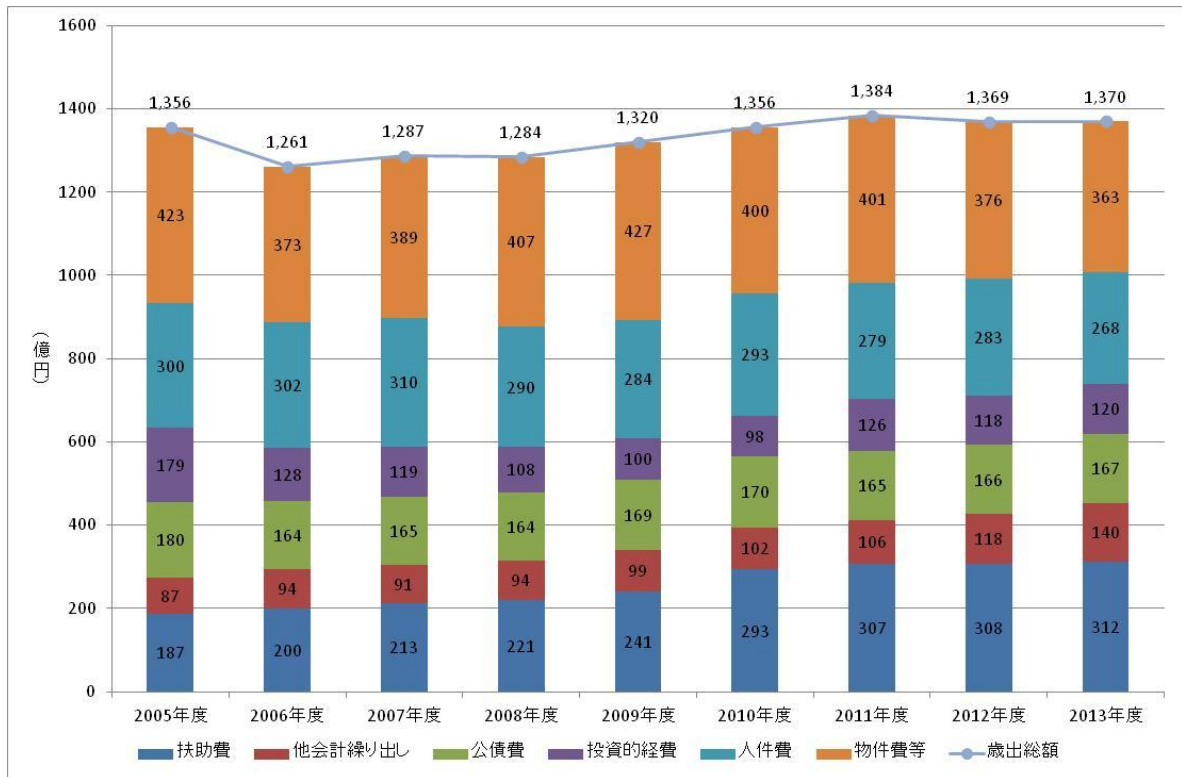
(億円)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
市税	631	645	664	676	651	635	627	620	607
地方交付税等	269	266	197	192	214	252	260	268	279
国県支出金・通常債	258	207	239	248	266	316	347	336	329
その他	250	192	220	209	225	193	191	181	197
歳入総額	1,408	1,310	1,320	1,325	1,356	1,396	1,425	1,405	1,412

出所) 横須賀市財政部

(3) 歳出決算額の推移

- 社会保障費（扶助費・他会計繰出し）の支出額は増加傾向にある。
- 人件費、投資的経費、公債費は減少傾向にある。



(億円)

年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
歳出総額	1,356	1,261	1,287	1,284	1,320	1,356	1,384	1,369	1,370
扶助費	187	200	213	221	241	293	307	308	312
他会計繰り出し	87	94	91	94	99	102	106	118	140
公債費	180	164	165	164	169	170	165	166	167
投資的経費	179	128	119	108	100	98	126	118	120
人件費	300	302	310	290	284	293	279	283	268
物件費等	423	373	389	407	427	400	401	376	363

出所) 横須賀市財政部